

フィリピン共和国
園芸作物における
フードバリューチェーン改善プロジェクト
詳細計画策定調査報告書

2024年1月

独立行政法人国際協力機構
経済開発部

| |
|--------|
| 経開 |
| JR |
| 24-009 |

フィリピン共和国
園芸作物における
フードバリューチェーン改善プロジェクト
詳細計画策定調査報告書

2024年1月

独立行政法人国際協力機構
経済開発部

目 次

目 次

プロジェクト位置図

写 真

略語表・対語表・用語説明

| | |
|-----------------------|----|
| 第1章 詳細計画策定調査の概要 | 1 |
| 1-1 要請の背景 | 1 |
| 1-2 調査の目的 | 1 |
| 1-3 調査団構成 | 2 |
| 1-4 調査日程と調査手法 | 2 |
| 第2章 プロジェクトの協力計画の概要 | 3 |
| 2-1 事業概要 | 3 |
| 2-2 協力の範囲及び内容 | 3 |
| 2-2-1 協力期間 | 3 |
| 2-2-2 プロジェクトサイトの選定 | 3 |
| 2-2-3 ターゲットグループ | 4 |
| 2-2-4 総事業費 | 4 |
| 2-2-5 上位目標 | 4 |
| 2-2-6 プロジェクト目標 | 4 |
| 2-2-7 成果 | 4 |
| 2-2-8 活動 | 5 |
| 2-2-9 投入 | 6 |
| 2-2-10 実施体制 | 6 |
| 2-2-11 前提条件・外部条件 | 9 |
| 第3章 調査結果 | 10 |
| 3-1 計画フェーズの協力成果 | 10 |
| 3-1-1 成果1のための活動 | 10 |
| 3-1-2 成果1の達成状況 | 12 |
| 3-2 M/Mにて合意した協議内容 | 12 |
| 3-2-1 基本方針 | 12 |
| 3-2-2 PDMの修正 | 13 |
| 3-2-3 POの修正 | 19 |
| 3-2-4 プロジェクト期間 | 19 |
| 3-2-5 対象地域及び対象農家グループ数 | 19 |
| 3-2-6 プロジェクト実施体制 | 20 |
| 3-2-7 JICAからの投入資機材 | 20 |

| | | |
|-------|---------------------------|----|
| 3-3 | 実施フェーズにおける留意点 | 21 |
| 3-3-1 | パイロット活動を通じた包摂的 FVC モデルの形成 | 21 |
| 3-3-2 | 実現可能性の高いパイロット活動の具体化 | 21 |
| 3-3-3 | FVC 改善のための民間企業の協働の強化 | 22 |
| 3-3-4 | 自立発展性の強化 | 22 |
| 3-3-5 | フィリピン政府による既存の活動を生かした計画立案 | 22 |
| 3-3-6 | 他開発パートナーとの連携 | 22 |
| 3-3-7 | 広報活動 | 23 |
| 第4章 | 6項目評価 | 24 |
| 4-1 | 評価手法 | 24 |
| 4-2 | 妥当性 | 24 |
| 4-3 | 整合性 | 25 |
| 4-4 | 有効性 | 25 |
| 4-5 | 効率性 | 26 |
| 4-6 | インパクト | 26 |
| 4-7 | 持続性 | 26 |
| 第5章 | 団長所感 | 28 |
| 付属資料 | | |
| 1. | 現地調査日程 | 31 |
| 2. | PDM ver.1 | 33 |
| 3. | 業務工程表 (PO) ver.1 | 37 |
| 4. | 活動計画表 (PO) 案 | 40 |
| 5. | 署名済み M/M | 43 |

プロジェクト位置図



出所 : <https://www.un.org/geospatial/content/philippines> を参考に調査団作成

写 真



キックオフミーティング



白菜、30 フィリピンペソ/kg
(Balintawak 市場)



トマト、10 フィリピンペソ/250g
色、大きさは不揃い (Balintawak 市場)



ニンジン、40 フィリピンペソ/500g
形状、大きさは不揃い (Balintawak 市場)



カット野菜販売風景。
当日売切り、売れ残りは廃棄。
(Balintawak 市場)



カット野菜販売風景。
防虫、防塵対策はなされていない。
(Balintawak 市場)



BAPTC における聞き取り



冷蔵倉庫内部現状、資材置き場となっている。
(BAPTC)



BAPTC に併設されている加工施設 (BAPTC)



小分けされた出荷待ち商品 (BAPTC)



産地より運び込まれたキャベツ。室温上昇による悪化を若干でも軽減するため、窓を少し開けて輸送される。(BAPTC)



商品の小分け作業風景 (BAPTC)



プラスチッククレート (BAPTC)



商品包装用古紙 (新聞、学校教材等を利用)
(BAPTC)



温度上昇軽減のため氷を入れている。
(Benguet Cold Chain)



各利用者の収納可能クレート数と場所を表示
している。(Benguet Cold Chain)



冷蔵倉庫内部の様子
(Benguet Cold Chain)



ベンゲット州における会議風景



総会風景。アクションプランなどはまだ策定されていない。GAP 認証を取得している農家も多く、女性メンバーも多く活発な印象あり。今後の連携が期待される。

Vegie Salad Processing Association Incorporated (VSAPAI)



結成 1 年目の農民組合 (VSAPAI)

略 語 表

| 略 語 | 正 式 名 称 |
|------------|---|
| AMAD | Agribusiness and Marketing Assistance Division |
| AMAS | Agribusiness and Marketing Assistance Service |
| ATI | Agricultural Training Institute |
| BAFE | Bureau of Agricultural and Fisheries Engineering |
| BAFS | Bureau of Agriculture And Fisheries Standards |
| BAPTC | the Benguet Agri Pinoy Trading Center |
| BSWM | Bureau of Soils and Water Management |
| BJATA | Buguias-Japan Agricultural Trainees Association |
| CAR | Cordillera (six provinces : Abra, Apayao, Benguet, Ifugao, Kalinga and Mountain Province) Administrative Region |
| C/P | Counterpart Personnel |
| DA | Department of Agriculture |
| FOS-SPCMAD | Field Operations Service - Special Projects Coordination and Management Assistance Division |
| FVC | Food Value Chain |
| JAEC | The Japan Agricultural Exchange Council |
| JCC | Joint Coordinating Committee |
| LTVTP | La Trinidad Vegetable Trading Post |
| LGU | Local Government Unit |
| M/M | Minutes of Meetings |
| PCAF | Philippine Council for Agriculture and Fisheries |
| PDM | Project Design Matrix |
| PDS | Project Development Service |
| PO | Plan of Operations |
| PRDP | Philippine Rural Development Project |
| HVCDP | High Value Crop Development Program |
| RFO | Regional Field Office |
| SPCMAD | Special Projects Coordination and Management Assistance Division |
| SPPAQ | Sentrong Pamilihan ng Produktong Agrikultura ng Quezon |
| WB | World Bank |
| 4A | 4A (CaLaBaRZon, five provinces : Batangas, Cavite, Laguna, Quezon, and Rizal) Administrative Resion |

対語表

| | |
|--------------|-----|
| 行政区分 | |
| Region | 地区 |
| Province | 州 |
| Municipality | 市町村 |

用語説明

・ロードマップ

バリューチェーン全体の流れを評価し、短期、中長期に FVC 関係者が取り組むべき事項を整理したもの。

・包摂的 FVC モデル

多様な FVC 関係者が近代的なバリューチェーンに参加し、FVC 振興によって得られる農産物の付加価値による利益を公正に享受するために、フィリピン政府が取り組む FVC の状況に合わせて、FVC 改善のための個々の要素技術を効果的に組み合わせたもの。〔要素の事例：付加価値の上昇には、単価の向上と販売量の拡大（収穫後ロスの削減を含む）の要素がある。〕

・パイロット活動

ロードマップのなかで特にボトルネックとなっており、かつ短期的に克服可能な課題に焦点を当て、包摂的 FVC モデルの構築に取り組むもの。この際、プロジェクトを通じた活動だけでなく、過去の協力の成果や民間事業者による投資、フィリピン政府の取り組みについても積極的に取り入れ、バリューチェーン全体がカバーされたモデルを構築することが重要な要件となる。

・FVC 関係者

生産者（農家、農家グループ）、民間事業者（仲買人、卸売業者、輸送業者、スーパーマーケット、食品加工業、レストラン、小売店など、収穫された農産物が最終消費者に届くまでの経路を担う事業者を指す）、行政機関（中央省庁、自治体）。

・FVC 関係者のプラットフォーム

FVC の課題分析、情報共有（市場情報、政府の定める基準・規制に係る情報）、ビジネスマッチング等を目的とした、官民の FVC 関係者からなるグループ。

第1章 詳細計画策定調査の概要

1-1 要請の背景

フィリピンにおいて、農業は同国全就労人口のおよそ25% (Philippine Statistics Authority 2018) を抱える一方、GDP比では9.3% (FAOSTAT 2018年) を占めるにとどまっており、生産性の低迷が指摘されている。近年、農業セクターの労働人口が、より生産性の高いサービスセクター等に流出しているうえ、農業従事者の高齢化も進み、農業セクターにおける労働人口が逼迫している。2019年2月、コメの輸入を制限していたフィリピン政府が“rice tariffication law”を制定し、関税(40%)を支払うことで輸入制限を緩和し、コメ価格を引き下げ、コメから園芸作物や高付加価値作物へ転換し、農業の競争力強化を通じた農業生産性及び農家所得を向上させる方向性を示した。

フィリピンでは近年の経済成長に伴い中間層の購買力は向上しており、都市部を中心としてスーパーマーケット等を通じた食材の販売、食品産業の成長などが確認できる。一方で、農業セクターの現状をみると、農家による適切な市場情報入手や農民組織を通じた計画的な生産・出荷の困難さ、統一的な品質や規格に関する基準の未整備、農業金融へのアクセス、流通業者の高い輸送コストと生産者と実需者のコミュニケーション不足、市場アクセス道路やコールドチェーン施設の未整備、民間企業の参入が限定的等の課題がある。すなわち、①生産現場、②流通システム・制度面、③民間企業との連携においてそれぞれ課題があり、需要の変化をうまくとらえて農業振興につなげるには至っていない。これらの課題を解決してフィリピン農業・農村の振興につなげるためには、競争力強化のためにサプライチェーンを真に付加価値のあるバリューチェーンにすること、民間企業の農業セクターへの進出を促すこと、このための制度面の改善を図る必要がある。

これまでのフィリピン政府の政策及びわが国の協力においては、民間投資も見据えた生産から加工、流通、販売、消費までを網羅的にとらえたFVC構築に重点を置いた支援は限定的であった。かかる状況を受け、2019年8月、フィリピン政府はわが国政府に対し「園芸作物におけるフードバリューチェーン改善プロジェクト」として、生産の多様化・競争力の強化に向けた包括的FVC構築を目的とした技術協力を要請した。

1-2 調査の目的

本調査の目的は次のとおり。

- (1) 協力の枠組み(上位目標、プロジェクト目標、成果、指標、活動、協力期間、実施体制、投入等)について実施機関等と協議し、M/Mで合意すること。
- (2) 本格協力の実施に必要な関連情報の収集・整理を行うこと。
- (3) 本格協力の実施方法、留意事項等について確認し、計画策定結果にまとめること。

1-3 調査団構成

調査団の構成は以下のとおり。

表-1 調査団の構成

| 担当分野 | 氏名 | 現地調査期間 |
|------|--------|---------------------------------------|
| 総括 | 大島 歩 | 2022年8月22日～9月2日 (8月22日～8月24日は遠隔調査) |
| 副総括 | 齋藤 美穂子 | 2022年8月22日～9月2日 (遠隔調査のみ) |
| 協力企画 | 永井 絵理 | 2022年8月22日～9月2日 |
| 評価分析 | 望月 昭宏 | 2022年8月22日～9月2日 |

1-4 調査日程と調査手法

前半には、DA や DA-RFO、LGU と協議を行い計画フェーズの活動実績及び実施フェーズに向けた課題等について情報整理を行った。

主に後半には、DA とプロジェクトの枠組みを定めた文書であるプロジェクト・デザイン・マトリックス (PDM) (今回合意された PDM については付属資料 2. 「プロジェクト・デザイン・マトリックス (PDM) バージョン 1」参照) 等の主要プロジェクトドキュメントに関する合意形成を行い、2020 年 9 月 18 日に M/M の署名に至った。(M/M については付属資料 4. 「署名済み M/M」参照)。

第2章 プロジェクトの協力計画の概要

2-1 事業概要

〈案件名〉

日本語：園芸作物におけるフードバリューチェーン改善プロジェクト

英語：Project for Market-Driven Enhancement of Vegetable Value Chain in the Philippines

2-2 協力の範囲及び内容

2-2-1 協力期間

計画フェーズ：2022年2月～2022年9月

実施フェーズ：2021年10月～2026年2月

計6年

2-2-2 プロジェクトサイトの選定

プロジェクトサイト（対象州）とは、本プロジェクトにおいて当該州の圃場を起点とする園芸作物バリューチェーンの改善を図り、もって当該州の農家の所得向上を図る地域である。また、プロジェクトサイトにおいて構築されたバリューチェーンは、他州が後年バリューチェーン改善を進める際の参考となることを想定した。対象州選定にあたっては、基本計画策定調査にて提案された以下の選定基準に基づき、計画フェーズの調査結果も考慮し、対象州・対象市町村を以下のとおり合意した。

- ・高地野菜生産地としてベンゲット州：ラトリニダット、ブギアス、アトック、キブンガン、マンカヤン
- ・低地野菜生産地としてケソン州：ドローレス、サリアヤ、グマカ、ロペス

なお、ベンゲット州、ケソン州においては、それぞれ2～3町を対象（ベンゲット州ではラトリニダット、ブギアス、アトック、ケソン州ではドローレス、サリアヤ）にパイロット活動を開始し、パイロット活動2年目にフィリピン側主導で上記9町のうち1年目に対象にしなかった町（ベンゲット州ではキブンガン、マンカヤン、ケソン州ではグマカ、ロペス）に拡大することに合意した。

また、消費に関するパイロット活動地としてマニラ首都圏を対象とすることに合意した。

〈基本調査時に調査団より提案した基準〉

(1) フィリピン国内における広範なFVCへの適用可能性

- ・対象作物の生産量
- ・対象作物の栽培面積
- ・FVC関係者の構成（業種と人数など）

(2) FVC近代化に伴う農家への裨益効果

- ・期待される付加価値の向上
- ・期待される流通量の拡大

(3) 本プロジェクトの限られた時間と投入の範囲内での実現可能性

- ・技術面でのギャップ
- ・インフラ面でのギャップ
- ・投資面でのギャップ
- ・制度面でのギャップ

2-2-3 ターゲットグループ

以下のとおり決定した。

- ・ベンゲット州及びケソン州において野菜栽培に携わる農家グループ（パイロット活動においては、3~5グループ×9町、1グループ約50名の農家が参加することを想定）
- ・市場関係者（流通業者、仲買人を含む）
- ・DA AMASDA 職員
- ・DA HVCDPDA 職員
- ・DADA Regional Field Office 職員
- ・Office of Provincial Agriculturist、Office of Municipal Agriculturist
- ・消費者

2-2-4 総事業費

4億9,700万円（計画フェーズ：1億4,000万円、実施フェーズ：3億5,700万円）を想定。

2-2-5 上位目標

包摂的 FVC モデルをプロジェクト対象地域以外の州へ拡大・導入することで、野菜を主とした園芸作物のバリューチェーンが強化される。

〈指標及び目標値〉

プロジェクト対象地域以外の XX 州/町において、包摂的 FVC モデルが導入され、バリューチェーンが強化される（農家グループの利益向上、農家レベルにおける収穫後ロスの減少、農家グループと民間事業者の取引確立等）。

2-2-6 プロジェクト目標

プロジェクト対象地域における野菜を主とした園芸作物のバリューチェーンが、包摂的 FVC モデルの実施により強化される。

〈指標及び目標値〉

1. プロジェクトに参加した農家グループの農業利益がベースライン調査より XX%増加する。
2. 収穫後ロスの削減や販売先の拡大により、プロジェクトに参加した農家の販売可能な農産物の量が XX%増加する。
3. プロジェクト開始以降、対象農家グループと民間事業者との取引が XX 件以上構築される。

2-2-7 成果

成果 1：“Philippine Vegetable Industry Roadmap 2021-2025” に整合した、バリューチェーン強

化ロードマップ（案）が策定され、プロジェクトの概要が設定される。

成果 2：パイロット活動を通じてバリューチェーン強化に資するさまざまな技術オプションが検証され、これらの技術オプションの活用に向けた FVC 関係者の能力が強化される。

成果 3：FVC プラットフォームにおける協議やパイロット活動を通じて、FVC 強化のための民間セクターの参入と民間投資が促進される。

成果 4：包摂的 FVC モデルが、ベンゲット州及びケソン州のパイロット活動対象町以外の州・市・町へ普及・展開される。

2-2-8 活動

1-1：既存のバリューチェーン分析及びロードマップの分析を行う。

1-2：市場調査を行い対象 FVC の課題を把握する。

1-3：FVC 関係者によるプラットフォームを形成する。

1-4：短期的、中長期的取り組みを含むバリューチェーン強化ロードマップ案を作成する。

1-5：包摂的 FVC モデル開発のためのパイロット活動案を取りまとめる。

2-1：包摂的 FVC モデル構築のため、対象地域においてパイロット活動を実施する。

2-2：FVC 関係者が日本の FVC を学ぶための本邦研修を実施する。

2-3：パイロット活動実施中の進捗モニタリングと課題に基づき、必要に応じてパイロット活動のワークプランを見直す。

2-4：パイロット活動の進捗に係るモニタリングを行い、バリューチェーンにおいて付加価値が創出されたかを関連データの記録により把握する。

2-5：パイロット活動の結果に基づき、包摂的 FVC モデルを構築する。

3-1：FVC プラットフォームでパイロット活動の活動、進捗、課題について議論する。

3-2：FVC プラットフォームを通じてプロジェクトの成果を広く共有すること等により、FVC プラットフォームへの民間セクターの参加と FVC 改善に向けた投資を促進する。

3-3：パイロット活動の結果を DA と共有し、“Philippine Vegetable Industry Roadmap 2021-2025”の実現に貢献する。

3-4：セミナー/フォーラムを開催し、プロジェクトの成果を共有する。

4-1：ベンゲット州及びケソン州のパイロット活動対象町以外またはベンゲット州及びケソン州以外の州に包摂的 FVC モデルを普及させる際の、DA、DA 地方事務所、州・町農業局の関連部署の役割を特定する。

4-2：（DA 地方事務所、町農業局主導により）パイロット活動をベンゲット州及びケソン州のパイロット活動対象町内の他の農家グループに普及する。

4-3：（DA 地方事務所、州農業局主導により）パイロット活動をベンゲット州、ケソン州内のパイロット活動対象町以外の市・町へ普及・展開させる。

4-4：（DA 主導により）パイロット活動をベンゲット州及びケソン州以外の州へ普及・展開させる。

4-5：ベンゲット州・ケソン州内のパイロット活動対象町以外の市・町または、ベンゲット州及びケソン州以外の州へ包摂的 FVC モデルを普及するためガイドラインを作成する。

4-6：農家グループ、市・町、州の間で経験共有を行うためのセミナーを開催する。

2-2-9 投入

(1) 日本側

- ① 専門家派遣（合計約 95 人/月）：
総括/バリューチェーン開発、野菜栽培技術、マーケティング/農産物流通、収穫後処理/
農産物加工、農協組織強化、研修企画等
- ② 本邦研修
- ③ 技術移転に必要な資機材供与（保冷倉庫や加工施設等大規模なものではなく、技術移
転に必要な小規模なものに限る）
- ④ フィリピン政府側で負担しないローカルコスト（パイロット活動に必要な費用、研修
費、ワークショップ・セミナー開催費等）

(2) フィリピン国側

- ① カウンターパート（Counterpart Personnel：C/P）の配置
- ② 案件実施のためのサービスや施設、現地経費の提供
- ③ プロジェクトオフィス、水道光熱費、必要な資機材（JICA からの供与資機材を除く）、
ローカルコスト負担

2-2-10 実施体制

本プロジェクトの実施体制（合同調整委員会、実施体制）を図-1 に示した。

(1) 合同調整委員会

合同調整委員会（Joint Coordinating Committee：JCC）は、プロジェクト全般の最終的な
意思決定や活動内容の共有を目的として設置し、議長は Undersecretary for Operations、共同
議長を Undersecretary for Consumer Affairs が務める。

- ① 議長：Undersecretary for Operations
- ② 共同議長：Undersecretary for Consumer Affairs
- ③ フィリピン側メンバー
 - 1) Assistant Secretary for Operations
 - 2) Director, Agribusiness and Marketing Assistance Service
 - 3) Director, Field Operations Service
 - 4) Director, Project Development Service
 - 5) Director, High Value Crops Development Program
 - 6) Director, Agricultural Training Institute
 - 7) Deputy Director, Agribusiness and Marketing Assistance Service
 - 8) Chief, Special Project Coordination and Management Division
 - 9) Chairperson, Philippine Council for Agriculture and Fisheries（PCAF） Sub-committee on
Fruits and Vegetables, Or, Regional or Provincial Committee on Fruits and Vegetables
 - 10) Members of the National Implementation Team
 - 11) Members of the Regional Implementation Teams

④ 日本側メンバー

- 1) JICA 専門家
- 2) Representatives of JICA Philippines Office
- 3) Representatives of JICA Headquarter
- 5) Representatives from the Embassy of Japan (as an observer)

(2) 実施体制

< 中央実施体制 (National Implementation Team) >

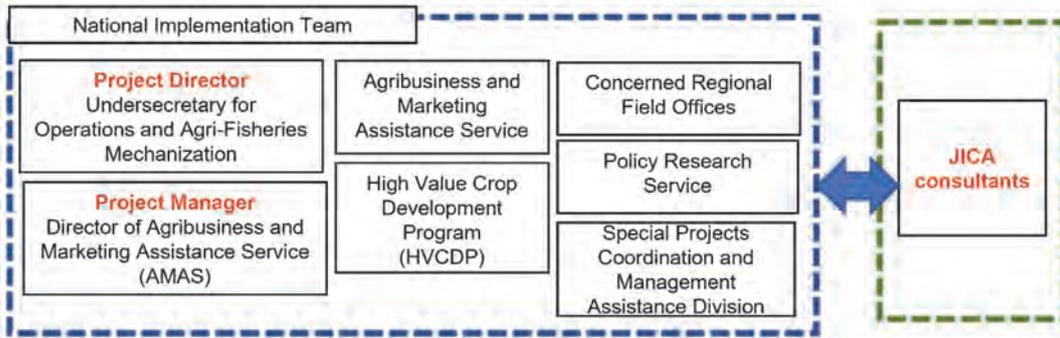
- ① プロジェクト・ディレクター : Director of AMAS
- ② プロジェクト・マネジャー : Deputy Director of AMAS
- ③ DA AMAS 職員
- ④ DA HVCDP 職員

< 地方実施体制 (Regional Implementation Team) >

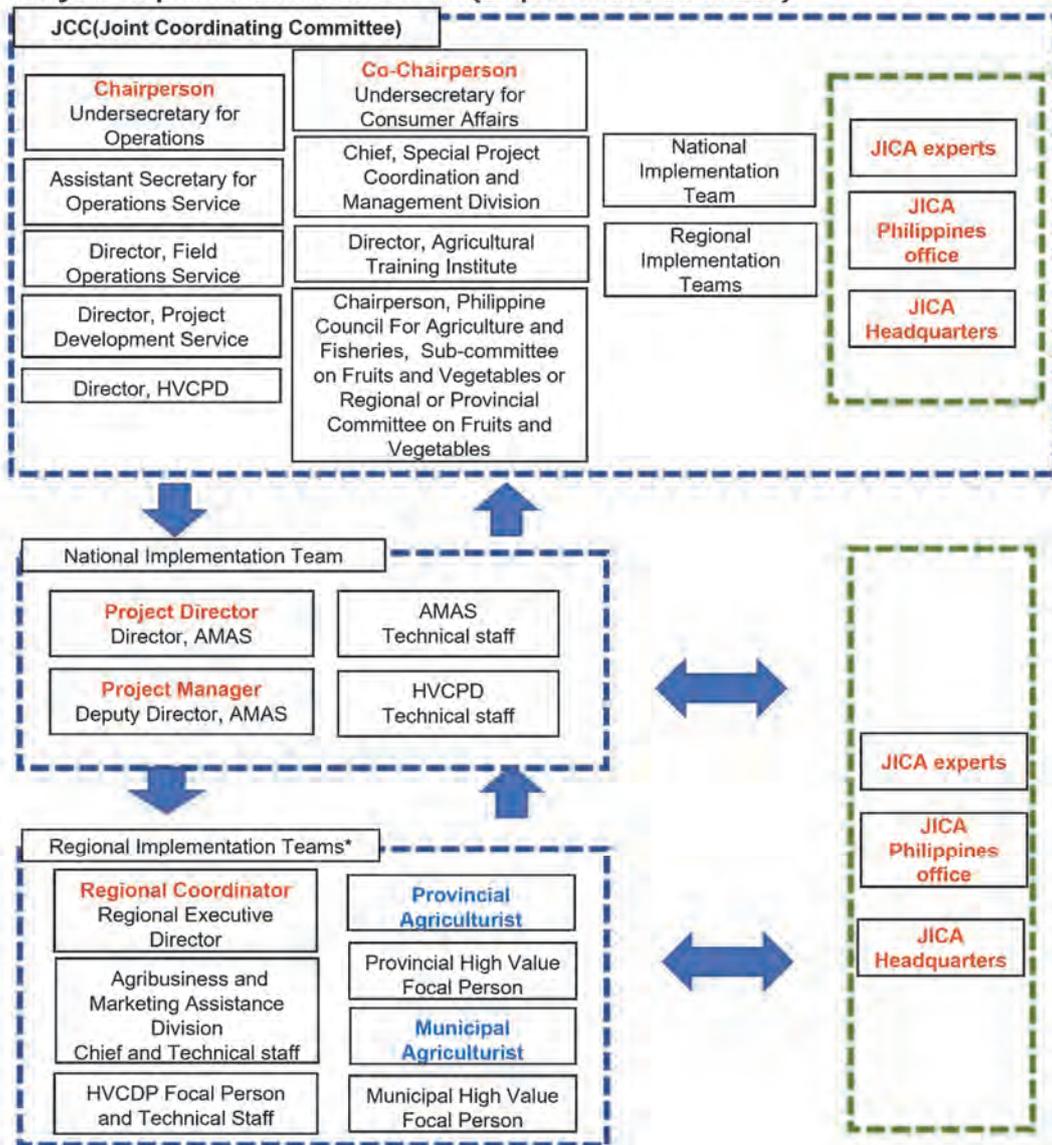
- ① 地方コーディネーター : Regional Executive Director, DA Regional Field Offices
- ② DA Regional office, Agribusiness and Marketing Assistance Service Division (AMAD),
HVCDP focal person
- ③ Office of Provincial Agriculturist, High Value Crop Focal Person
- ④ Office of Municipal Agriculturist, High Value Crop Focal Person

Project Implementation Structure

Project Implementation Structure (Planning Phase)



Project Implementation Structure (Implementation Phase)



* Regional Implementation Teams are formulated in Benguet and Quezon Provinces

出所：調査団作成

図－1 プロジェクトの実施体制

2-2-11 前提条件・外部条件

(1) 前提条件

フィリピンの関連する農業政策・計画に大幅な変更がない。

(2) 外部条件

大規模な気象災害（干ばつ・洪水等）が発生しない。

事業実施を行う C/P 機関に大規模な人事異動での、知識流失が起こらない。

第3章 調査結果

3-1 計画フェーズの協力成果

3-1-1 成果1のための活動

計画フェーズにて達成が予定されていた成果は、成果1「官民併せて取り組むFVC近代化に向けたロードマップ（案）がFVC関係者間で形成・合意されるとともに、プロジェクトの構成が定まる」である。プロジェクトは、2021年12月にC/Pとキックオフ会議を開始し、その後2022年2月に日本人専門家がフィリピンに初渡航し、約8カ月間活動を実施した。計画フェーズ開始時のPDM上の活動は以下のとおり。

1-1：バリューチェーン分析の実施

1-1-1：園芸作物のバリューチェーンを主なカテゴリ（卸売市場を経由する伝統的な流通形態や、ハイエンドマーケット・輸出事業者向けの契約栽培等）に区分する。

1-1-2：各バリューチェーンにおけるFVC関係者を特定する。

1-1-3：各バリューチェーンにおいてFVC関係者が抱える課題を抽出する。

1-2：市場調査を行い、フィリピンの園芸作物市場において、今後付加価値の向上が期待できる市場の種類と規模（品質、量、価格、時期等）について把握する。

1-3：プラットフォームを形成する。

1-4：1-1及び1-2の結果を用いて、短期的、中長期的に取り組むべき方策を検討し、FVC近代化に向けたロードマップとして取りまとめる。基本計画策定調査点で想定されるオプションは、表-2のとおり。

表-2 基本計画策定調査時のFVCロードマップのオプション

| | 生産者 | 民間事業者 | 行政機関 |
|-------------------------|-----|-------|------|
| 市場情報の関係者間での共有のための仕組みづくり | ○ | ○ | ◎ |
| 統一的な品質基準・規格の作成と運用 | ○ | ◎ | ○ |
| 市場ニーズに即した計画的な生産・出荷 | ◎ | ○ | |
| 収穫後処理技術の改善 | ◎ | | |
| 集出荷システムの改善 | | ◎ | |
| 品質ベースの価格形成システムの導入 | ○ | ◎ | |
| 市場での価格形成・商取引方法の改善 | ○ | ○ | ○ |
| 梱包・包装技術の改善 | ○ | ○ | ○ |
| コールドチェーンの改善 | ○ | ◎ | ○ |
| トレーサビリティの向上 | ○ | ○ | ◎ |
| 消費者が農産物の安全性を判断できる仕組みの構築 | ○ | ○ | ◎ |
| 流通・販売方法の多様化 | ○ | ○ | ○ |
| 小売り時の商品表示の改善 | | ○ | ○ |
| 消費者の購買意欲向上に係る活動 | | ○ | ○ |

1-5：包括的ビジネスモデルの開発のためのパイロット活動計画を取りまとめる。

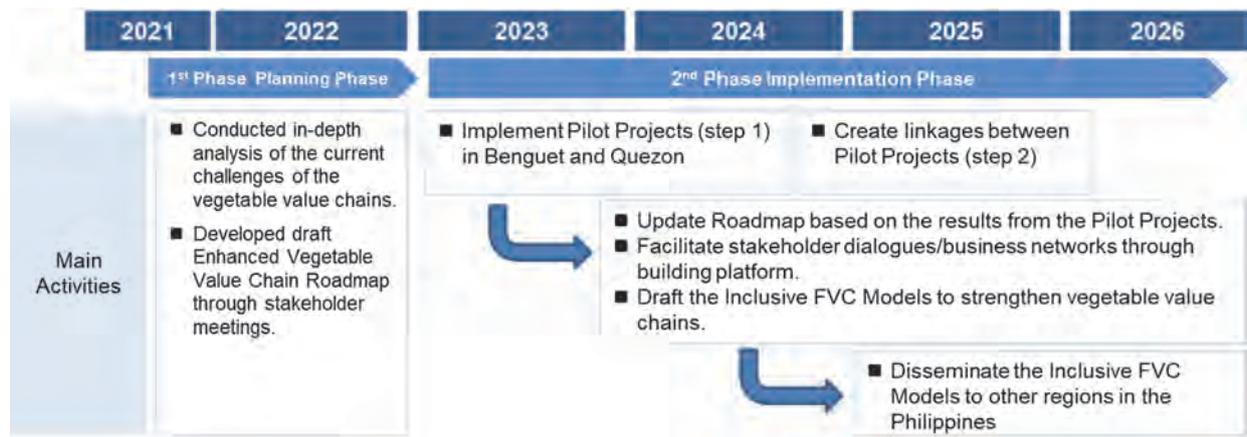
1-5-1：主要な園芸作物生産地におけるバリューチェーンの課題と改善・最適化に必要な事項を洗

い出す。

- 1-5-2：1-5-1 で確認された課題・取り組み事項について、他地域・他の品目にも適用可能性（汎用性）があるか、限られたプロジェクト期間と投入で実現可能か、インパクトと費用対効果は妥当であるか等の視点で整理し、対象州及び成果2に関する活動を決定する。
- 1-5-3：1-5-2 で定めた活動計画について、プラットフォームを通じ、①活動内容を協議・具体化し、②計画を実施するとともに、③定期的にモニタリングする仕組みを構築する。
- 1-5-4：包括的ビジネスモデルのアセスメントツールを開発する。
- 1-6：本邦研修を通じ、行政機関や民間事業者による支援の具体例を学ぶ。
- 1-7：スマートフードチェーン（SFC）技術の園芸作物バリューチェーンへの導入可能性を確認する。

計画フェーズの主な実績は以下のとおり。

- ・野菜生産実績に基づく有力10州とその生產品目の整理、パイロット事業を実施する候補2州の選定。
- ・バリューチェーン分析、定性・定量調査と市場調査により経済実態の把握。
- ・バリューチェーン分析、定性・定量調査・市場調査の結果及び、既存優良事例を活用したロードマップ案とパイロット活動案の作成。
- ・他ドナー・フィリピン政府機関等による FVC 関連支援の把握。
- ・ジェンダー主流化ニーズの把握。
- ・スマートフードチェーン技術導入の検討。
- ・プラットフォーム形成に係る情報収集。
- ・ロードマップ策定に係るワークショップの開催（2023年7月にケソン州、ベンゲット州でそれぞれ1回）。
- ・広報、啓発活動に係る情報収集。



出所：調査団作成

図ー2 本プロジェクトの流れ

3-1-2 成果1の達成状況

成果1の指標は、詳細計画策定調査で決定することとなっているが、仮で設定された指標は以下のとおり。

- ・ロードマップ（案）が作成される
- ・プラットフォームが形成される
- ・パイロット活動の計画がプラットフォームで取りまとめられる

本プロジェクトの計画フェーズでは、フィリピンにおける主要な園芸作物バリューチェーンの分析や市場調査を通じて、バリューチェーン上の課題を特定し、短期的・中長期的に取り組むべき方策を現地のFVC関係者との協議を通じて、FVC近代化に向けたロードマップ（案）として取りまとめた。

詳細計画策定調査のなかで、同ロードマップ（案）は、フィリピン政府が2022年6月に公表した“Philippine Vegetable Industry Roadmap 2021-2025”と中身に重複があり、DAのロードマップの範囲が広いことが明らかになった。本プロジェクトのパイロットプロジェクトがDAのロードマップに示された短期戦略として位置づけられることを確認し、パイロットプロジェクトで得られた情報や成果をDAに共有することでDAのロードマップの実現に貢献することに合意した。

3-2 M/Mにて合意した協議内容

今次調査では、先方関係機関との協議・合意内容を記録したM/Mが作成され、署名された（付属資料4.「署名済みM/M」）。M/Mの記載の内容を以下に記す。

3-2-1 基本方針

本プロジェクトは、ルソン島全体のバリューチェーンを俯瞰・分析し、FVC関係者を巻き込んで改善のモメンタムをつくり、改善（制度の改善、行政の介入、投資の呼び込み、民間企業の参入促進、消費者の意識変容の推進等）を推し進めていくとともに、特定のバリューチェーンにおける集中的な改善活動を通じて、他地域でも汎用可能なモデルケースを提示するものとして合意した。

2022年8月に実施した詳細計画策定調査では、以下4点をプロジェクトの基本方針とすることを、フィリピン側C/Pと合意した。

- ・バリューチェーンの改善活動においては「農家の収益向上」を重視すること（プロジェクトを通じて、バリューチェーンにかかわる人々の収益向上、消費者が鮮度の高い農産物を安価に購入できること等といった成果も想定されるが、これらを優先することで農家の収益向上が蔑ろにされることのないよう留意する）。
- ・フィリピン国内のバリューチェーンを対象とすること（輸出に向かうバリューチェーンは想定しない）。
- ・対象農産物は、園芸作物（主として野菜）とすること（穀類はバリューチェーン構造が複雑であり、政治的要素も絡むため含めない）。
- ・多くの農家、特に小規模農家に裨益し、かつ汎用性の高いモデルケースの形成をめざすこと。

3-2-2 PDM の修正

PDM バージョン 0 は 2021 年 10 月にプロジェクト開始前に作成されたものであり、詳細計画策定調査での議論を踏まえ PDM バージョン 1(付属資料 2.参照)とした。主な修正を表-3 に示す。

基本計画策定調査時には FVC 関係者が近代的なバリューチェーンに参加し、FVC 振興によって得られる農産物の付加価値による利益を公正に享受するために、対象とする FVC の状況に合わせて個々の要素技術を効果的に組み合わせるものについて、「包括的ビジネスモデル」と称していたが、関係者間でイメージの共有を図るため、「包摂的 FVC モデル」と称することとした。

詳細計画策定調査にて課題に基づいたパイロット活動が提案され、合意されたことで、それぞれの指標が具体化した。他方、調査時の情報が不足しており、指標の数字については確定できなかったため、今後プロジェクトのなかでベースライン調査等を行い、C/P とともに合意していく必要がある。

実施フェーズ前半には、対象町においてパイロット活動を実施し、徐々に対象農家・町を広げていき、最終的には作成した包摂的 FVC モデルを、プロジェクト期間中・終了後を通じて、フィリピン政府により対象地域以外へ普及・展開することをめざす形とした。

表-3 詳細計画策定調査を踏まえた PDM 改訂箇所

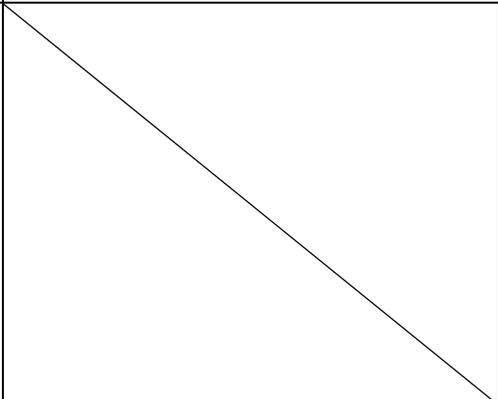
| 変更箇所 | Ver.0 | Ver.1 |
|-------------|---|---|
| 上位目標 | 収益性の高い園芸作物の FVC が自立的に拡大する。 | 包摂的 FVC モデルをプロジェクト対象地域以外の州へ拡大・導入することで、野菜を主とした園芸作物のバリューチェーンが強化される。 |
| 上位目標の指標 | 生産された野菜の価値の増加率 (%) 園芸作物バリューチェーンの収益性増加率 (%) 包括的ビジネスモデルに参加した農家数 | プロジェクト対象地域以外の XX 州/町において、包摂的 FVC モデルが導入され、バリューチェーンが強化される(農家グループの利益向上、農家レベルにおける収穫後ロスの減少、農家グループと民間事業者の取引確立等)。 |
| プロジェクト目標 | 農家の収益向上に資する包括的ビジネスモデルが構築される。 | プロジェクト対象地域における野菜を主とした園芸作物のバリューチェーンが、包摂的 FVC モデルの実施により強化される。 |
| プロジェクト目標の指標 | 1. フィリピンの FVC 近代化に向けたロードマップが DADA 内で承認される。 2. 包括的ビジネスモデルの導入により対象 FVC の収益性が向上する。 3. 包括的ビジネスモデルを XX 名の農家が採用する。 4. 包括的ビジネスモデルを採用した農家の平均所得が向上する。 | 1. プロジェクトに参加した農家グループの農業利益がベースライン調査より XX% 増加する。 2. 収穫後ロスの削減や販売先の拡大により、プロジェクトに参加した農家の販売可能な農産物の量が XX% 増加する。 3. プロジェクト開始以降、対象農家グループと民間事業者との取引が XX 件以上構築される。 |

| 変更箇所 | Ver.0 | Ver.1 |
|-------|--|--|
| 成果 | <p><計画フェーズ> 成果1:官民併せて取り組むFVC近代化に向けたロードマップ(案)がFVC関係者間で形成・合意されるとともに、プロジェクトの構成が定まる。</p> <p><実施フェーズ> 成果2:パイロット活動の実施を通じFVC関係者の能力が向上し、包括的ビジネスモデルが開発される。 成果3:包括的ビジネスモデルが検証・更新され、国内のFVC関係者へ共有される。</p> | <p>成果1:“Philippine Vegetable Industry Roadmap 2021-2025”に整合した、バリューチェーン強化ロードマップ(案)が策定され、プロジェクトの概要が設定される。</p> <p>成果2:パイロット活動を通じてバリューチェーン強化に資するさまざまな技術オプションが検証され、これらの技術オプションの活用に向けたFVC関係者の能力が強化される。</p> <p>成果3:FVCプラットフォームにおける協議やパイロット活動を通じて、FVC強化のための民間セクターの参入と民間投資が促進される。</p> <p>成果4:包括的FVCモデルが、ベンゲット州及びケソン州のパイロット活動対象町以外の州・市・町へ普及・展開される。</p> |
| 成果の指標 | <p><計画フェーズ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロードマップ(案)が作成される。 ・プラットフォームが形成される。 ・パイロット活動の計画がプラットフォームで取りまとめられる(FVC関係者の能力向上について、対象者、どのような能力を指標とするか、詳細計画にて策定する)。 <p><実施フェーズ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・包括的ビジネスモデルに参加する農家グループ数 ・ICTを活用したプラットフォーム数 ・作成されたマニュアル及び研修モジュールの数 | <p><計画フェーズ></p> <ol style="list-style-type: none"> 1-1. 野菜バリューチェーンロードマップ(案)が作成される。 1-2. FVCステークホルダープラットフォームが形成される。 1-3. FVCステークホルダーのプラットフォームによりパイロットプロジェクト案が承認される。 <p><実施フェーズ></p> <p><パイロットプロジェクト1></p> <ol style="list-style-type: none"> 2-1. 栽培カレンダーにより、プロジェクトサイト内のXX農家グループの生産能力が向上する。 2-2. プロジェクトサイト内のXX農家グループのビジネス及び組織力が向上する。 2-3. プロジェクトサイト内のXX農家グループが高品質種/苗へのアクセスが増加する。 <p><パイロットプロジェクト2></p> <ol style="list-style-type: none"> 2-4. 冷蔵保存に関する計画/管理のガイドラインが策定される。 2-5. ケソン州において野菜の予備冷蔵に係る有効性が検証される。 <p><パイロットプロジェクト3></p> <ol style="list-style-type: none"> 2-6. パイロットプロジェクトに参加したステークホルダーのXX%が、輸送中のロス削減のため積み重ね可能プラスチ |

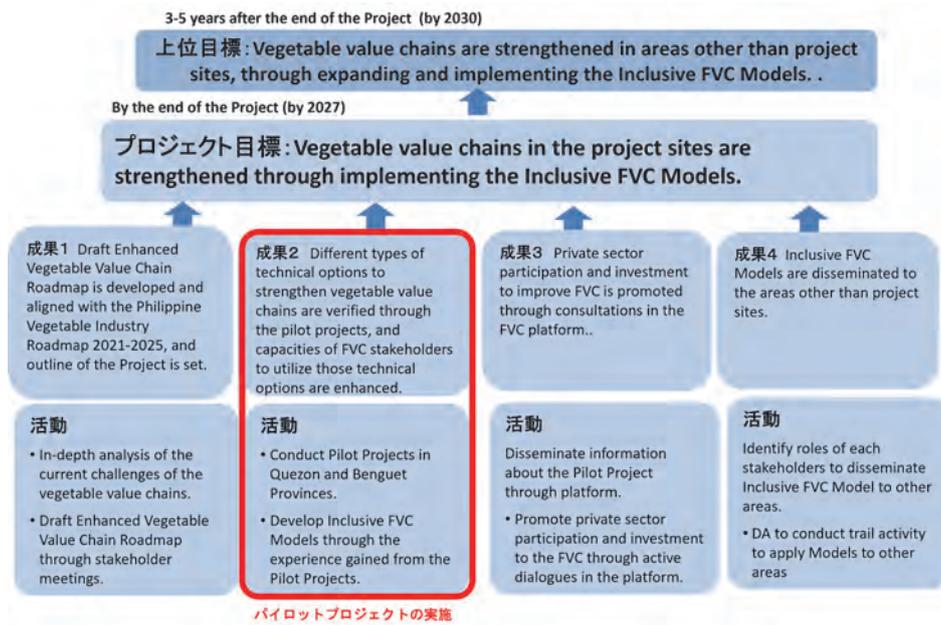
| 変更箇所 | Ver.0 | Ver.1 |
|------|---|---|
| | | <p>ッククレートの使用に満足する。</p> <p><パイロットプロジェクト 4></p> <p>2-7. XX 農家グループが、パイヤーが求める要求事項の理解も含め、E コマースプラットフォームで野菜を販売するための知識が向上する。</p> <p>2-8.プロジェクトサイトにおいて E コマースプラットフォームを利用する農家が XX に増加する。</p> <p><パイロットプロジェクト 5></p> <p>2-9. XX 農家グループが農産品加工企業とつながる。</p> <p>2-10. プロジェクトサイトの XX 農家グループの農産品加工能力が向上する。</p> <p><パイロットプロジェクト 6></p> <p>2-11. 野菜消費 PR キャンペーンが XX 回実施される。</p> |
| 活動 1 | <p>1-1：バリューチェーン分析の実施</p> <p>1-1-1：園芸作物のバリューチェーンを主なカテゴリ（卸売市場を経由する伝統的な流通形態や、ハイエンドマーケット・輸出事業者向けの契約栽培等）に区分する。</p> <p>1-1-2：各バリューチェーンにおける FVC 関係者を特定する。</p> <p>1-1-3：各バリューチェーンにおいて FVC 関係者が抱える課題を抽出する。</p> <p>1-2：市場調査を行い、フィリピンの園芸作物市場において、今後付加価値の向上が期待できる市場の種類と規模（品質、量、価格、時期等）について把握する。</p> <p>1-3：プラットフォームを形成する。</p> <p>1-4：1-1 及び 1-2 の結果を用いて、短期的、中長期的に取り組むべき方策を検討し、FVC 近代化に向けたロードマップとして取りまとめる。</p> <p>1-5：包括的ビジネスモデルの開発の</p> | <p>1-1：既存のバリューチェーン分析及びロードマップの分析を行う。</p> <p>1-2：市場調査を行い対象 FVC の課題を把握する。</p> <p>1-3：FVC 関係者によるプラットフォームを形成する。</p> <p>1-4：短期的、中長期的取り組みを含むバリューチェーン強化ロードマップ案を作成する。</p> <p>1-5：包括的 FVC モデル開発のためのパイ</p> |

| 変更箇所 | Ver.0 | Ver.1 |
|------|--|--|
| | <p>ためのパイロット活動計画を取りまとめる。</p> <p>1-5-1: 主要な園芸作物生産地におけるバリューチェーンの課題と改善・最適化に必要な事項を洗い出す。</p> <p>1-5-2: 1-5-1 で確認された課題・取り組み事項について、他地域・他の品目にも適用可能性（汎用性）があるか、限られたプロジェクト期間と投入で実現可能か、インパクトと費用対効果は妥当であるか等の視点で整理し、対象州及び成果2に関する活動を決定する。</p> <p>1-5-3: 1-5-2 で定めた活動計画について、プラットフォームを通じ、①活動内容を協議・具体化し、②計画を実施するとともに、③定期的にモニタリングする仕組みを構築する。</p> <p>1-5-4: 包括的ビジネスモデルのアセスメントツールを開発する。</p> <p>1-6: 本邦研修を通じ、行政機関や民間事業者による支援の具体例を学ぶ。</p> <p>1-7: スマートフードチェーン（SFC）技術の園芸作物バリューチェーンへの導入可能性を確認する。</p> | <p>ロット活動案を取りまとめる。</p> |
| 活動2 | <p>2-1: 汎用性の高い伝統的なバリューチェーンに焦点を当てた1-5-2で策定したパイロット活動を実施する。</p> <p>2-2 契約栽培やネット販売なども含めた、より先進的なバリューチェーン¹の可能性を検討し、試行・実証を行う。</p> <p>2-3: 2-1 及び 2-2 を踏まえて、上流（生産者）から下流（消費者）までの農産物の流れ、付加価値化、農家の収益性等を定期的にモニタリングし、</p> | <p>2-1: 包括的 FVC モデル構築のため、対象地域においてパイロット活動を実施する。</p> <p>2-2: FVC 関係者が日本の FVC を学ぶための本邦研修を実施する。</p> <p>2-3: パイロット活動実施中の進捗モニタリングと課題に基づき、必要に応じてパイロット活動のワークプランを見直す。</p> |

¹ 大多数の農民が短期間で参入可能とはならないが将来的な可能性を秘めた先進的なバリューチェーンを指す。ネット通販、直販、契約栽培、高付加価値市場に絞ったビジネス展開等。

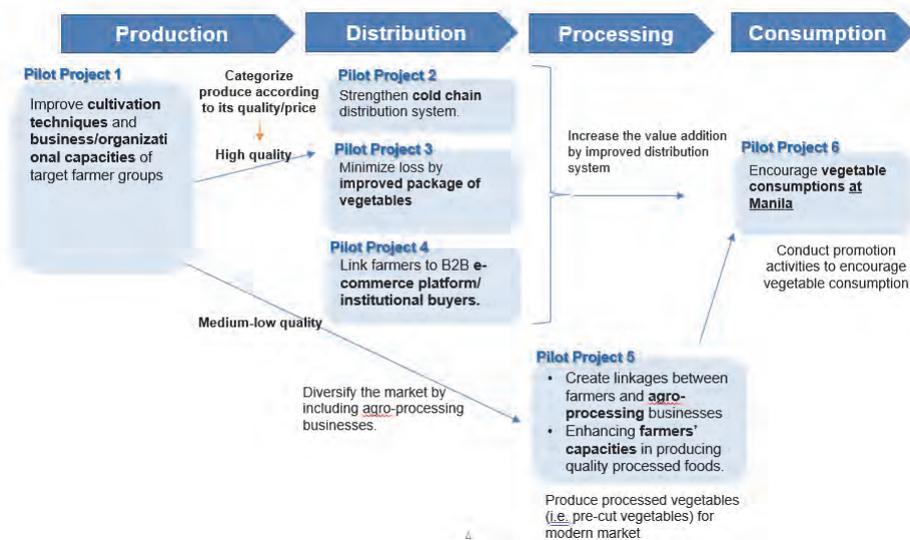
| 変更箇所 | Ver.0 | Ver.1 |
|------|---|---|
| | <p>必要に応じてパイロット活動の計画見直しを行う。</p> <p>2-4：本邦研修を通じ、行政機関や民間事業者による支援の具体例を学ぶ。</p> <p>2-5：パイロット活動の結果を踏まえ、包括的ビジネスモデルのガイドライン、マニュアル等の教材を作成する。</p> | <p>2-4:パイロット活動の進捗に係るモニタリングを行い、バリューチェーンにおいて付加価値が創出されたかを関連データの記録により把握する。</p> <p>2-5：パイロット活動の結果に基づき、包括的 FVC モデルを構築する。</p> |
| 活動 3 | <p>3-1：ロードマップ全体の進捗をモニタリングし、その進捗及び成果を FVC 関係者で共有し、ロードマップの遂行に必要な対応を整理し、必要に応じてロードマップの修正を行うに併せて、包括的ビジネスモデルを検証し、必要に応じて更新する。</p> <p>3-2：本プロジェクトの成果とロードマップの進捗について、広報及び個別に有力団体・企業等へ説明を行い、ロードマップへの参入（投資、事業展開、既存製品・規格・制度等を用いた実証事業、新たな製品・規格・制度等の開発等）を促進する。</p> <p>3-3:対象州以外の FVC 関係者に対し、対象州へのスタディーツアーの機会を提供する。</p> <p>3-4：包括的ビジネスモデルに関する全国レベルのセミナーを開催する。</p> | <p>3-1：FVC プラットフォームでパイロット活動の活動、進捗、課題について議論する。</p> <p>3-2：FVC プラットフォームを通じてプロジェクトの成果を広く共有すること等により、FVC プラットフォームへの民間セクターの参加と FVC 改善に向けた投資を促進する。</p> <p>3-3：パイロット活動の結果を DA と共有し、“Philippine Vegetable Industry Roadmap 2021-2025”の実現に貢献する。</p> <p>3-4：セミナー/フォーラムを開催し、プロジェクトの成果を共有する。</p> |
| 活動 4 |  | <p>4-1:ベンゲット州及びケソン州のパイロット活動対象町以外またはベンゲット州及びケソン州以外の州に包括的 FVC モデルを普及させる際の、DA、DA 地方事務所、州・町農業局の関連部署の役割を特定する。</p> <p>4-2：（DA 地方事務所、町農業局主導により）パイロット活動をベンゲット州及びケソン州のパイロット活動対象町内の他の農家グループに普及する。</p> |

| 変更箇所 | Ver.0 | Ver.1 |
|------|-------|--|
| | | <p>4-3：（DA 地方事務所、州農業局主導により）パイロット活動をベンゲット州、ケソン州内のパイロット活動対象町以外の市・町へ普及・展開させる。</p> <p>4-4：（DA 主導により）パイロット活動をベンゲット州及びケソン州以外の州へ普及・展開させる。</p> |



出所：調査団作成

図－3 詳細計画策定調査で合意したプロジェクトの枠組み



出所：調査団作成

図－4 成果2 パイロット活動の実施の概念図

3-2-3 POの修正

POバージョン0について、計画フェーズにおける実績を反映し、また、実施フェーズにおける活動スケジュールを反映したものに修正し、POバージョン1（付属資料3参照）とする。

3-2-4 プロジェクト期間

計画フェーズ当初、プロジェクト期間は5年を想定していた。しかし、詳細計画策定調査を通じ、パイロット活動を通じた包摂的FVCモデルの形成と、フィリピン政府による同モデルの対象地域以外への普及・展開に主眼を置くこととしたため、プロジェクト期間を2022年2月8日から2028年2月7日（6年間）に延長することとした。

3-2-5 対象地域及び対象農家グループ数

対象地域は以下のとおりに選定した²。

- ・ベンゲット州（人口46万人）（パイロット活動対象町：ラトリニダット、ブギアス、アトック、キブンガン、マンカヤン）
- ・ケソン州（人口195万人）（パイロット活動対象町：ドローレス、サリアヤ、グマカ、ロペス）
- ・マニラ首都圏（人口185万人）

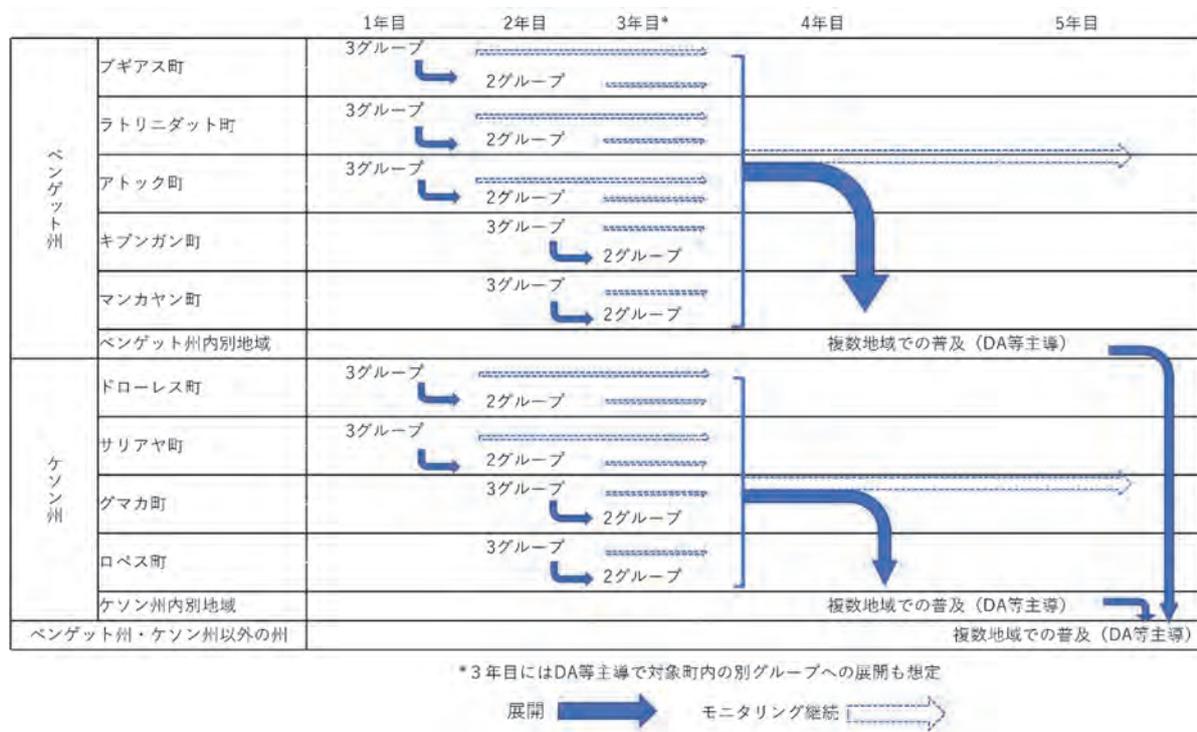
ベンゲット州は高冷地の野菜生産地として最も作付面積が広く、冷涼性野菜の国内唯一の生産地である。また、ケソン州は大消費地マニラ首都圏に近く、推定作付面積も低地野菜産地のなかでは上位であることから対象地域に選定した。パイロット活動対象町については、フィリピン政府との協議に基づき、農業活動が盛んであること及び農家の意欲が高いことを基準として選定した。マニラ首都圏については、大消費地であることから、特に消費者を対象とした活動を行う地域として選定した。

また、本プロジェクトにおいては、パイロット活動の効果を検証しながら展開していくため、対象地域において段階的にパイロット活動を実施していくこととした。想定される流れは以下のとおり（図-5）。

まず1年目に対象地域（ベンゲット州：ブギアス、ラトリニダット、アトック、キブンガン、マンカヤン、ケソン州：ドローレス、サリアヤ、グマカ、ロペス）のなかから、ベンゲット州で3町（ブギアス、ラトリニダット、アトックを想定）、ケソン州で2町（ドローレス、サリアヤを想定）を選定し、各町から3つの農家グループを選定したうえでパイロット活動を開始する。これらのパイロット活動内容を検証し、必要に応じて改定を行ったうえで、2年目には、1年目の対象町から追加的に2つの農家グループを選定し、パイロット活動を行う。さらに、1年目の対象とならなかった町において3つの農家グループを選定し、パイロット活動を行う。3年目には2年目に対象とした町から追加的に2つの農家グループを選定し、パイロット活動を実施する想定である。パイロット活動の結果は随時分析・評価し、次年度の活動の改善に役立てる。包摂的FVCモデルの形成は3年目終了を待たず、随時その要素を整理する。4年目以降はそれまでに整理された包摂的FVCモデルを、DAやDA地方事務所、州・市町農業局が主導する形で、対象地域以外の町・州に普及・展開していくことを想定しているため、受注者はフィリピン側の取り組みを側面支援する。

² 対象地域の人口は、2020年国勢調査（フィリピン統計局）による。

なお、マニラ首都圏においては、他パイロット活動の成果により得られる機会（例：高品質な野菜の入手機会が増加）を、消費者が有効活用できるような、消費者を対象とした野菜消費を促進する活動を行う。



出所：調査団作成

図－5 パイロット活動及び包摂的 FVC モデル展開のイメージ

3-2-6 プロジェクト実施体制

今後のプロジェクト実施体制を以下のように提案する。

本プロジェクトの実施フェーズの実施体制は図－1のとおり。中央レベルでは、中央実施チーム（National Implementation Team）を設置し、先方実施機関である DA AMAS と DA HVCPCD が中心となりプロジェクト全体の管理・モニタリングを行う。さらに、州レベルにおいては、ケソン州、ベンゲット州にそれぞれ地域実施チーム（Regional Implementation Team）を設置する。地域実施チームには、1名の地域コーディネーター（DA 地方事務所のエクゼクティブ・ディレクターを想定）が配置され、コーディネーターの監督のもと、DA の地方事務所、対象州・市町の農業局とともに、パイロット活動や包摂的 FVC モデルの構築に向けた協議、プラットフォームにおける協議を通じた民間セクター参入促進、他地域への包摂的 FVC モデルの普及・展開を行う。

また、プロジェクト全体の進捗や意思決定を行うために、合同調整委員会（JCC）を設置する。

3-2-7 JICA からの投入資機材

本プロジェクトにおいては、パイロット活動を行うにあたり保冷倉庫や加工施設の建設や、大規模な機材（加工用機材や冷蔵車等の車両等）の投入は想定していないこと、パイロット活動に活用する資機材は、技術移転に必要な小規模なもの（例：プラスチッククレート、小規模な冷蔵庫等）に限定する旨フィリピン政府側と合意している。これらの資機材を供与する際は、事前に

発注者とその妥当性・有効性、持続可能性（維持管理の容易さ等）を十分に相談、検討したうえで、対象者へ供与することとする。

3-3 実施フェーズにおける留意点

3-3-1 パイロット活動を通じた包摂的 FVC モデルの形成

本プロジェクトでは、小規模農家を含むさまざまな FVC 関係者が近代的なバリューチェーンに参加し、FVC 振興によって得られる農産物の付加価値による利益を公正に享受するために、包摂的 FVC モデルを作成することをめざしている。

計画フェーズにおいては、バリューチェーン分析を通じて、野菜を主とする園芸作物バリューチェーン全体の流れを評価し、短期的・中長期に FVC 関係者が取り組むべき課題を整理したうえで、パイロット活動案が作成された。

詳細計画策定調査においては、パイロット活動はあくまでも「包摂的 FVC モデル」を策定するための手段であり、その先にある本プロジェクトの目標（特定の FVC における集中的な改善活動を通じて、他地域でも汎用可能なモデルケースを提示し、農家の収益向上や、民間企業の参入・投資促進に資する包摂的 FVC モデルを構築すること）を改めて確認したうえで、「包摂的 FVC モデル」の策定と他地域への展開に向けた道筋についてフィリピン側関係者と合意した。特に、実施フェーズの後半に、DA が主導する形で「包摂的 FVC モデル」を試行的に他地域へ展開するための活動を含めることを DA に提案し、他地域へ展開する際のフィリピン政府側の役割分担（DA 本省、DA 地方事務所、地方政府の農業局の役割分担）についてフィリピン側と協議し、実施フェーズの実施体制について合意した。

そのため、実施フェーズでは、これらのパイロット活動の実施を通じて、バリューチェーン上に存在するさまざまなボトルネックの解決のために有効な取り組みの検証を行う。パイロット活動の結果、異なる活動が有益と考えられる場合は、柔軟に活動計画を見直し、バリューチェーン改善に最も有効な手段を検討する必要がある。

実施フェーズではパイロット活動で得られた検証結果を基に、園芸作物バリューチェーンを強化するうえで有益な取り組みを整理し、それらを統合することで包摂的 FVC モデルを形成することをめざすことが重要である。また、包摂的 FVC モデルは、プロジェクト期間中・終了後を通じて、フィリピン政府により対象地域以外へ普及・展開することをめざしているため、フィリピン政府による普及・展開可能性を十分考慮したうえで作成する必要がある。

本プロジェクトの重要な成果は、包摂的 FVC モデルの形成と、フィリピン政府による同モデルの対象地域以外への普及・展開である。パイロット活動は包摂的 FVC モデル作成のための手段であり、パイロット活動の実施が業務の主目的ではない点に留意して実施フェーズを進めることが望ましい。

3-3-2 実現可能性の高いパイロット活動の具体化

詳細計画策定調査においては、パイロット事業を設計する際に、ベンゲット州・ケソン州の地理的条件や市場状況、生産品目等の特徴を踏まえ、異なる生産地（低地、高冷地）の特徴に合った FVC 改善に向けたアプローチを検討した。

パイロット活動については、パイロット活動 1 つひとつを単体で行うのではなく、FVC の流れに沿って複数のパイロット活動を効果的に組み合わせることで、FVC 全体を改善する包摂的なモ

デルの構築につながるよう留意する。

3-3-3 FVC 改善のための民間企業の協働の強化

本プロジェクトでは、民間企業が FVC 構築の中心的役割を果たすとの考えのもと、民間企業の参入を積極的に推進することでプロジェクト目標の達成に貢献することとした。特に農家グループとスーパーマーケットやEコマース等の近代市場をつなぐ役割を担う事業者間とのつながりを強化することとしており、市場側の要求事項（品質、規格、納期、包装、供給量、価格等）に関する農家グループの理解促進、企業と農家グループのマッチング促進を支援することが有効と考える。

フィリピンの FVC に関心を示す日系企業や投資家は多いが、FVC の全体像や課題、収益性を含み事業性の把握が容易ではないことが、投資・参入の妨げの要因になっていると考えられる。FVC の改善には、民間企業の参入を促し、密に連携することが必須であるため、本プロジェクトにおいては、民間企業との情報共有や参入促進を目的とするプラットフォームを構築することで、官民の協働を強化し、FVC 強化をめざす。

3-3-4 自立発展性の強化

本プロジェクトでは自立発展性の強化を、業務実施にあたっての最優先事項とする。前述のとおり、本プロジェクトでは包摂的 FVC モデルの普及・拡大を通じて、フィリピン全体で FVC 強化に向けた取り組みが継続・発展することをめざしており、そのためには包摂的 FVC モデルの普及・展開の可能性を高めることが重要となる。包摂的 FVC モデルを形成する際には、自立発展性の観点から、既存の DA 予算と人員で取り組むことができる活動の提案や、DA 内の部署横断的な連携体制の構築等についても専門家から助言を行う必要がある。

3-3-5 フィリピン政府による既存の活動を生かした計画立案

詳細計画策定調査では、DA が FVC 強化に係る多様な取り組みを行っていることを確認した。例えば、2022 年 6 月に“Philippine Vegetable Industry Roadmap 2021-2025（フィリピン野菜産業ロードマップ 2021-2025）”を公表し、野菜の生産流通行程における改善策を示したうえで、農家の生計向上及び安全かつ高品質な作物の安定供給等に係る目標が示されている。詳細計画策定調査においては、本プロジェクトが“Philippine Vegetable Industry Roadmap 2021-2025”の達成に貢献するものであり、パイロット活動についても本ロードマップ達成に向けた活動の一環とすることが確認された。また、DA は独自予算を活用し、農家グループへ野菜の運搬のための冷蔵車や保冷施設、プラスチッククレート等の資機材を提供しており、本プロジェクトの対象地域においてもこれらの機材が供与されている（例えば、ベンゲット州ラトリニダット町のベンゲット州アグリピノイ卸売市場に保冷施設が供与されている）。本プロジェクトでは、このようなフィリピン政府の取り組みについて十分な情報収集を行ったうえで、フィリピン側の既存リソースや活動との重複を避け、既存のリソース・活動をさらに発展・改善させるような取り組みを行うことで、本プロジェクトの持続性とフィリピン政府による既存活動との相乗効果の発現をめざす。

3-3-6 他開発パートナーとの連携

フィリピンにおいては、国際機関を含む多くの開発パートナーがさまざまなスキームを活用し

FVC 改善に取り組んでいる。本プロジェクトでは、これら既存事業（ハード、ソフト）の実施状況や成果を十分に把握のうえ、重複を避け、相乗効果を生み出すための検討を行う。なお、最近の関連案件として把握しているものは以下のとおり。これらの他にもバリューチェーン改善に係る事業が複数あると考えられることから、特にパイロット活動の実施にあたっては、十分に事前の情報収集を行う必要がある。

〈アジア開発銀行〉

フィリピンを含めた 5 カ国で、流通改善、生産性向上、食品安全のための投資促進等を目的とし、技術支援 “Agricultural Value Chain Development in Selected Asian Countries” を実施中（2018～2023 年、230 万 US ドル）。

〈世界銀行〉

農家・漁家の生産拡大、市場アクセス改善を通じた生産性向上、収入向上を目的とした財政・政策支援型の “Philippine Rural Development Project (PRDP)” を実施中（2014～2023 年、5 億 700 万 US ドル）。同事業のなかで全州における優先農産物のバリューチェーン分析や投資計画策定を支援し、市場アクセス改善のため地方道路の整備（約 1,100km）等を行っている。

〈韓国国際協力機構〉

西ビサヤ地方において、適切なスマート農業技術の活用による高価値作物のバリューチェーン強化を通じた、農家の生産性と所得向上を支援中（2022～2027 年、800 万 US ドル）。

〈公益社団法人国際農業者交流協会（JAEC）〉

ベンゲット州ブギアス町において、NGO 連携無償資金協力を活用して、冷蔵倉庫を建設中。本プロジェクトのパイロット活動では、既存の冷蔵庫や DA が導入済みの保冷トラックを活用し鮮度を維持して付加価値を高めたうえで、販売活動を支援予定である。近隣の農家グループが対象となる場合は、パイロット活動において同資金協力にて整備された冷蔵倉庫の活用を検討する。

3-3-7 広報活動

包摂的 FVC モデルの構築、展開にあたっては、前述のように民間企業の参入や消費者の理解が必要不可欠であるため、プロジェクトの実施にあたっては、その意義や活動内容、成果についての広報活動に努める必要がある。また、他の開発パートナーとの情報共有が重要である。

第4章 6項目評価

4-1 評価手法

本事前評価では、「JICA 事業評価ハンドブック (ver 2.0)」(2021年3月)に従い、以下の評価6項目(妥当性、整合性、有効性、効率性、インパクト、持続性)の観点から分析を行った。

①妥当性

介入の目的及びデザインが、受益者のニーズ、政策、優先順位に対応し、状況の変化に応じて対応し続ける度合い。

②整合性

世界・パートナー/開発協力機関、当該国、セクター、組織における当該介入と他介入との適合性。

③有効性(見込み)

介入の目的と結果の達成または達成見込みの度合い。諸集団の異なる帰結を含む。

④効率性(見込み)

経済的かつタイムリーな方法で結果を生むまたは生むような介入実施の度合い。

⑤インパクト(見込み)

介入により生じたまたは生じると予期される、重要な正または負の、意図されたまたは意図されない、高次の効果の度合い。

⑥持続性(見込み)

介入の純便益が継続するまたは継続する可能性の度合い。

本調査はプロジェクト実施前の予備的な調査であるため、①妥当性、②整合性以外の4項目は評価時点での予測となっている。

4-2 妥当性

以下に示す理由により、本調査時点のプロジェクトの妥当性は高い。

「1-1 要請の背景」に記載したとおり、経済成長に伴い都市部を中心に中間層の購買力が向上し、スーパーマーケット等を通じた食材販売・食品産業が成長している。しかし、フィリピンのフードバリューチェーンにおける生産現場、流通システムの各段階はさまざまな課題を有しており、また、付加価値向上による農家の収入増加にも結びついていない状況である。こうした課題に対し、政府は“The Philippine Development Plan (フィリピン開発計画 2017-2022)”において、FVC改善の方策として、農業インフラ整備を通じた生産者の市場アクセス改善、小規模農家の組織化を通じた規模の経済の創出による生産性向上等を掲げている。また、政府のCOVID-19支援策“We Recovery as One”(2020年5月)でも、効率的な輸送・物流システム構築、農産物のオンライン取引、農産物の高付加価値化を掲げ、DA主導で生産地(者)と消費地(者)をつなぎ、農家の収入向上と消費者の食料安全保障等をめざす取り組みを実施中である。さらに、DAは2022年6月に“Philippine Vegetable Industry Roadmap 2021-2025 (フィリピン野菜産業ロードマップ 2021-2025)”を発表し、野菜の生産流通行程における改善策を示したうえで、農家の生計向上及び安全かつ高品質な作物の安定供給等を目標としている。本プロジェクトでは、農家農村住民の主要な収入源である農業が抱える非効率性や低生産性といった課題を解決し、ビジネスとしての農業を発展させることをめざしている。これは、フィリピン政府のめざす、農家の生計向上

及び作物の安定供給に寄与する重要な取り組みだといえる。

受益者ニーズとの合致度という観点からも妥当性は高い。本プロジェクトは、FVCの各段階での課題を抽出し、その課題を解決するための技術要素をパイロット活動において実証したうえで、包摂的FVCモデルを整理し、パイロット活動の対象以外のアクター（特に民間セクター）も巻き込みながらフィリピン全土に広めていく。農家だけでなく、市場関係者、消費者のニーズに合致するものである。

4-3 整合性

以下に示す理由により、本調査時点のプロジェクトの整合性は高い。

本プロジェクトは、2018年4月に制定された「対フィリピン国別開発協力方針」及び「対フィリピン共和国 事業展開計画」における「農業生産性向上・高付加価値化」に合致する。加えて、JICA国別分析ペーパー（2020年7月）において、農産物の高付加価値化を促すため、営農支援・能力強化など、バリューチェーン全体を視野に入れたソフト面・技術面での協力を掲げており、本プロジェクトは上記方針に合致している。さらに、本プロジェクトはJICA課題別事業戦略「グローバル・アジェンダ」の「農業・農村開発（持続可能な食料システム）」における重点クラスター「東南アジア地域FVC構築」に位置づけられる。

また、本プロジェクトは、FVC強化や営農技術の改善、農家の経営能力の向上を通じて小規模農家の所得向上に貢献することで、SDGsのゴール1「あらゆる形態の貧困の撲滅」、及びゴール2「飢餓撲滅、食料安全保障、栄養の改善、持続可能な農業の促進」に資するものである。

4-4 有効性

以下に示す理由により、高い有効性が期待できる。

(1) プロジェクト目標の達成見込み

プロジェクト目標は、「プロジェクト対象地域における野菜を主とした園芸作物のバリューチェーンが、包摂的FVCモデルの実施により強化される」としている。この目標を達成するために、「成果1：“Philippine Vegetable Industry Roadmap 2021-2025”に整合した、バリューチェーン強化ロードマップ（案）が策定され、プロジェクトの概要が設定される」を計画フェーズ（第1段階）に、「成果2：パイロット活動を通じてバリューチェーン強化に資するさまざまな技術オプションが検証され、これらの技術オプションの活用に向けたFVC関係者の能力が強化される」「成果3：FVCプラットフォームにおける協議やパイロット活動を通じて、FVC強化のための民間セクターの参入と民間投資が促進される」「成果4：包摂的FVCモデルが、ベンゲット州及びケソン州のパイロット活動対象町以外の州・市・町へ普及・展開される」の3つの成果を実施フェーズ（第2段階）に実施するデザインとなっている。このように、FVC関係者のスキル向上・課題カイゼンの活性化を広く関係者を巻き込みながら実現するという、プロジェクト目標達成への道筋が明確に示されている。

(2) 成果及びプロジェクト目標達成に関するリスク要因

「3-3 実施フェーズにおける留意点」に記載したとおり、民間企業がFVC構築の中心的役割を果たすため、民間企業の参入を積極的に推進することでプロジェクト目標の達成に貢献する。他方、農家を含む民間セクターの巻き込み、FVCの発展には、彼らの売り上げが

上がる等の明確なメリットが必須であるため、パイロット活動の成果等の広報や営業活動が重要と考えられる。本プロジェクトでは、民間企業との情報共有、民間企業の園芸作物バリューチェーンへの参入促進を目的とするプラットフォームを構築することとしており、FVCプラットフォームは、民間企業・行政・生産者の情報共有の場となることが期待されており、以下の役割が想定される。

- ・フィリピンにおける園芸作物バリューチェーンに興味をもつ民間企業の相談窓口
- ・フィリピンにおける園芸作物バリューチェーンの現状や課題に関する情報交換
- ・パイロット活動の活動、進捗、課題に関する議論
- ・パイロット活動の成果の共有（特に“Philippine Vegetable Industry Roadmap 2021-2025”の実現に向けたインプットを行う）
- ・包摂的 FVC モデルの構築や、他地域への普及・展開に係る意見交換
- ・プロジェクトの活動や成果の情報共有

4-5 効率性

以下に示す理由により、適切な効率性が期待できる。

日本側の投入は、資機材の項目など最小限とすることを合意しており、日本人専門家の配置は短期ベースで行われる。

フィリピン側の投入について、C/P は中央、州、県/市の各レベルに配置され、フィリピン側職員の旅費は先方負担事項としている。

さらに、本プロジェクトでは自立発展性の強化を、業務実施にあたっての最優先事項とすることとしており、包摂的 FVC モデルを形成する際には、自立発展性の観点から、既存の DA 予算と人員で取り組むことができる活動の提案や、DA 内の部署横断的な連携体制の構築等についても日本側から助言を行うこととする。

4-6 インパクト

本プロジェクトの実施により、以下のようなインパクトの創出が期待できる。

(1) 上位目標の達成見込み

本プロジェクトでは、「プロジェクト対象地域における野菜を主とした園芸作物のバリューチェーンが、包摂的 FVC モデルの実施により強化される」をプロジェクト目標とし、「包摂的 FVC モデルをプロジェクト対象地域以外の州へ拡大・導入することで、野菜を主とした園芸作物のバリューチェーンが強化される」を上位目標としている。上位目標達成のためには、「4-5 効率性」の項で記載したように、プロジェクト期間中から既存の DA 予算と人員で取り組むことができる活動の提案や、DA 内の部署横断的な連携体制の構築等の助言を行うとともに、プロジェクト期間中からできるだけ少ないリソースで達成できる包摂的 FVC モデルの構築を模索していくことが重要である。

4-7 持続性

以下に示す理由により、一定の持続性が期待できる。

(1) 政策・制度面

「4-2 妥当性」の項でも示したとおり、フィリピン政府は“Philippine Vegetable Industry

Roadmap 2021-2025”を策定し、農家の生計向上及び安全かつ高品質な作物の安定供給等を目標としており、本プロジェクトの成果の政策的重要性はプロジェクト期間終了後も維持されることが高く見込まれる。

(2) 組織・体制面

本プロジェクトは、既存の組織と体制を活用し、C/Pの本来業務の強化を図るものであり、組織・体制面の持続性は確保される。

(3) 技術的側面

現地に必要以上の投入を行わず、現地の自立発展性を重視する包摂的FVCモデルの構築と展開を行うことが、技術的持続性の確保につながる。

(4) 財政的持続性

フィリピン政府は、妥当性の項目に記載のとおり、フィリピン政府は“Philippine Vegetable Industry Roadmap 2021-2025”を策定し、農家の生計向上及び安全かつ高品質な作物の安定供給等を目標としているため、DAのなかで本方針が変わらないのであれば、包摂的FVCモデルの展開に関する財政的持続性も見込まれると考えられる。

第5章 団長所感

(1) C/P 機関、現地関係者の巻き込みについて

本プロジェクトの C/P 機関の DA AMAS は、JICA の技術協力プロジェクトの C/P 機関となるのは初めてであり、DA 自体も 10 年以上 C/P 機関としてプロジェクトを行っていない。そのため、DA には、プロジェクトの初期段階から、他ドナーと JICA の支援の違いや JICA の技術協力プロジェクトの特徴について十分に理解してもらう必要がある。予初期段階から C/P 機関が主体的にかかわる体制をつくり、プロジェクト後半には、DA が中心となって成功事例の横展開を行うため、日本関係者が予算や資機材を供与して、日本関係者だけでプロジェクト活動を行うという形にならないよう、十分配慮して活動を進めていく必要がある。

(2) パイロット活動間のつながりの醸成について

本プロジェクトでは、フードバリューチェーン、生産者から消費者までの流通のつながりを改善し、改善の鍵となる技術要素をパイロット活動で立証し、技術要素を組み合わせる包摂的 FVC モデルをつくり、各地域に展開していくことをめざしている。そのためには、個々の技術要素がつながりをもつ必要がある。バラバラな技術要素を実証しても、流通のつながりを改善することには至らない。本プロジェクトではパイロット活動が 6 つあり、特にプロジェクト前半はパイロット活動の実証に大半の時間を費やす必要があると考えられるが、常に包摂的 FVC モデルをつくるための技術要素の実証であることを、プロジェクト関係者全員が意識して、対象作物や活動の選定・実施をする必要がある。

また、詳細計画策定調査において、パイロット活動はあくまでも「包摂的 FVC モデル」を策定するための手段であり、その先にある本プロジェクトの目標（特定の FVC における集中的な改善活動を通じて、他地域でも汎用可能なモデルケースを提示し、農家の収益向上や、民間企業の参入・投資促進に資する包摂的 FVC モデルの構築すること）を改めて確認したうえで、「包摂的 FVC モデル」の策定と他地域への展開に向けた道筋についてフィリピン側関係者と合意した。(1) にも関係するが、パイロット活動の先に、DA 中心の横展開があることに十分留意して実施することが重要。

(3) 民間連携の重要性

フードバリューチェーンには、農家や消費者だけでなく、種苗業者・中間業者・バイヤー等の民間事業者が必ずかかわる。フードバリューチェーンの改善には、民間事業者の連携が不可欠である。本プロジェクトにおいても、フードバリューチェーンの関係者がつながる場としてのプラットフォームの形成を活動の 1 つとしているが、プロジェクト関係者の一方的な情報伝達とならず、関係者が相互に情報交換できる場として機能するよう、工夫して活動を進めていくべきと考える。

付 属 資 料

- 1 . 現地調査日程
- 2 . PDMver.1
- 3 . 業務工程表 (PO) ver.1
- 4 . 活動計画表 (PO) 案
- 5 . 署名済み M/M

1. 現地調査日程

| Date | | Activity | Philippine side participants |
|-----------|-------|--------------------|---|
| 2022/8/22 | Mon | 10:00 AM | Kick-off Meeting 1. DA AMAS 2. DA SPCMAD 3. DA HVCDP 4. DA-RFO 4A (RED or Rep, HVC focal, AMAD) 5. DA-RFO CAR (RED or Rep, HVC focal, AMAD) |
| | | 1:00 PM | Technical Discussion with HVCDP HVCDP, High Value focal of CAR and 4A |
| 2022/8/23 | Tue | 9:00 AM | Technical Discussion with AMAS AMAS; AMAD CAR and 4A |
| 2022/8/24 | Wed | 9:00 AM | Technical Discussion with DA (Project Implementation Team) Representatives from AMAS, HVCDP, SPCMAD, PDS, DA-RFO CAR and 4A |
| | | 2:00 PM | Online Meeting with DA-RFO 4A 1. DA-RFO4A AMAD and HVC Focal 2. DA AMAS |
| 2022/8/25 | Thurs | 9:00 AM | Feed back meeting 1. DA- PDS 2. DA-SPCMAD 3. DA AMAS 4. DA BAFE 5. DA-RFO4A AMAD 6. PhilMech 7. DA ATI |
| 2022/8/26 | Fri | 9:00 AM | Meeting with PAO of Quezon 1. Provincial Agriculture office (Quezon) 2. Municipality Agriculture office(Sariaya, Dolores, Lucena) 3. DA-RFO4A AMAD and HVC Focal |
| | | 1:00:00 PM-4:00 PM | Visit to Sentrong Pamilyan ng Produktong Agrikultura ng Quezon Foundation Incorporated 1.SPPAQ 2. AMAS (Marco Locquiao) 3. DA-RFO 4A (AMAD, HVC focal) |
| 2022/8/28 | Sun | | Observation of Balintawak Market JICA Survey Team: Ms. Ayumu OHSHIMA; Ms. Eri NAGAI; Mr. Akihiro MOCHIZUKI; AMAS (Marco/Dhi) |
| | | | Move to Benguet Province JICA Survey Team: Ms. Ayumu OHSHIMA; Ms. Eri NAGAI; Mr. Akihiro MOCHIZUKI JICA PP Staff |

| | | | | |
|-----------|-----|----------|---|--|
| 2022/8/29 | Mon | PM | interview with JAEC and BJATA | JAEC, BJATA |
| 2022/8/30 | Tue | 9:00 AM | Discussion with DA Regional Officers and Provincial Agriculture Office in Benguet | 1. Provincial Agricultural office(Benguet) 2. Municipal Agricultural office(Bugias, AtoK, La Trinidad) 3. AMAS 4. DA-RFO CAR (AMAD, HVC focal) |
| | | PM | Visit BAPTC, LTVTP | Persons concerned in BAPTC, LTVTP, accompanying staff |
| 2022/8/31 | Wed | 10:30 AM | Meeting with PCAF | 1. PCAF 2. DA AMAS |
| | | 12:00 AM | Meeting with HVCPD | 1. DA HVCDP 2. DA AMAS |
| | | 2:00 PM | Meeting with persons concerned to Quezon | 1. Provincial Agriculture office (Quezon) 2. Municipality Agriculture office(Sariaya, Dolores, Lucena) 3. DA-RFO4A AMAD |
| 2022/9/1 | Thu | 9:00 AM | Technical Discussion | AMAS, HVCDP, DA RFO CAR and 4A (AMAD, HVC focal) |
| 2022/9/2 | Fri | 9:00AM | Wrap-Up Meeting/ Joint Coordination Committee Meeting and Signing of the M/M | 1. DA FOS 2. DA BAFS 3. DA AMAS 4. DA HVCDP 5. DA PDS 6. DA SPCMAD 7. DA BSWM 8. DA ATI 9. DA BAFE 10. DA-RFO 4A AMAD 11. DA-RFO CAR AMAD 12. AtoK Municipality 13. Buguias Municipality 14. Latrinidad Municipality 15. Quezon Province 10. Dolores Municipality 11. Sariaya Municipality |

Project Design Matrix

Version 1.0

Dated 2 September 2022

Project Title: Project for Market-Driven Enhancement of Vegetable Value Chain in the Philippines (MV2C-TCP)**Implementing Agency:** Department of Agriculture, Agribusiness and Marketing Assistance Services (DA-AMAS)**Target Group:** Food Value Chain (FVC) stakeholders (Farmers/Farmer groups, private sectors and relevant Government agencies)**Period of Project:** Six (6) years from the date of arrival of JICA expert (consultant) team in the Philippines (2022.2-2028.2)**Project Sites:** Metro Manila, Benguet Province (La Trinidad, Buguias, Atok, Kibungan, Mankayan), Quezon Province (Dolores, Sariaya, Gumaca, Lopez)

| Narrative Summary | Objectively Verifiable Indicators | Means of Verification | Important Assumption |
|--|--|---|----------------------|
| Overall Goal Vegetable value chains are strengthened in areas other than project sites, through expanding and implementing the Inclusive FVC Models. | 1. XX municipalities/provinces which did not participate in the Project activities adopted Inclusive FVC Models and strengthened vegetable value chains (i.e. agricultural profits of farmer groups increased, unit price of the vegetable produced increased, vegetable loss at the farm level is reduced, business linkages with farmer groups and private sector created). | 1. Post Project Evaluation | |
| Project Purpose Vegetable value chains in the project sites are strengthened through implementing the Inclusive FVC Models. | 1. Agricultural profits of participating farmers from target farmer groups are increased by XX%, compared to the baseline survey. 2. Marketable volume of vegetables produced by participating farmers is increased by XX%, brought about by decreasing post-harvest losses and creating market linkages. 3. More than XX business linkages are created with target farmer groups and private sector stakeholders in the value chain since the beginning of the Project. | 1) Baseline survey 2) End line survey 3) Terminal evaluation | |
| Outputs | | | |
| <Planning Phase> 1. Draft Enhanced Vegetable Value Chain Roadmap is developed and aligned with the Philippine Vegetable Industry Roadmap 2021-2025, and outline of the Project is set. | 1-1. Draft Enhanced Vegetable Value Chain Roadmap is developed. 1-2. FVC stakeholder's platform is formed. 1-3. Plan of pilot projects are approved by FVC stakeholders' Platform. | | |
| <Implementation Phase> 2. Different types of technical options to strengthen vegetable value chains are verified through the pilot projects, and capacities of FVC stakeholders to utilize those technical options are enhanced. | <Pilot Project 1> 2-1. XX farmer groups in project sites increased their skills in production based on cropping calendar. 2-2. XX farmer groups in project sites increased their business and organizational capacities. 2-3. XX farmer groups in project sites increased their access to high-quality vegetable seeds/seedlings. <Pilot Project 2> 2-4. Planning/management guideline for cold storages is developed. 2-5. Effectiveness of pre-cooling of vegetables is verified in Quezon province. <Pilot Project 3> 2-6. XX% of target beneficiaries who participated in the pilot project are satisfied with the use of stackable plastic crates to decrease vegetable losses during the transportation. <Pilot Project 4> 2-7. XX farmer groups increased their knowledge on how to sell their vegetables on E-commerce platform, including understanding on specification of buyers. 2-8. Number of farmer groups in project sites who use E-commerce platform has increased. <Pilot Project 5> 2-9. XX farmer groups were connected to agro-processing companies. 2-10. XX farmer groups in project sites increased their agro-processing capacities. <Pilot Project 6> 2-11. XX campaigns were conducted to promote consumption of vegetables. | 1) Activity records / event reports 2) Questionnaire/interviews to the target farmer groups 3) Baseline survey and end-line survey 4) Monitoring sheet | |
| 3. Private sector participation and investment to improve FVC is promoted through consultations in the FVC platform. | 3-1. Number of private companies who participated in the Project. 3-2. Number of interests raised from private companies to improve vegetable value chains were increased. | 1) Activity records / event reports 2) Questionnaire/interviews to the target farmer groups 3) Baseline survey and end-line survey 4) Monitoring sheet | |
| 4. Inclusive FVC Models are disseminated to the areas other than project sites. | 4-1. Inclusive FVC Models are disseminated to farmer groups within the selected municipalities in Benguet/Quezon provinces. 4-2. Inclusive FVC Models are disseminated to XX municipalities in Benguet/Quezon provinces by DA and implemented as trial bases. 4-3. Inclusive FVC Models are disseminated to XX provinces other than Benguet/Quezon provinces by DA and implemented as trial bases. 4-4. Guideline for disseminating Inclusive FVC Models is developed. | 1) Activity records / event reports 2) Monitoring sheet | |

| Activities | Inputs | | Important Assumption |
|---|---|--|--|
| | The Japanese Side | The Philippine Side | |
| <p><Planning Phase></p> <p>1-1. Review of existing vegetable value chain analysis and roadmaps.</p> <p>1-1-1. Cluster FVC into major category.</p> <p>1-1-2. Identify stakeholders for each FVC.</p> <p>1-1-3. Identify challenges for each FVC stakeholders.</p> <p>1-2. Conduct market survey to identify target FVC.</p> <p>1-3. Formulate FVC stakeholder's platform.</p> <p>1-4. Draft Enhanced Vegetable Value Chain Roadmap covering short, medium and long term measures.</p> <p>1-5. Plan pilot projects to develop Inclusive FVC Model.</p> <p>1-5-1. Identify challenges and potential actions for each clustered FVC.</p> <p>1-5-2. Identify target FVC and associated plot activities out of 1-5-1 from the viewpoint of replicability, effectiveness and efficiency.</p> <p>1-5-3. Formulate monitoring framework of plot activity within FVC stakeholder platform.</p> <p><Implementation Phase></p> <p>2-1. Conduct pilot projects in Benguet province, Quezon province and Metro Manila to develop Inclusive FVC Models.</p> <p>2-1-1. Conduct baseline surveys in project sites and define baseline and target for the output indicators.</p> <p>2-1-2. Verify various technical options to improve FVC in Benguet Province, through combining pilot projects in production, distribution and processing stages of the value chain.</p> <p>2-1-3. Verify various technical options to improve FVC in Quezon Province, through combining pilot projects in production, distribution and processing stages of the value chain.</p> <p>2-1-4. Conduct a pilot project in Metro Manila to promote consumption of vegetables.</p> <p>2-2. Organize trainings in Japan to increase FVC stakeholders' knowledge on FVC in Japan.</p> <p>2-3. Revise workplans for the pilot projects, as required, by monitoring the progress and challenges faced during the pilot project implementation.</p> <p>2-4. Monitor the progress of the pilot projects and record the relevant data to examine the value addition created by the pilot projects along the vegetable value chain.</p> <p>2-5. Develop Inclusive FVC Models based on the results of the pilot projects.</p> <p>3-1. Discuss activities, progress and challenges of the pilot projects at the FVC Platform.</p> <p>3-2. Promote the participation of the private sectors to the FVC Platform and encourage investment to improve FVC, by widely sharing the results of the Project via the FVC platform.</p> <p>3-3. Provide inputs to DA on the results of the pilot projects and contribute to the realization of the Philippine Vegetable Industry Roadmap 2021-2025.</p> <p>3-4. Communicate results of the Project through organizing seminars/forums.</p> <p>4-1. Identify roles and responsibilities of relevant offices in DA, DA regional offices, Provincial/Municipal Agriculturist Offices to disseminate Inclusive FVC Models to areas other than project sites.</p> <p>4-2. Expand pilot projects to the other farmer groups within the selected municipalities (to be led by DA regional offices, Municipal Agriculturist Offices).</p> <p>4-3. Expand pilot projects to other municipalities within Benguet/Quezon provinces (to be led by DA regional offices, Provincial Agriculturist Offices).</p> <p>4-4. Expand pilot projects to provinces other than Benguet/Quezon provinces (to be led by DA).</p> <p>4-5. Produce a guideline to facilitate the dissemination of the Inclusive FVC Models to the other municipalities/provinces.</p> <p>4-6. Organize seminars to share experiences among farmer groups, municipalities and provinces.</p> | <p>1. Dispatch of expert (consultant) team</p> <p><Planning Phase></p> <ul style="list-style-type: none"> - Chief Advisor/ Value Chain - Production technique/Cooperative management - Marketing/Training <p><Implementation Phase></p> <ul style="list-style-type: none"> - Chief Advisor/value chain development - Production technique - Marketing/distribution - Post harvest/agro-processing - Cooperative management - Training planning <p>2. Training program in Japan.</p> <p>3. Provision of materials necessary for pilot projects.</p> <p>4. Provision of equipment necessary for technical transfer and application.</p> <p>5. Local expenses for the project activities including expenses for trainings/workshops/seminars, which are not covered by the Philippine government.</p> | <p>1. Assignment of appropriate counterparts.</p> <p>1) Project Director</p> <p>2) Project Manager</p> <p>3) Counterpart Personnel of National and Regional Implementation Teams</p> <p>2. Office space and office refurbishment cost.</p> <p>3. Personnel cost of the counterparts, including travel expenses and allowances.</p> <p>4. Utilities (electricity and water, etc.)</p> <p>5. Budget for daily activities and local costs, including trainings.</p> | <p>· Severe natural disaster such as drought and flood does not occur in the project sites.</p> <p>· Knowledge and techniques transferred through project will not drain due to staff reallocation.</p> <p>Pre-Conditions</p> <p>· Philippine Government's policies and plans on agriculture are not changed drastically.</p> |
| | | | <p><Issues and countermeasures></p> |

プロジェクト・デザイン・マトリックス:PDM

バージョン 1.0

日付: 2022年9月2日

プロジェクト名: 園芸作物におけるフードバリューチェーン改善プロジェクト

実施機関: 農業省アグリビジネス・マーケティング支援サービス局 (DA-AMAS)

ターゲットグループ: フードバリューチェーン (FVC)関係者 (農家/農家グループ、民間セクター、関連政府機関)

実施期間: JICA専門家 (コンサルタント) がフィリピンに到着してから6年間 (2022年2月から2028年2月)

対象協力地域: マニラ首都圏、ベンゲット州 (La Trinidad市, Buquias市, Atok市, Kibungan市, Mankayan市)、ケソン州 (Dolores市, Sariaya市, Gumaca市, Lopez市)

| プロジェクト要約 | 指標 | 指標入手手段 | 外部要因 |
|---|---|---|------|
| 上位目標 包括的FVCモデルがプロジェクトサイト以外に拡大、実施されることで野菜バリューチェーンが強化される。 | 1. パイロット活動に参加していないXX市/州に包括的FVCモデルが受け入れられ、野菜バリューチェーンが強化される。(農家グループの収益向上、販売単価の増加、生産レベルにおけるロスの低下、農家グループと民間セクターのビジネスリンクが確立) | 1. 事後評価 | |
| プロジェクト目標 プロジェクトサイトにおける野菜バリューチェーンが包括的FVCモデルの実施により強化される。 | 1. プロジェクトに参加した農家グループの農業収益がベースライン調査よりXX%増加する。 2. 収穫後ロスの軽減及びマーケットとのリンクにより、プロジェクト参加農家の販売可能な農産物の量がXX%増加する。 3. プロジェクト開始後、対象農家グループと民間セクター関係者とのビジネスリンクがXX件となる。 | 1. ベースライン調査 2. エンドライン調査 3. 終了時評価 | |
| 成果 <計画フェーズ> 1. フィリピン野菜産業ロードマップ2021-2025に整合した、野菜バリューチェーン強化ロードマップ (案) が策定され、プロジェクトの概要が設定される。 | 1-1. 野菜バリューチェーンロードマップ (案) が作成される。 1-2. FVCステークホルダープラットフォームが形成される 1-3. FVCステークホルダーのプラットフォームによりパイロットプロジェクト案が承認される。 | 1-1 活動記録 / イベントレポート 1-2 モニタリングシート | |
| <実施フェーズ> 2. 野菜バリューチェーン強化のための異なる技術オプションがパイロットプロジェクトを通じて検証され、これらの技術オプションの利用によりFVCステークホルダーの能力が強化される。 | <パイロットプロジェクト 1> 2-1. 栽培カレンダーにより、プロジェクトサイト内のXX農家グループの生産能力が向上する。 2-2. プロジェクトサイト内のXX農家グループのビジネス及び組織力が向上する。 2-3. プロジェクトサイト内のXX農家グループが高品質種/苗へのアクセスが増加する。 <パイロットプロジェクト 2> 2-4. 冷蔵保存に関する計画/管理のガイドラインが策定される。 2-5. ケソン州において野菜の予備冷蔵に係る有効性が検証される。 <パイロットプロジェクト 3> 2-6. パイロットプロジェクトに参加したステークホルダーのXX%が、輸送中のロス削減のため積み重ね可能なプラスチックトレーの使用に満足する。 <パイロットプロジェクト 4> 2-7. XX農家グループが、バイヤーが求める要求事項の理解も含め、Eコマースプラットフォームで野菜を販売するための知識が向上する。 2-8. プロジェクトサイトにおいてEコマースプラットフォームを利用する農家がXXに増加する。 <パイロットプロジェクト 5> 2-9. XX農家グループが農産品加工企業とつながる。 2-10. プロジェクトサイトのXX農家グループの農産品加工能力が向上する。 <パイロットプロジェクト 6> 2-11. 野菜消費PRキャンペーンがXX回実施される。 | 2-1 活動記録 / イベントレポート 2-2 対象農家グループへの質問票、インタビュー 2-3 ベースライン調査、エンドライン調査 2-4 モニタリングシート | |
| 3. FVCプラットフォームにおける協議を通じて、民間セクターの参入と投資が推進される。 | 3-1. プロジェクトに参加する民間企業の数。 3-2. 野菜バリューチェーンの改善に関心を示す民間企業の数が増加する。 | 3-1 活動記録 / イベントレポート 3-2 対象農家グループへの質問票、インタビュー 3-3 ベースライン調査、エンドライン調査 3-4 モニタリングシート | |
| 4. プロジェクトサイト外へ包括的FVCモデルが普及する。 | 4-1. ベンゲット州とケソン州の対象市内における農家グループに包括的FVCが普及する。 4-2. DA (農業省) とトライアル活動実施により、ベンゲット州とケソン州のXX市内の農家グループに包括的FVCが普及する。 4-3. DA (農業省) とトライアル活動実施により、ベンゲット州とケソン州以外の州の農家グループに包括的FVCが普及する。 4-4. 包括的FVCモデルの普及ガイドラインが策定される。 | 4-1 活動記録 / イベントレポート 4-2 モニタリングシート | |

| 活動 | 投入 | | 外部要因 |
|--|---|---|--|
| | 日本側 | フィリピン側 | |
| <p><計画フェーズ></p> <p>1-1. 既存の野菜バリューチェーン分析及びロードマップを見直す。 1-1-1. FVCクラスターを主なカテゴリーに分類する。 1-1-2. 各FVCの関係者を特定する。 1-1-3. 各FVC関係者の課題を特定する。 1-2. FVC市場調査を行い対象FVCの課題を把握する。 1-3. FVC関係者のプラットフォームを形成する。 1-4. 短期的、中長期的に取り組む野菜バリューチェーン強化ロードマップ案を作成する。 1-5. 包括的FVCモデル開発のためのパイロットプロジェクト案をとりまとめる。 1-5-1. 各FVCの課題と実施可能な活動を特定する。 1-5-2. 再現性、有効性、効率性の観点から活動1-5-1の結果に基づき対象FVC及び関連するパイロット活動を特定する。 1-5-3. FVC関係者プラットフォームにおけるパイロット活動のモニタリング方法を構築する。</p> <p><実施フェーズ></p> <p>2-1. 包括的FVCモデル構築のため、ベンゲット州、ケソン州、マニラ首都圏においてパイロットプロジェクトを実施する。</p> <p>2-1-1. プロジェクトサイトにおいてベースライン調査を実施し、成果指標を決定する。 2-1-2. バリューチェーンの生産、流通、加工段階を組み合わせたパイロットプロジェクトを通して、ベンゲット州でFVC改善の技術オプションを検証する。 2-1-3. バリューチェーンの生産、流通、加工段階を組み合わせたパイロットプロジェクトを通して、ケソン州におけるFVC改善の技術オプションを検証する。 2-1-4. マニラ首都圏において野菜消費促進のためのパイロットプロジェクトを実施する。</p> <p>2-2. FVC関係者が日本のFVC事情を学ぶため本邦研修を実施する。 2-3. パイロットプロジェクト実施中の進捗モニタリングと課題に基づき、必要に応じてパイロットプロジェクトのワークプランを見直す。</p> <p>2-4. パイロットプロジェクトの進捗をモニターし、関連データを記録し、野菜バリューチェーン・パイロットプロジェクトにより、付加価値が創出されたかを調査する。 2-5. パイロットプロジェクトの結果に基づき、包括的FVCモデルを構築する。</p> <p>3-1. FVCプラットフォームでパイロットプロジェクトの活動、進捗、課題について議論する。 3-2. FVCプラットフォームを通じてプロジェクトの成果を広く共有し、FVCプラットフォームへの民間セクターの参加促進、FVC改善のための投資促進を推進する。 3-3. パイロットプロジェクトの結果をDAにインプットし、フィリピン野菜産業ロードマップ2021-2025の実現に貢献する。</p> <p>3-4. セミナー、フォーラムを開催し、プロジェクトの成果を公表する。</p> <p>4-1. プロジェクトサイト以外の地域に包括的FVCモデルを普及させるために、DA、DA地方事務所、州・市農務局の関連部署の役割と責任を特定する。 4-2. (DA地方事務所、市農業担当事務所の主導により) パイロットプロジェクトを対象市内の他の農家グループに拡大する。 4-3. (DA地方事務所、市農業担当事務所の主導により) パイロットプロジェクトをベンゲット州、ケソン州内の対象市以外の市へ拡大させる。 4-4. (DA地方事務所、市農業担当事務所の主導により) パイロットプロジェクトをベンゲット州、ケソン州以外の州へ拡大させる。 4-5. 他の市/州へ包括的FVCモデル普及促進のためガイドラインを作成する。 4-6. 農家グループ、市、州の間で経験共有のためのセミナーを開催する。</p> | <p>1. 専門化派遣 <計画フェーズ> - 総括/バリューチェーン開発 - 園芸栽培技術/共同管理 - マーケティング/研修</p> <p><実施フェーズ> - 総括/バリューチェーン開発 - 園芸栽培技術 - マーケティング/農産物流通 - 収穫後処理/農産物加工 - 共同管理 - 研修計画</p> <p>2. 本邦研修 3. パイロットプロジェクトに必要な機材供与 4. 技術移転と実践に必要な機材供与 5. 在外事業強化費用 (フィリピン側が負担しない研修費、ワークショップ・セミナー開催費を含む)</p> | <p>1. カウンターパートの配置 1) プロジェクトダイレクター 2) プロジェクトマネージャー 3) 中央、地方の実施チームのカウンターパート人員</p> <p>2. 事務所スペース及び維持管理費</p> <p>3. カウンターパートの件数 (出張経費、日当を含む)</p> <p>4. 水道光熱費等</p> | <p>・プロジェクトサイトにおいて干ばつ、洪水などの大規模な自然災害が発生しない。 ・プロジェクトにより移転された知識、技術が人事異動により消失しない。</p> <p>前提条件</p> <p>・フィリピン政府の農業政策・計画に大幅な変更が生じない。</p> <p><課題と対策></p> |

| Activity | Plan | Actual | Plan | Actual | JICA | DA-AMAS |
|---|------|--------|------|--------|------|-------------------------------|
| | | | | | | |
| 1-5-2. Identify target FVC and associated plot activities out of 1-5-1 from the viewpoint of replicability, effectiveness and efficiency. | | | | | JICA | DA-AMAS |
| 1-5-3. Formulate monitoring framework of plot activity within FVC stakeholder platform. | | | | | JICA | DA-AMAS |
| Output 2: | | | | | | |
| 2-1. Conduct pilot projects in Benguet province, Quezon province and Metro Manila to develop Inclusive FVC Model. | | | | | JICA | DA-AMAS/HVCDP, DA RO, PAO/MAO |
| 2-1-1. Conduct baseline surveys in project sites and define the baseline and target for the output indicators. | | | | | JICA | DA-AMAS/HVCDP, DA RO, PAO/MAO |
| 2-1-2. Verify various technical options to improve FVCs in Benguet Province, through combining pilot projects in production, distribution and processing stages of the value-chain. | | | | | JICA | DA-AMAS/HVCDP, DA RO, PAO/MAO |
| 2-1-3. Verify various technical options to improve FVCs in Quezon Province, through combining pilot projects in production, distribution and processing stages of the value-chain. | | | | | JICA | DA-AMAS/HVCDP, DA RO, PAO/MAO |
| 2-1-4. Conduct pilot project to promote consumption of vegetables in Metro Manila. | | | | | JICA | DA-AMAS/HVCDP, DA RO, PAO/MAO |
| 2-2. Organize trainings in Japan to increase FVC stakeholders' knowledge on FVC in Japan. | | | | | JICA | DA-AMAS/HVCDP, DA RO, PAO/MAO |
| 2-3. Revise workplans for the pilot projects, as required, by monitoring the progress and challenges faced during the pilot project implementation. | | | | | JICA | DA-AMAS/HVCDP, DA RO, PAO/MAO |
| 2-4. Monitor the progress of the pilot projects and record the relevant data to examine the value addition created by the pilot projects along the vegetable value chain. | | | | | JICA | DA-AMAS/HVCDP, DA RO, PAO/MAO |
| 2-5. Develop Inclusive FVC Model based on the results of the pilot projects. | | | | | JICA | DA-AMAS/HVCDP, DA RO, PAO/MAO |
| Output 3: | | | | | | |
| 3-1. Discuss activities, progress and challenges of the pilot projects at the FVC Platform. | | | | | JICA | DA-AMAS/HVCDP, DA RO, PAO/MAO |
| 3-2. Promote the participation of the private sectors to the FVC Platform and encourage investment to improve FVC, by widely sharing the results of the Project via the FVC. | | | | | JICA | DA-AMAS/HVCDP, DA RO, PAO/MAO |
| 3-3. Provide inputs to DA on the results of the pilot projects and contribute to the realization of the Philippine Vegetable Industry Roadmap 2021-2025. | | | | | JICA | DA-AMAS/HVCDP, DA RO, PAO/MAO |
| 3-4. Communicate results of the Project through organizing seminars/forums. | | | | | JICA | DA-AMAS/HVCDP, DA RO, PAO/MAO |
| Output 4: | | | | | | |
| 4-1. Identify roles and responsibilities of relevant offices in DA, DA regional offices, Provincial/Municipal Agriculture | | | | | JICA | DA-AMAS/HVCDP, DA RO, PAO/MAO |
| 4-2. Expand pilot projects to the other farmer groups within the selected municipalities (to be led by DA regional offices, Municipal Agriculture Offices). | | | | | JICA | DA-AMAS/HVCDP, DA RO, PAO/MAO |
| 4-3. Expand pilot projects to other municipalities within Benguet/Quezon provinces (to be led by DA regional offices). | | | | | JICA | DA-AMAS/HVCDP, DA RO, PAO/MAO |
| 4-4. Expand pilot projects to provinces other than Benguet/Quezon provinces (to be led by DA). | | | | | JICA | DA-AMAS/HVCDP, DA RO, PAO/MAO |

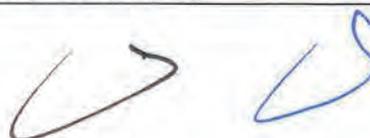
**MINUTES OF MEETINGS
BETWEEN
DEPARTMENT OF AGRICULTURE OF THE REPUBLIC OF THE PHILIPPINES
AND
JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY
FOR AMENDMENT OF THE RECORD OF DISCUSSIONS
ON
PROJECT FOR MARKET-DRIVEN ENHANCEMENT OF VEGETABLE VALUE CHAIN
IN THE PHILIPPINES**

The Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and the Department of Agriculture of the Republic of the Philippines (hereinafter referred to as "DA") hereby agree that the Record of Discussions of the Project for Market-Driven Enhancement of Vegetable Value Chain in the Philippines (hereinafter referred to as "the Project") signed on 4 October 2021 will be amended as follows:

1. RD main part

| Before | Amended Version |
|---|--|
| <p>[5th paragraph] The R/D may be amended by minutes of meetings between both parties, except the plan of operation to be modified in monitoring sheet. The minutes of meetings will be signed by authorized persons of each side who may be different from the signers of the R/D.</p> <p>[Annex] Annex 1 Main Points Discussed Annex 2 Project Design Matrix (PDM) Annex 3 Plan of Operation (PO) Annex 4 Project Implementation Structure Annex 5 Basic Principles for Technical Cooperation Annex 6 JCC members Annex 7 Monitoring Sheet</p> | <p>The R/D may be amended by minutes of meetings between both parties, <u>except Annex 3 to 6 and 8 may be modified by mutual confirmation such as determination of monitoring sheets or minutes of meetings usually signed after the Joint Coordinating Committee.</u> The minutes of meetings will be signed by authorized persons of each side who may be different from the signers of the R/D.</p> <p>[Annex] <u>Annex 1 Main Points Discussed</u> <u>Annex 2 Project Description</u> <u>Annex 3 Draft Pilot Projects</u> <u>Annex 4 Project Design Matrix (PDM)</u> <u>Annex 5 Plan of Operation (PO)</u> <u>Annex 6 Project Implementation Structure</u> <u>Annex 7 Basic Principles for Technical Cooperation</u> <u>Annex 8 List of Proposed Members of Joint Coordinating Committee</u> <u>Annex 9 Monitoring Sheet</u> <u>Annex10 Record of Discussions (signed October 04, 2021)</u></p> |

S₁



Reason:

The R/D amendment procedure was revised to allow for more flexible project implementation.

The annexes were revised to reflect the content of the Minutes of Meeting (MM) signed in the detailed planning survey.

2. Annex 1 Main Points Discussed

| Before | Amended Version |
|--|---|
| <p>1. Project Framework</p> <p>1) Both parties confirmed that there is no change in the project description described in the Minutes of the Meeting for Basic Planning Survey on the Project signed on September 18, 2020.</p> <p>2) Both parties will determine the detailed plan (content of implementation phase) based on the result of planning phase and revise the R/D by the 10th month from signing of R/D. Plan of Operation (Annex 4) will be adjusted in accordance with the timing of commencement of the Project).</p> <p>3. Roles of Agencies</p> <p>Expected roles of agencies who signed R/D are as follows:</p> <p>1) Department of Finance: Oversight Agency mandated to ensure that financial resources of the government, including technical assistance grant, are generated and managed judiciously in a manner supportive of development objectives</p> <p>2) Department of Agriculture: to perform the roles of the "Implementing Agency" as stated in this R/D and its Annexes.</p> | <p>1. Project Framework</p> <p>1) Both parties confirmed the <u>project description as described in Annex 2, which reflected the findings of the Planning Phase of the Project and the Minutes of Meetings for the Detailed Planning Survey of the Project signed on 2 September 2022.</u></p> <p><u>2) Delete</u></p> <p><u>Delete</u></p> |
| None | <p><u>3. Annex 3 to 6 and 8</u></p> <p><u>Both parties agreed on the contents of Annex 3 to 6 and 8, which are categorized as references of the R/D. Both parties further agreed that the contents of Annex 3 to 6 and 8 may be modified by mutual confirmation such as determination of</u></p> |

S₁

| | |
|---|---|
| | <u>monitoring sheets or minutes of meetings usually signed after the Joint Coordinating Committee.</u> |
| None | <u>4. Gender Equality and Women's Empowerment</u> <u>Both parties confirmed that activities to promote gender equality and women's empowerment should be duly practiced for the Project implementation.</u> |
| Reason: (1) The updated Project Framework was agreed in the Detailed Planning Survey of the Project conducted in August to September 2022. (2) The modification process was described as for some annexes. (3) The importance of gender equality and women's empowerment was agreed in the Detailed Planning Survey of the Project conducted in August to September 2022.. | |

3. Annex 2 Project Description

"Project Description" is added to R/D, as Annex 2, to describe the structure of the Project.

4. Annex 3 draft Pilot Project for Benguet and Quezon Provinces

Based on the discussions at the Detailed Planning Survey of the Project conducted in August to September 2022, the project concept and draft Pilot Projects are attached as Annex 3.

5. Annex 4 Project Design Matrix (PDM)

| Before | Amended Version |
|---|---|
| Project Period: [to be decided in Planning Phase] | Project Period: <u>Six (6) years from the date of arrival of the first JICA experts in the Philippines (February 08, 2022 to February 07, 2028)</u> |
| Project Site: [to be decided in Planning Phase] | Project Site: <u>Metro Manila, Benguet Province (La Trinidad, Buguias, Atok, Kibungan, Mankayan), Quezon Province (Dolores, Sariaya, Gumaca, Lopez)</u> |
| Project Narrative Summary <u>Overall Goal</u> Profitable vegetable value chain is expanded. | Project Narrative Summary <u>Overall Goal</u> Vegetable value chains are strengthened in areas other than the project sites, through expanding and implementing the Inclusive FVC Models. |

S1

Project Purpose

Inclusive FVC Model which can increase farm income is established.

Outputs

<Implementation Phase>

2. Inclusive business model suited for target FVC are developed through capacity enhancement of FVC stakeholders.

3. Inclusive Business Model is reviewed, updated and promoted among other FVC stakeholders.

Activities

<Implementation Phase>

2. Development of Inclusive Business model TBD based on the result of planning phase.

Objectively Verifiable Indicators

Overall Goal

[To be reviewed in Planning phase]

- % increased in the value of vegetables produced.
- % increased in the profitability of vegetables value chain.
- Number of farmers participated in the Inclusive FVC Model.

Project Purpose

[To be reviewed in Planning phase]

- Roadmap for modernizing vegetable value chain is approved by DA.
- Profitability in the targeted FVC implementing Inclusive FVC Model (profitability = price increase x volume sold).
- XX farmers participate in Inclusive FVC Model.

Project Purpose

Vegetable value chains in the project sites are strengthened through implementing the Inclusive FVC Models.

Outputs

<Implementation Phase>

2. Different types of technical options to strengthen vegetable value chains are verified through the pilot projects, and capacities of FVC stakeholders to utilize those technical options are enhanced.

3. Private sector participation and investment to improve/strengthen FVC is promoted through consultations in the platform.

4. Inclusive FVC Models are disseminated to the areas other than Benguet/Quezon provinces.

Activities

<Implementation Phase>

Specific changes are shown in "Annex 4 Project Design Matrix (PDM)."

Objectively Verifiable Indicators

Overall Goal

Specific changes are shown in "Annex 4 Project Design Matrix (PDM)."

Project Purpose

Specific changes are shown in "Annex 4 Project Design Matrix (PDM)."

Si

| | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> • Average income of farmers participated in Inclusive FVC Model increase. <p>Outputs <Implementation Phase> [To be reviewed in Planning phase] Agreed as tentative indicators, will be finalized after completing the planning phase.</p> <p>Output 2</p> <ul style="list-style-type: none"> • Number of participating farm clusters linked with value chain • Number of ICT based platforms (both for production side and market linkage side) developed and implemented <p>Output 3</p> <ul style="list-style-type: none"> • Developed manuals and training modules of the developed systems for replication/wider adoption. <p><u>Verification / Important Assumption</u> [to be decided in Planning Phase]</p> | <p>Outputs Specific changes are shown in “Annex 4 Project Design Matrix (PDM).”</p> <p><u>Verification / Important Assumption</u> Specific changes are shown in “Annex 4 Project Design Matrix (PDM).”</p> |
| <p>Reason: To reflect the results of the discussions at the Detailed Planning Survey of the Project conducted in August to September 2022.</p> | |

6. Annex 5 Plan of Operation (PO)

The “Plan of Operation (PO)” is amended as shown in Annex 5, based on the Minutes of Meetings of the Detailed Planning Survey signed on September 02, 2022.

7. Annex 6 Project Implementation Structure

The “Project Implementation Structure” is amended as shown in Annex 6, based on the Minutes of Meetings of the Detailed Planning Survey signed on September 02, 2022.

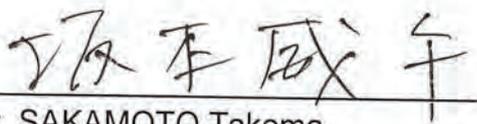
8. Annex 8 List of Proposed Members of Joint Coordinating Committee

The “List of Proposed Members of Joint Coordinating Committee” is amended as shown in Annex 9, based on the Minutes of Meetings of the Detailed Planning Survey signed on September 02, 2022.

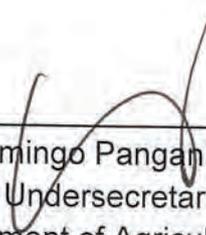
This amendment will become effective as of the date of signing of this Minutes of Meetings.

- Annex 1 Main Points Discussed
- Annex 2 Project Description
- Annex 3 Draft Pilot Projects
- Annex 4 Project Design Matrix (PDM)
- Annex 5 Plan of Operation (PO)
- Annex 6 Project Implementation Structure
- Annex 7 Basic Principles for Technical Cooperation
- Annex 8 List of Proposed Members of Joint Coordinating Committee
- Annex 9 Monitoring Sheet
- Annex10 Record of Discussions (signed October 04, 2021)

Manila, December 23, 2022



Mr. SAKAMOTO Takema
Chief Representative
JICA Philippines Office



Mr. Domingo Panganiban
Senior Undersecretary
Department of Agriculture
The Republic of the Philippines



Main Points Discussed

1. Project Framework

Both parties confirmed the project description as described in "Annex 2 Project Description", following the results of the Planning Phase of the Project and the Minutes of Meetings of the Detailed Planning Survey for the Project signed on September 02, 2022.

2. Environmental and social Considerations

With regard to the Section 10.1 of the Basic Principles for Technical Cooperation issued by JICA in December 2016, the Project is likely to have minimal adverse impact on the environment and society under the 'JICA Guidelines for Environmental and Social Considerations (April 2010)'.

3. Annex 3 to 6 and 8

Both parties agreed on the contents of Annex 3 to 6 and 8, which is categorized as references of the R/D. Both parties further agreed that the contents of Annex 3 to 6 and 8 may be modified by mutual confirmation such as determination of monitoring sheets or minutes of meetings usually after the Joint Coordinating Committee.

4. Gender Equality and Women's Empowerment

Both parties confirmed that activities to promote gender equality and women's empowerment should be duly practiced for the Project implementation.



Project description

- (1) Title of the Project
Project for Market-Driven Enhancement of Vegetable Value Chain in the Philippines
- (2) Overall Goal
Vegetable value chains are strengthened in areas other than the project sites, through expanding and implementing the Inclusive FVC Models
- (3) Project Purpose
Vegetable value chains in the project sites are strengthened through implementing the Inclusive FVC Models
- (4) Period of the Project
Six (6) years from the date of arrival of the first JICA expert in the Philippines (February 08, 2022 to February 07, 2028)
- (5) Implementing Agency
Agribusiness and Marketing Assistance Services (DA-AMAS), Department of Agriculture
- (6) Project Inputs (Japanese side, any important inputs)
 - 1) Dispatch of JICA experts
 - <Planning Phase>
 - Chief advisor/ Value chain
 - Production technique/Cooperative management
 - Marketing/Training
 - <Implementation Phase>
 - Chief advisor/Value chain development
 - Production technique
 - Marketing/Distribution
 - Post-harvest/Agro-processing
 - Cooperative management
 - Training planning
 - 2) Training program in Japan.
 - 3) Provision of materials necessary for pilot projects.
 - 4) Provision of equipment necessary for technology transfer and application.



5) Local expenses for the project activities including expenses for training/workshops/seminars, which are not covered by the Philippine government.

(7) Environmental and Social Considerations

With regard to the Section 10.1 of the BP, the Project is likely to have minimal adverse impact on the environment and society under the 'JICA Guidelines for Environmental and Social Considerations (April 2010)'.



S1

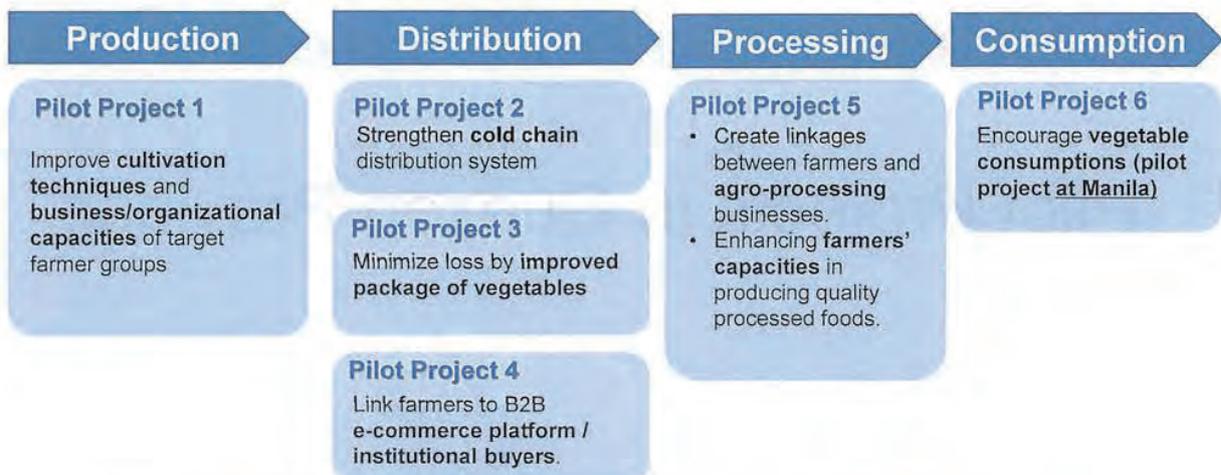
Project for Market-Driven Enhancement of Vegetable Value-Chains in the Philippines

Draft Pilot Projects

Japan International Cooperation Agency

Pilot Projects

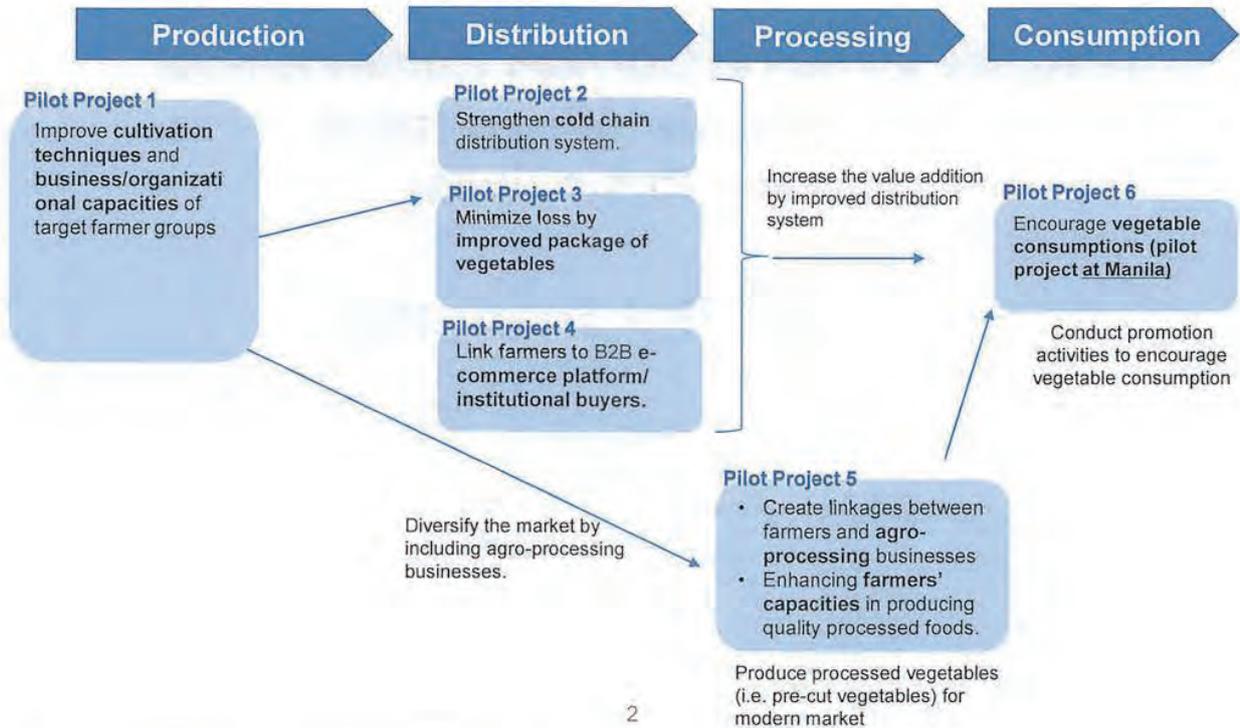
- Pilot Projects are designed along each stages of the value chain.
- The main purpose of implementing the pilot projects is to develop **Inclusive FVC Model** which will be disseminated to other part of the Philippines to address existing challenges along the value chain.



Develop **Inclusive FVC Model** to address all stages of the value chain, by linking various pilot projects.

2

- Linkages will be created between Pilot Projects. These are NOT stand-alone projects.



2

Pilot Projects in Quezon Province



2



Pilot Projects in Quezon Province

Pilot Project 1: Improve capacities of farmer groups for better vegetable production.

| Draft Pilot Project | |
|------------------------|--|
| Issues to be addressed | The price fluctuations of vegetables are high. |
| Objective | To minimize the price fluctuations by stabilizing supply of major vegetables |
| Key Activities | <ul style="list-style-type: none"> ■ Improve cultivation techniques of farmer groups: Pilot project (PP) will support target farmer groups to improve their cultivation techniques to diversify the harvest time by effectively utilizing the agriculture facilities and inputs. PP will also support farmers' access to high-quality seeds/seedlings, which are more resilient to pests and diseases and able to contribute to prolong harvest time. ■ Improve business and organizational capacities of farmer groups: PP will support target farmer groups to strengthen their capacities in preparing better farming plans to diversify harvest time. PP will also support business and organizational capacities of farmer groups to increase their sales. (Note: <u>farming plans</u> may include details of the cultivation activities, such as commodities to grow, each member's sowing and planting schedule, plans for pest and disease control and harvesting. <u>Business and organizational supports</u> may include cost analysis, financial management, marketing strategy, funding plans etc.) |
| Target Municipalities | Sariaya, Dolores, Gumaca, Lopez |
| Target group | 3-5 farmer groups from each municipality |
| Focal Points | <ul style="list-style-type: none"> ■ Municipal Agriculturist Offices ■ Provincial Agriculturist Office ■ DA-4A (AMAD, HVCDP) ■ DA (AMAS, HVCDP) |
| Note | <ul style="list-style-type: none"> • Target farmer groups will be selected based on their 1) commitment to participate in the pilot project, 2) Motivation to try new methods/techniques, 3) volume of production, 4) ability to perform as a farmer group. • Demonstration plot may be created in project sites, to verify the planting techniques for high-quality seeds/seedlings. |

4



Pilot Projects in Quezon Province

Pilot Project 2: Strengthen cold chain distribution system.

| Draft Pilot Project | |
|------------------------|--|
| Issues to be addressed | <ul style="list-style-type: none"> ■ Freshness of leafy vegetables is not well kept, and the value of the vegetable is lost. ■ Shipping time of leafy vegetables is not controlled, and it is vulnerable to price fluctuation. |
| Objective | <ul style="list-style-type: none"> ■ To increase selling price of leafy vegetables by improving quality from pre-cooling. ■ To change shipping timing by using cold storage to minimize price fluctuation. |
| Key Activities | <ul style="list-style-type: none"> ■ Develop planning/management guidelines for cold storages/refrigerated vans, which could be utilized by DA to develop strategies on cold storage/transportation facilities. ■ Verify how pre-cooling vegetables prior to the delivery could impact the price at the market. |
| Target Municipalities | Dolores |
| Target group | <ul style="list-style-type: none"> ■ 3-5 farmer groups from Dolores ■ Institutional buyers who are interested in / already using refrigerated vans. |
| Focal Points | <ul style="list-style-type: none"> ■ Municipal Agriculturist Offices ■ Provincial Agriculturist Office ■ DA-4A (AMAD, HVCDP) ■ DA (AMAS, HVCDP) |
| Note | <ul style="list-style-type: none"> • Small-scale pre-cooling facilities may be provided by JICA as part of the pilot activity, based on the needs assessment. Improvement of the pre-cooling facilities may be linked to the Enhanced Kadiwa Financial Grant. • Explore possibilities to work together with Japanese companies to improve the cold facilities. |

2



5
-54-



Pilot Projects in Quezon Province

Pilot Project 3: Minimize loss by improved package of vegetables in wholesale supply chain.

| | Draft Pilot Project |
|------------------------|--|
| Issues to be addressed | <ul style="list-style-type: none"> Most vegetables are transported in bare or in plastic sacks from farm to wholesale markets and quality deterioration occurs during transportation due to physical impact and exposure to rain. |
| Objective | <ul style="list-style-type: none"> To minimize loss and damages of vegetables by introducing improved packages and achieve value addition. |
| Key Activities | <ul style="list-style-type: none"> Verify economic feasibility of using improved packages (i.e. stackable plastic crates with handles) and quantify loss of vegetables reduced by such packages. Stackable crates will be used either by farmer groups or truck wholesalers in the market, to improve the quality of vegetables during transportation from farm to institutional buyers and/or from wholesale market to final consumption area. |
| Target Municipalities | Sariaya, Dolores, Gumaca, Lopez |
| Target group | <ul style="list-style-type: none"> 3-5 farmer groups from each municipality Truck wholesalers who came to main market |
| Focal Points | <ul style="list-style-type: none"> Municipal Agriculturist Offices Provincial Agriculturist Office DA-4A (AMAD, HVCDP) DA (AMAS, HVCDP) |
| Note | <ul style="list-style-type: none"> DA-4A (HVCDP) provided regular plastic crates to farmer groups as part of regular activities. The Pilot Project will complement the DA's activities by providing stackable plastic crates. |

6



Pilot Projects in Quezon Province

Pilot Project 4: Link farmers to B2B e-commerce platform/institutional buyers.

| | Draft Pilot Project |
|------------------------|--|
| Issues to be addressed | <ul style="list-style-type: none"> Farmers' marketing channels are not well diversified, and farmers are not being able to capture new market opportunities using e-commerce (EC). |
| Objective | <ul style="list-style-type: none"> To diversify sales channels of farmer groups by connecting them to B-to-B e-commerce platform and promote direct trading between farmers and buyers for e-commerce platform/institutional buyers. |
| Key Activities | <ul style="list-style-type: none"> Provide trainings to farmer groups on how to use e-commerce platform to sell their vegetables. (i.e. quality management, hygiene management, fulfilling the specification /requirement of buyers) Support DA's activities to match-make farmer groups and buyers for e-commerce/institutional buyers. Support farmer groups in improving their skills in branding and packaging. |
| Target Municipalities | Sariaya, Dolores, Gumaca, Lopez |
| Target groups | <ul style="list-style-type: none"> 3-5 farmer groups from each municipality Buyers for e-commerce platforms |
| Focal Points | <ul style="list-style-type: none"> Municipal Agriculturist Offices Provincial Agriculturist Office DA-4A (AMAD, HVCDP) DA (AMAS, HVCDP) |
| Note | <ul style="list-style-type: none"> DA is currently conducting match-making between farmers and buyers for e-commerce. However, farmers do not have sufficient know-how on how to sell their produces on e-commerce platform. Thus, JICA's pilot project will focus on providing capacity building trainings to the farmer groups to sell their produces online, so they will increase their business opportunities with buyers for e-commerce platform/institutional buyers. |

5

6



Pilot Projects in Quezon Province

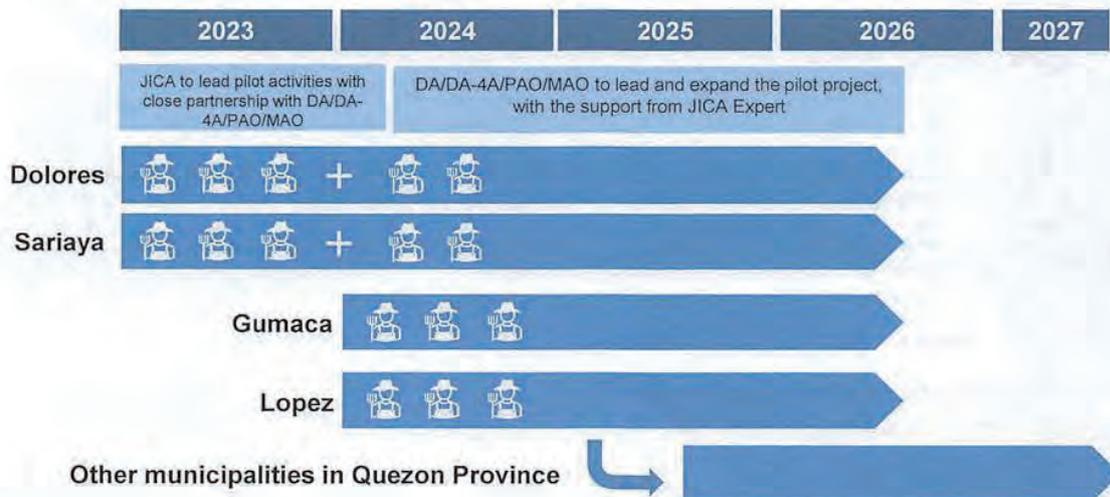
Pilot Project 5: Create linkages between farmers and agro-processing businesses. Enhancing farmers' capacities in producing quality processed foods.

| Draft Pilot Project | |
|------------------------|---|
| Issues to be addressed | Value addition in agriculture value chain is limited since the agro-processing businesses is not yet fully developed. |
| Objective | To increase the value addition by promoting agro-processing. |
| Key Activities | <ul style="list-style-type: none"> Support farmer groups in increasing quality of their processed foods by providing trainings on quality management, hygiene management, packaging, branding and marketing. Connect farmer groups to existing agro-processing companies to ensure stable supply of vegetables to those processing companies. |
| Target Municipalities | Sariaya, Dolores, Gumaca, Lopez |
| Target groups | <ul style="list-style-type: none"> 3-5 farmer groups from each municipalities, who are already producing processed foods, and/or farmer groups who are willing to start food processing activities. Agro-processing companies (list to be provided from DA-4A/PAO) |
| Focal Points | <ul style="list-style-type: none"> Municipal Agriculturist Offices Provincial Agriculturist Office DA-4A (AMAD, HVCDP) DA (AMAS, HVCDP) |
| Note | Farmer groups will be selected based on their commitment and motivation to try new techniques/producing methods. Selection process may involve business competition. |



How to expand pilot projects in target sites

- JICA proposes to select 2 municipalities (i.e. Dolores, Sariaya) to be the first group, and expand the activities to other municipalities (i.e. Gumaca, Lopez) in the second year of the Project, so the first group could share their experiences to the second group.



S

Pilot Projects in Benguet Province

10

Pilot Projects in Benguet Province

Pilot Project 1: Improve capacities of farmer groups for better vegetable production.

| Draft Pilot Project | |
|------------------------|--|
| Issues to be addressed | The price fluctuations of vegetables are high. |
| Objective | To minimize the price fluctuations by stabilizing supply of major vegetables in Benguet |
| Key Activities | <ul style="list-style-type: none"> ■ Improve cultivation techniques of farmer groups: Pilot project (PP) will support target farmer groups to improve their cultivation techniques to diversify the harvest time by effectively utilizing the agriculture facilities and inputs. PP will also support farmers' access to high-quality seeds/seedlings, which are more resilient to pests and diseases and able to contribute to prolong harvest time. ■ Improve business and organizational capacities of farmer groups: PP will support target farmer groups to strengthen their capacities in preparing better farming plans to diversify harvest time. PP will also support business and organizational capacities of farmer groups to increase their sales. (Note: <u>farming plans</u> may include details of the cultivation activities, such as commodities to grow, each member's sowing and planting schedule, plans for pest and disease control and harvesting. <u>Business and organizational supports</u> may include cost analysis, financial management, marketing strategy, funding plans etc.) |
| Target Municipalities | Buguias, La Trinidad, Atok, Mankayan, Kibungan |
| Target group | 3-5 farmer groups from each municipality |
| Focal Points | <ul style="list-style-type: none"> ■ Municipal Agriculturist Offices ■ Provincial Agriculturist Office ■ DA-CAR (AMAD, HVCDP) ■ DA (AMAS, HVCDP) |
| Note | <ul style="list-style-type: none"> • Target farmer groups will be selected based on their 1) commitment to participate in the pilot project, 2) Motivation to try new methods/techniques, 3) volume of production, 4) ability to perform as a farmer group. • Demonstration plot may be created in project sites, to verify the planting techniques for high-quality seeds/seedlings. |

Pilot Project 2: Strengthen cold chain distribution system.

| | Draft Pilot Project |
|------------------------|---|
| Issues to be addressed | <ul style="list-style-type: none"> ■ Freshness of leafy vegetables is not well kept, and the value of the vegetable is lost ■ Shipping time of leafy vegetables is not controlled, and it is vulnerable to price fluctuation |
| Objective | <ul style="list-style-type: none"> ■ To increase selling price of leafy vegetables by improving quality from pre-cooling. ■ To change shipping timing by using cold storage to minimize price fluctuation |
| Key Activities | <ul style="list-style-type: none"> ■ Develop planning/management guidelines for cold storages/refrigerated vans, which could be utilized by DA to develop strategies on cold storage/transportation facilities. ■ Verify the impacts of cold facilities on vegetable prices through 1) using cold storage in Benguet, 2) using refrigerated vans from Benguet to Manila. |
| Target Municipalities | Buguias, La Trinidad, Atok, Mankayan, Kibungan |
| Target group | <ul style="list-style-type: none"> ■ 3-5 farmer groups from each municipality ■ Institutional buyers who are interested in / already using refrigerated vans. |
| Focal Points | <ul style="list-style-type: none"> ■ Municipal Agriculturist Offices ■ Provincial Agriculturist Office ■ DA-CAR (AMAD, HVCDP) ■ DA (AMAS, HVCDP) |
| Note | <ul style="list-style-type: none"> • DA-CAR (HVCDP) provided refrigerated vans to 3 farmer groups from 2020-2022. These 3 farmer groups could be included in the pilot project 2. • It is necessary to find institutional buyers who could join the trial shipping using refrigerated van. • Better utilization of cold storage in BAPTC should be explored since it is currently not in operation • Explore possibilities to work together with Japanese companies to improve the cold facilities. |

12

Pilot Project 3: Minimize loss by improved package of vegetables in wholesale supply chain.

| | Draft Pilot Project |
|------------------------|--|
| Issues to be addressed | <ul style="list-style-type: none"> ■ Most vegetables are transported in bare or in plastic sacks from farm to wholesale markets and quality deterioration occurs during transportation due to physical impact and exposure to rain. |
| Objective | <ul style="list-style-type: none"> ■ To minimize loss and damages of vegetables by introducing improved packages and achieve value addition. |
| Key Activities | <ul style="list-style-type: none"> ■ Verify economic feasibility of using improved packages (i.e. stackable plastic crates with handles) and quantify loss of vegetables reduced by such packages. Stackable crates will be used either by farmer groups or truck wholesalers in the market, to improve the quality of vegetables during transportation from farm to institutional buyers and/or from wholesale market to final consumption area. |
| Target Municipalities | Buguias, La Trinidad, Atok, Mankayan, Kibungan |
| Target group | <ul style="list-style-type: none"> ■ 3-5 farmer groups from each municipality ■ Truck wholesalers who came to main market |
| Focal Points | <ul style="list-style-type: none"> ■ Municipal Agriculturist Offices ■ Provincial Agriculturist Office ■ DA-CAR (AMAD) ■ DA (AMAS) |
| Note | <ul style="list-style-type: none"> • DA-CAR (HVCDP) provided plastic crates to farmer groups as part of regular activities. However, it is difficult to collect crates from traders. • JICA's pilot project will work with truck wholesalers to use plastic crates, so there is no duplication with DA-CAR's activity (to provide crates to farmer groups) |



Pilot Projects in Benguet Province

Pilot Project 4: Link farmers to B2B e-commerce platform/institutional buyers.

| | Draft Pilot Project |
|------------------------|---|
| Issues to be addressed | <ul style="list-style-type: none"> ■ Farmers' marketing channels are not well diversified, and farmers are not being able to capture the new market opportunities using e-commerce (EC). |
| Objective | <ul style="list-style-type: none"> ■ To support B-to-B e-commerce vegetable wholesale markets for promoting direct trading between farmers and institutional buyers without contracts. |
| Key Activities | <ul style="list-style-type: none"> ■ Collect information from buyers on the specification/requirement for vegetables to be sold on e-commerce platform. Develop guideline/handbook for farmer groups on how to meet those specifications. ■ Organize information sharing seminars to inform farmer groups on the specification of buyers for e-commerce. |
| Target Municipalities | Buguias, La Trinidad, Atok, Mankayan, Kibungan |
| Target groups | <ul style="list-style-type: none"> ■ 3-5 farmer groups from each municipality ■ Buyers for e-commerce platforms (ex. Deliver-E, E-Kadiwa, Zagana, Sarisuki) |
| Focal Points | <ul style="list-style-type: none"> ■ Municipal Agriculturist Offices ■ Provincial Agriculturist Office ■ DA-CAR (AMAD) ■ DA (AMAS) |
| Note | <ul style="list-style-type: none"> • DA is currently facilitating the match-making between farmers and buyers for e-commerce. However, farmers do not have sufficient information on the specification of the buyers to sell on e-commerce platform. • JICA's pilot project will focus on providing more information on the specification/requirement of buyers so that it could facilitate the on-going match-making activities by DA. |

14



Pilot Projects in Benguet Province

Pilot Project 5: Create linkages between farmers and agro-processing businesses.

| | Draft Pilot Project |
|------------------------|--|
| Issues to be addressed | Value addition in agriculture value chain is limited since the agro-processing businesses is not yet fully developed. |
| Objective | To increase the value addition of the agriculture by processing vegetables (i.e. pre-cut vegetable) |
| Key Activities | <ul style="list-style-type: none"> ■ Collect information from agro-processing companies on the specification/requirement for vegetables. ■ Organize information sharing seminars to inform farmer groups on the specification/requirement of agro-processing companies. ■ Facilitate match-making and create business linkages between farmer groups and agro-processing companies. |
| Target Municipalities | Buguias, La Trinidad, Atok, Mankayan, Kibungan |
| Target groups | <ul style="list-style-type: none"> ■ 3-5 farmer groups from each municipality ■ Agro-processing companies (list to be provided from DA-AMAS) |
| Focal Points | <ul style="list-style-type: none"> ■ Municipal Agriculturist Offices ■ Provincial Agriculturist Office ■ DA-CAR (AMAD, HVCDP) ■ DA (AMAS, HVCDP) |
| Note | <ul style="list-style-type: none"> • DA funded the processing facility in BATPC, which is already constructed and waiting to start its operation soon. Possible collaboration with the processing facilities will also be explored as part of the pilot activities. |

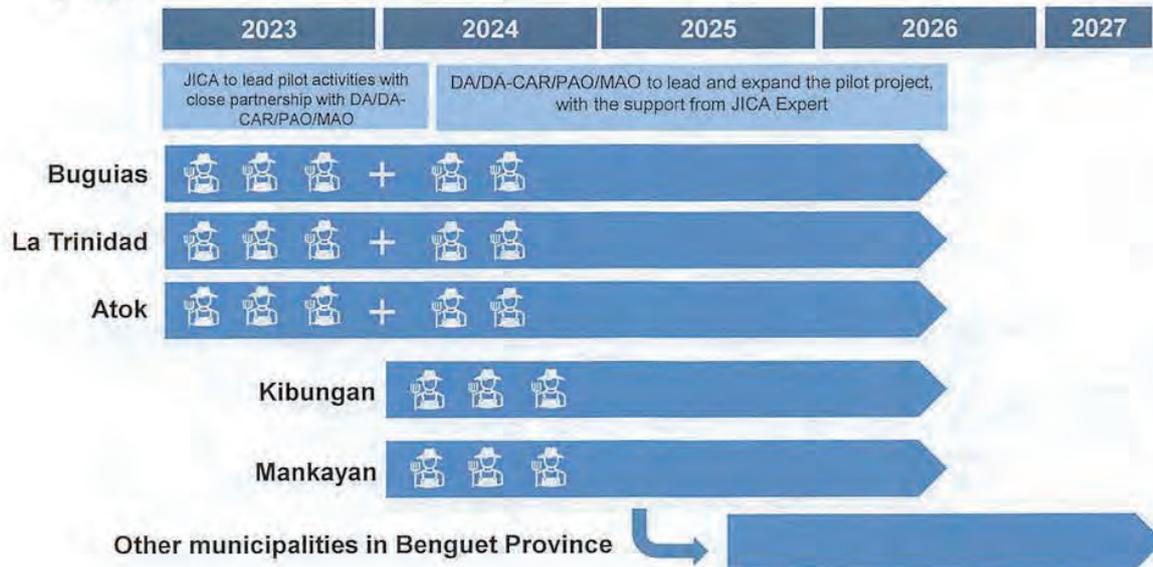
S₁





How to expand pilot projects in target sites

- JICA proposes to select 2 municipalities (i.e. Buguias, La Trinidad, Atok) to be the first group, and expand the activities to other municipalities (i.e. Kibungan, Mankayan) in the second year of the Project, so the first group could share their experiences to the second group.



16



Summary of the Pilot Projects

| | Benguet (Buguias, La Trinidad, Atok, Mankayan, Kibungan) | Quezon (Sariaya, Dolores, Gumaca, Lopez) |
|---|---|---|
| Pilot Project 1 Improve capacities of farmer groups for better vegetable production | <ul style="list-style-type: none"> Improve cultivation techniques of farmer groups: Pilot project (PP) will support target farmer groups to improve their cultivation techniques to diversify the harvest time by effectively utilizing the agriculture facilities and inputs. PP will also support farmers' access to high-quality seeds/seedlings, which are more resilient to pests and diseases and able to contribute to prolong harvest time. Improve business and organizational capacities of farmer groups: PP will support target farmer groups to strengthen their capacities in preparing better farming plans to diversify harvest time. PP will also support business and organizational capacities of farmer groups to increase their sales. <p>(Note: farming plans may include details of the cultivation activities, such as commodities to grow, each member's sowing and planting schedule, plans for pest and disease control and harvesting. Business and organizational supports may include cost analysis, financial management, marketing strategy, funding plans etc.)</p> | |
| Pilot Project 2 Strengthen cold chain distribution system | <ul style="list-style-type: none"> Develop planning/management guidelines for cold storages/refrigerated vans, which could be utilized by DA to develop strategies on cold storage/transportation facilities. Verify the impacts of cold facilities on vegetable prices through 1) using cold storage in Benguet, 2) using refrigerated vans from Benguet to Manila. | <ul style="list-style-type: none"> Develop planning/management guidelines for cold storages/refrigerated vans, which could be utilized by DA to develop strategies on cold storage/transportation facilities. Verify how pre-cooling vegetables prior to the delivery could impact the price at the market in Dolores. |

S,



Summary of the Pilot Projects

| | Benguet (Buguias, La Trinidad, Atok, Mankayan, Kibungan) | Quezon (Sariaya, Dolores, Gumaca, Lopez) |
|---|--|---|
| Pilot Project 3 Minimize loss by improved package of vegetables in wholesale supply chain | <ul style="list-style-type: none"> Verify economic feasibility of using improved packages (i.e. stackable plastic crates with handles) and quantify loss of vegetables reduced by such packages. Stackable crates will be used either by farmer groups or truck wholesalers in the market, to improve the quality of vegetables during transportation from farm to institutional buyers and/or from wholesale market to final consumption area. | |
| Pilot Project 4 Link farmers to B2B e-commerce platform/institutional buyers | <ul style="list-style-type: none"> Collect information from buyers on the <u>specification/requirement</u> for vegetables to be sold on e-commerce platform. Develop guideline/handbook for farmer groups on how to meet those specifications. Organize <u>information sharing seminars</u> to inform farmer groups on the specification of buyers for e-commerce. | <ul style="list-style-type: none"> Provide <u>trainings target farmer groups on how to use e-commerce platform to sell their vegetables</u>. (i.e. quality management, hygiene management, fulfilling the specification /requirement of buyers) Support DA's activities to <u>match-make farmer groups and buyers for e-commerce/institutional buyers</u>. Support <u>farmer groups in improving their skills in branding and packaging</u>. |
| Pilot Project 5 Create linkages between farmers and agro-processing businesses. | <ul style="list-style-type: none"> Collect information from <u>agro-processing companies on the specification/requirement for vegetables</u>. Organize <u>information sharing seminars</u> to inform farmer groups on the specification/requirement of agro-processing companies. Facilitate <u>match-making and create business linkages</u> between farmer groups and agro-processing companies. | <ul style="list-style-type: none"> Support <u>farmer groups in increasing quality of their processed foods by providing trainings on quality management, hygiene management, packaging, branding and marketing</u>. Connect <u>farmer groups to existing agro-processing companies</u> to ensure stable supply of vegetables to those processing companies. |
| Pilot Project 6 Encourage vegetable consumptions | <ul style="list-style-type: none"> Deliver promotional campaigns for vegetable consumption. (pilot project to be conducted in Metro Manila) | |



Project Design Matrix

Project Title: Project for Market-Driven Enhancement of Vegetable Value Chain in the Philippines (MV2C-TCP)

Version 1.0

Implementing Agency: Department of Agriculture, Agribusiness and Marketing Assistance Services (DA-AMAS)

Dated 23 December 2022

Target Group: Food Value Chain (FVC) stakeholders (Farmers/Farmer groups, private sectors and relevant Government agencies, consumers)

Period of Project: Six (6) years from the date of arrival of JICA expert (consultant) team in the Philippines (2022.2-2028.2)

Project Sites: Metro Manila, Benguet Province (La Trinidad, Buguias, Atok, Kibungan, Mankayan), Quezon Province (Dolores, Sariaya, Gumaca, Lopez)

| Narrative Summary | Objectively Verifiable Indicators | Means of Verification | Important Assumption |
|--|--|---|----------------------|
| Overall Goal Vegetable value chains are strengthened in areas other than the project sites, through expanding and implementing the Inclusive FVC Models. | 1. XX municipalities/provinces which did not participate in the Project activities adopted Inclusive FVC Models and strengthened vegetable value chains (i.e. agricultural profits of farmer groups increased, vegetable loss at the farm level is reduced, business linkages with farmer groups and private sector created). | 1) Post Project Evaluation | |
| Project Purpose Vegetable value chains in the project sites are strengthened through implementing the Inclusive FVC Models. | 1. Agricultural profits of participating farmers from target farmer groups are increased by XX%, compared to the baseline survey. 2. Marketable volume of vegetables produced by participating farmers is increased by XX%, brought about by decreasing post-harvest losses and creating market linkages. 3. More than XX business linkages are created with target farmer groups and private sector stakeholders in the value chain since the beginning of the Project. | 1) Baseline survey 2) End line survey 3) Terminal evaluation | |
| Outputs | | | |
| <Planning Phase> 1. Draft Enhanced Vegetable Value Chain Roadmap is developed and aligned with the Philippine Vegetable Industry Roadmap 2021-2025, and outline of the Project is set. | 1-1. Draft Enhanced Vegetable Value Chain Roadmap is developed. 1-2. FVC stakeholder's platform is formed. 1-3. Plan of pilot projects are approved by FVC stakeholders' Platform. | | |
| <Implementation Phase> 2. Different types of technical options to strengthen vegetable value chains are verified through the pilot projects, and capacities of FVC stakeholders to utilize those technical options are enhanced. | <Pilot Project 1> 2-1. XX farmer groups in project sites increased their skills in production based on cropping calendar. 2-2. XX farmer groups in project sites increased their business and organizational capacities. 2-3. XX farmer groups in project sites increased their access to high-quality vegetable seeds/seedlings. <Pilot Project 2> 2-4. Planning/management guideline for cold storages is developed. 2-5. Effectiveness of pre-cooling of vegetables is verified in Quezon province. <Pilot Project 3> 2-6. XX% of target beneficiaries who participated in the pilot project are satisfied with the use of stackable plastic crates to decrease vegetable losses during the transportation. <Pilot Project 4> 2-7. XX farmer groups increased their knowledge on how to sell their vegetables on E-commerce platform, including understanding on specification of buyers. 2-8. Number of farmer groups in project sites who use E-commerce platform has increased. <Pilot Project 5> 2-9. XX farmer groups were connected to agro-processing companies. 2-10. XX farmer groups in project sites increased their agro-processing capacities. <Pilot Project 6> 2-11. XX campaigns were conducted to promote the consumption of vegetables. | 1) Activity records / event reports 2) Questionnaire/interviews to the target farmer groups 3) Baseline survey and end-line survey 4) Monitoring sheet | |
| 3. Private sector participation and investment to improve FVC is promoted through consultations in the FVC platform and implementation of pilot projects. | 3-1. Number of private companies who participated in the Project. 3-2. Number of interests raised from private companies to improve vegetable value chains were increased. | 1) Activity records / event reports 2) Questionnaire/interviews to the target farmer groups 3) Baseline survey and end-line survey 4) Monitoring sheet | |
| 4. Inclusive FVC Models are disseminated to the areas other than Benguet/Quezon provinces. | 4-1. Inclusive FVC Models are disseminated to farmer groups within the selected municipalities in Benguet/Quezon provinces. 4-2. Inclusive FVC Models are disseminated to XX municipalities in Benguet/Quezon provinces by DA and implemented as trial bases. 4-3. Inclusive FVC Models are disseminated to XX provinces other than Benguet/Quezon provinces by DA and implemented as trial bases. 4-4. Guideline for disseminating Inclusive FVC Models is developed. | 1) Activity records / event reports 2) Monitoring sheet | |

| Activities | Inputs | | Important Assumption |
|---|--|--|--|
| | The Japanese Side | The Philippine Side | |
| <p><Planning Phase></p> <p>1-1. Review of existing vegetable value chain analysis and roadmaps</p> <p>1-1-1. Cluster FVC into major categories.</p> <p>1-1-2. Identify stakeholders for each FVC.</p> <p>1-1-3. Identify challenges for each FVC</p> <p>1-2. Conduct market survey to identify target FVC.</p> <p>1-3. Formulate FVC stakeholder's platform.</p> <p>1-4. Draft Enhanced Vegetable Value Chain Roadmap covering short, medium and long term measures.</p> <p>1-5. Plan pilot projects to develop Inclusive FVC Model.</p> <p>1-5-1. Identify challenges and potential actions for each clustered FVC.</p> <p>1-5-2. Identify target FVC and associated plot activities out of 1-5-1 from the viewpoint of <i>reliability, effectiveness, and efficiency</i></p> <p>1-5-3. Formulate monitoring framework of plot activity within FVC stakeholder platform</p> <p><Implementation Phase></p> <p>2-1. Conduct pilot projects in Benguet province, Quezon province and Metro Manila to develop Inclusive FVC Models.</p> <p>2-1-1. Conduct baseline surveys in the project sites and define baseline and target for the output indicators.</p> <p>2-1-2. Verify various technical options to improve FVC in Benguet Province, through combining pilot projects in production, distribution and processing stages of the value chain.</p> <p>2-1-3. Verify various technical options to improve FVC in Quezon Province, through combining pilot projects in production, distribution and processing stages of the value chain.</p> <p>2-1-4. Conduct a pilot project in Metro Manila to promote consumption of vegetables.</p> <p>2-2. Organize trainings in Japan to increase FVC stakeholders' knowledge on FVC in Japan.</p> <p>2-3. Revise workplans for the pilot projects, as required, by monitoring the progress and challenges faced during the pilot project implementation.</p> <p>2-4. Monitor the progress of the pilot projects and record the relevant data to examine the value addition created by the pilot projects along the vegetable value chain.</p> <p>2-5. Develop Inclusive FVC Models based on the results of the pilot projects.</p> <p>3-1. Discuss activities, progress and challenges of the pilot projects at the FVC Platform.</p> <p>3-2. Promote the participation of the private sectors to the FVC Platform and encourage investment to improve FVC, by widely sharing the results of the Project via the FVC platform.</p> <p>3-3. Provide inputs to DA on the results of the pilot projects and contribute to the realization of the Philippine Vegetable Industry Roadmap 2021-2025.</p> <p>3-4. Communicate results of the Project through organizing seminars/forums.</p> <p>4-1. Identify roles and responsibilities of relevant offices in DA, DA regional offices, Provincial/Municipal Agriculturist Offices to disseminate Inclusive FVC Models to municipalities or provinces other than Benguet/Quezon provinces.</p> <p>4-2. Expand pilot projects to the other farmer groups in the selected municipalities within Benguet/Quezon provinces (to be led by DA regional offices, Municipal Agriculturist Offices).</p> <p>4-3. Expand pilot projects to other municipalities within Benguet/Quezon provinces (to be led by DA regional offices, Provincial Agriculturist Offices).</p> <p>4-4. Expand pilot projects to provinces other than Benguet/Quezon provinces (to be led by DA).</p> <p>4-5. Produce a guideline to facilitate the dissemination of the Inclusive FVC Models to other municipalities within Benguet/Quezon provinces or provinces other than Benguet/Quezon provinces</p> <p>4-6. Organize seminars to share experiences among farmer groups, municipalities and provinces.</p> | <p>1. Dispatch of expert (consultant) team</p> <p><Planning Phase></p> <ul style="list-style-type: none"> - Chief Advisor/ Value Chain - Production technique/Cooperative management - Marketing/Training <p><Implementation Phase></p> <ul style="list-style-type: none"> - Chief Advisor/value chain development - Production technique - Marketing/distribution - Post harvest/agro-processing - Cooperative management - Training planning <p>2. Training program in Japan.</p> <p>3. Provision of materials necessary for pilot projects.</p> <p>4. Provision of equipment necessary for technology transfer and application.</p> <p>5. Local expenses for the project activities including expenses for trainings/workshops/seminars, which are not covered by the Philippine government.</p> | <p>1. Assignment of appropriate counterparts.</p> <p>1) Project Director</p> <p>2) Project Manager</p> <p>3) Counterpart Personnel of National and Regional Implementation Teams</p> <p>2. Office space and office refurbishment cost.</p> <p>3. Personnel cost of the counterparts, including travel expenses and allowances.</p> <p>4. Utilities (electricity and water, etc.)</p> <p>5. Budget for daily activities and local costs, including trainings.</p> | <p>• Severe natural disaster such as drought and flood does not occur in the project sites.</p> <p>• Knowledge and technology transferred through project will not drain due to staff reallocation.</p> <p>Pre-Conditions</p> <p>• Philippine Government's policies and plans on agriculture are not changed drastically.</p> |
| | | | <p><Issues and countermeasures></p> |



Tentative Plan of Operation

Project Title: Project for Market-Driven Enhancement of Vegetable Value Chain in the Philippines (MV2C-TCP)

| Inputs | Year | 1st Year | | | | 2nd Year | | | | 3rd Year | | | | 4th Year | | | | 5th Year | | | | 6th Year | | | | 7th Year | | | | Remarks | | | | | | | | | |
|--|--------|----------|----|-----|----|----------|----|-----|----|----------|----|-----|----|----------|----|-----|----|----------|----|-----|----|----------|----|-----|----|----------|----|-----|----|---------|--|--|--|--|--|--|--|------|---------|
| | | I | II | III | IV | | | | | | | | | | |
| Expert | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Chief Advisor/value chain development | Plan | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Actual | Actual | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Production technique/Cooperative management | Plan | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Actual | Actual | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Marketing/Training | Plan | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Actual | Actual | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Post harvest/agro-processing | Plan | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Actual | Actual | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Cooperative management | Plan | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Actual | Actual | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Post harvest/agro-processing | Plan | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Actual | Actual | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Equipment | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Equipment necessary for technology transfer and application. | Plan | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Actual | Actual | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Training in Japan | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| In-country/Third country Training | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Activities | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Sub-Activities | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Output 1: | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1-1. Review of existing vegetable value chain analysis and roadmaps. | Plan | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | JICA | DA-AMAS |
| Actual | Actual | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | JICA | DA-AMAS |
| 1-1-1. Cluster FVC into major category. | Plan | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | JICA | DA-AMAS |
| Actual | Actual | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | JICA | DA-AMAS |
| 1-1-2. Identify stakeholders for each FVC. | Plan | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | JICA | DA-AMAS |
| Actual | Actual | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | JICA | DA-AMAS |
| 1-1-3. Identify challenges for each FVC stakeholders. | Plan | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | JICA | DA-AMAS |
| Actual | Actual | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | JICA | DA-AMAS |
| 1-2. Conduct market survey to identify target FVC. | Plan | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | JICA | DA-AMAS |
| Actual | Actual | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | JICA | DA-AMAS |
| 1-3. Formulate FVC stakeholder's platform. | Plan | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | JICA | DA-AMAS |
| Actual | Actual | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | JICA | DA-AMAS |
| 1-4. Draft Enhanced Vegetable Value Chain Roadmap covering short, medium and long term measures. | Plan | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | JICA | DA-AMAS |
| Actual | Actual | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | JICA | DA-AMAS |
| 1-5. Plan pilot projects to develop Inclusive FVC Model. | Plan | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | JICA | DA-AMAS |
| Actual | Actual | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | JICA | DA-AMAS |
| 1-5-1. Identify challenges and potential actions for each clustered FVC. | Plan | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | JICA | DA-AMAS |
| Actual | Actual | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | JICA | DA-AMAS |

5

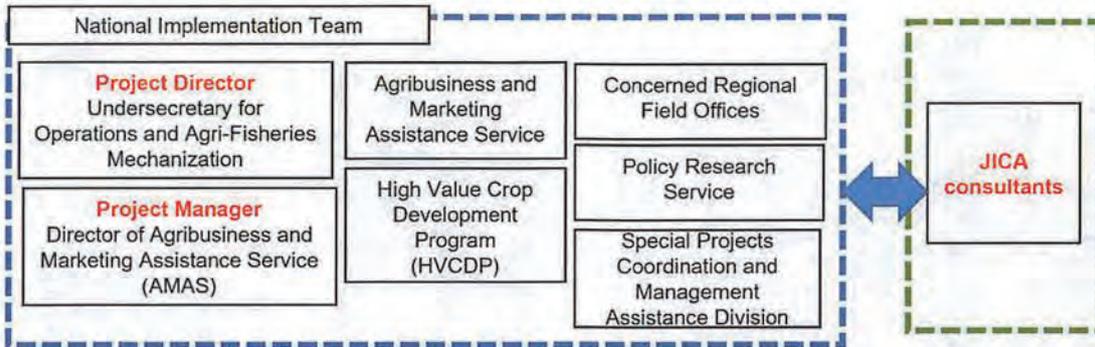


| Activity | Plan | Actual | Plan | Actual | JICA | DA-AMAS |
|---|------|--------|------|--------|------|-------------------------------|
| | | | | | | |
| 1-5-2. Identify target FVC and associated pilot activities out of 1-5-1 from the viewpoint of replicability, effectiveness and efficiency. | | | | | JICA | DA-AMAS |
| 1-5-3. Formulate monitoring framework of pilot activity within FVC stakeholder platform. | | | | | JICA | DA-AMAS |
| Output 2: | | | | | | |
| 2-1. Conduct pilot projects in Benguet province, Quezon province and Metro Manila to develop Inclusive FVC Model. | | | | | JICA | DA-AMAS/HVCDP, DA RO, PAO/MAO |
| 2-1-1. Conduct baseline surveys in the project sites and define the baseline and target for the output indicators. | | | | | JICA | DA-AMAS/HVCDP, DA RO, PAO/MAO |
| 2-1-2. Verify various technical options to improve FVCs in Benguet Province, through combining pilot projects in production, distribution and processing stages of the value-chain. | | | | | JICA | DA-AMAS/HVCDP, DA RO, PAO/MAO |
| 2-1-3. Verify various technical options to improve FVCs in Quezon Province, through combining pilot projects in production, distribution and processing stages of the value-chain. | | | | | JICA | DA-AMAS/HVCDP, DA RO, PAO/MAO |
| 2-1-4. Conduct a pilot project in Metro Manila to promote consumption of vegetables. | | | | | JICA | DA-AMAS/HVCDP, DA RO, PAO/MAO |
| 2-2. Organize trainings in Japan to increase FVC stakeholders' knowledge on FVC in Japan. | | | | | JICA | DA-AMAS/HVCDP, DA RO, PAO/MAO |
| 2-3. Revise workplans for the pilot projects, as required, by monitoring the progress and challenges faced during the pilot project implementation. | | | | | JICA | DA-AMAS/HVCDP, DA RO, PAO/MAO |
| 2-4. Monitor the progress of the pilot projects and record the relevant data to examine the value addition created by the pilot projects along the vegetable value chain. | | | | | JICA | DA-AMAS/HVCDP, DA RO, PAO/MAO |
| 2-5. Develop Inclusive FVC Model based on the results of the pilot projects. | | | | | JICA | DA-AMAS/HVCDP, DA RO, PAO/MAO |
| Output 3: | | | | | | |
| 3-1. Discuss activities, progress and challenges of the pilot projects at the FVC Platform. | | | | | JICA | DA-AMAS/HVCDP, DA RO, PAO/MAO |
| 3-2. Promote the participation of the private sectors to the FVC Platform and encourage investment to improve FVC, by widely sharing the results of the Project via the FVC platform. | | | | | JICA | DA-AMAS/HVCDP, DA RO, PAO/MAO |
| 3-3. Provide inputs to DA on the results of the pilot projects and contribute to the realization of the Philippine Vegetable Industry Roadmap 2021-2025. | | | | | JICA | DA-AMAS/HVCDP, DA RO, PAO/MAO |
| 3-4. Communicate results of the Project through organizing seminars/forums. | | | | | JICA | DA-AMAS/HVCDP, DA RO, PAO/MAO |
| Output 4: | | | | | | |
| 4-1. Identify roles and responsibilities of relevant offices in DA, DA regional offices, Provincial/Municipal Agriculturist Offices to disseminate Inclusive FVC Models to municipalities or provinces other than Benguet/Quezon provinces. | | | | | JICA | DA-AMAS/HVCDP, DA RO, PAO/MAO |

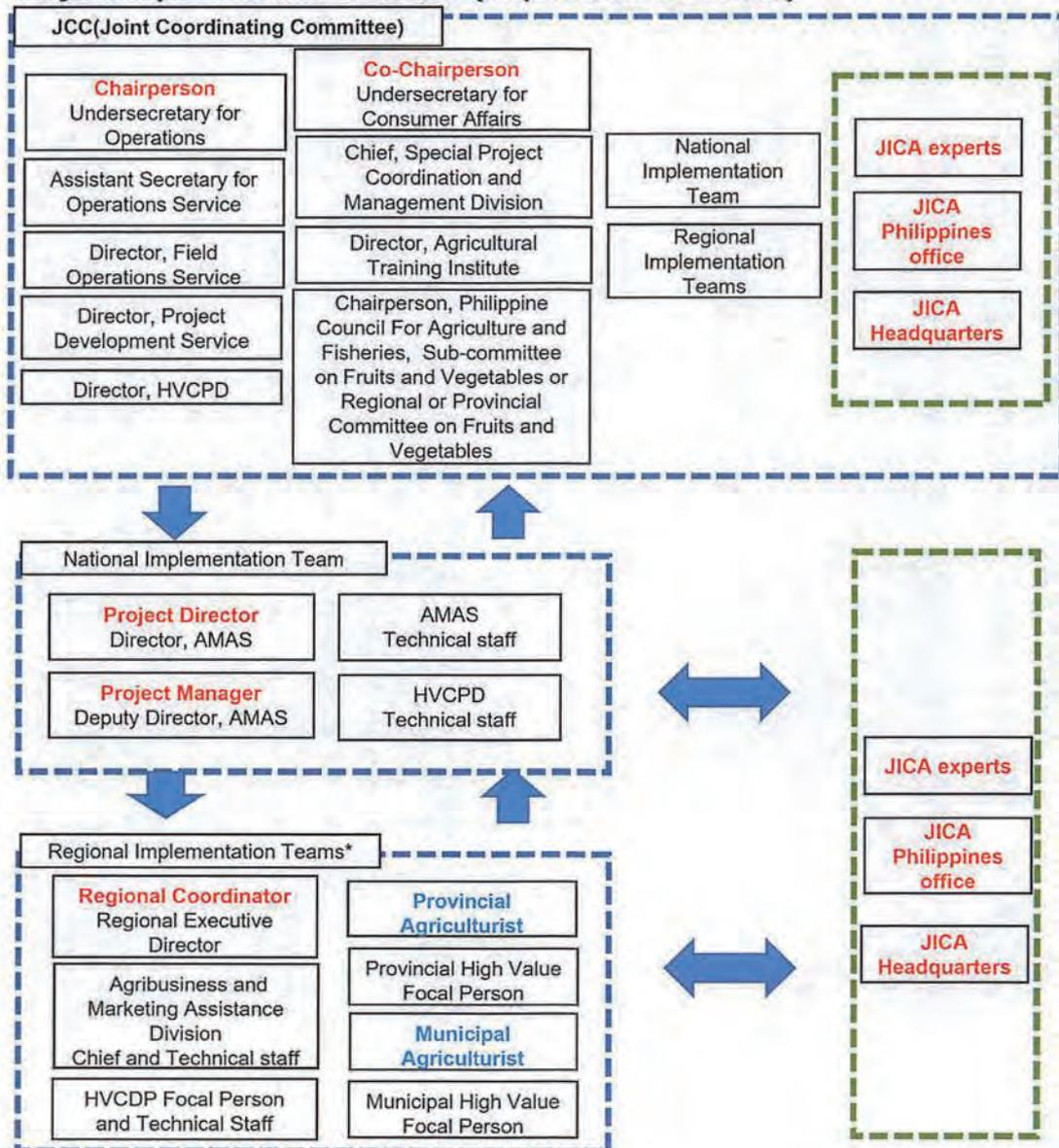
Project Implementation Structure

Annex 6

Project Implementation Structure (Planning Phase)



Project Implementation Structure (Implementation Phase)



* Regional Implementation Teams are formulated in Benguet and Quezon Provinces



5



Division of roles between JICA, DA, DA regional offices and Provincial/ Municipal Agriculturist Offices

| Agencies | Roles and Responsibilities |
|---------------------------------------|---|
| JICA | <ul style="list-style-type: none"> ■ Oversees and manages the project activities. ■ Provides technical supports through dispatch of Japanese experts (i.e. trainings, capacity building activities, match-making with private sectors/institutional buyers, promotion of participation/investment from private sectors including Japanese companies). ■ Provides budget for organizing seminars, training workshops, and other events. ■ Provides small-scale equipment based on the need assessment of the beneficiaries (Note: JICA will not provide large-scale processing equipment/facilities under this the Project). |
| DA | <ul style="list-style-type: none"> ■ Shares information on existing interventions by DA to strengthen value chains and facilitates synergies with the pilot projects. ■ Suggests/recommends potential private sector in Manila / the other areas who could join the pilot projects. ■ Participates in the FVC platform and lead the consultations with producers, private sectors and the government. ■ Oversees and manages the project activities. ■ Expands pilot activities to the other provinces in the Philippines, with support from JICA experts. |
| DA-4A / DA-CAR | <ul style="list-style-type: none"> ■ Shares information on existing interventions by DA to strengthen value chains and facilitate synergies with the pilot projects. ■ Oversees and manages the project activities in Provincial level. ■ Suggests/recommends potential private sectors in Quezon/Benguet provinces who could join the pilot projects. ■ Participates in the FVC platform and leads the consultations with producers, private sectors and the government. ■ Expands pilot activities to the other municipalities in Quezon/Benguet provinces, with support from JICA experts. |
| Provincial Agriculturist Office (PAO) | <ul style="list-style-type: none"> ■ Shares information on existing interventions by PAO to strengthen value chains and facilitates synergies with the pilot projects. ■ Oversees and manages the project activities in Provincial level. ■ Suggests/recommends potential private sectors in Quezon/Benguet provinces who could join the pilot projects. ■ Participates in the FVC platform and leads the consultations with producers, private sectors and the government. ■ Expands pilot activities to the other municipalities in Quezon/Benguet provinces, with support from JICA experts. |
| Municipal Agriculturist Office (MAO) | <ul style="list-style-type: none"> ■ Recommends target farmer groups in project sites. ■ Oversees and manages the project activities in Municipal level. ■ Suggests/recommends potential private sectors in the municipalities who could join the pilot projects. ■ Participates in the FVC platform and leads the consultations with producers, private sectors and the government. ■ Expands pilot activities to the other areas within the municipality, with support from JICA experts. |

6

**BASIC PRINCIPLES
FOR
TECHNICAL COOPERATION**



December, 2016

JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY (JICA)

Basic Principles for Technical Cooperation
Table of Contents

| | |
|---|---|
| I. Introduction | 1 |
| Section 1.1 Introduction | 1 |
| Section 1.2 Inconsistency with the R/D | 1 |
| II. Definition of Technical Cooperation | 1 |
| Section 2.1 Technical Cooperation | 1 |
| Section 2.2 Technical Cooperation Project | 1 |
| Section 2.3 Technical Cooperation for Development Planning | 1 |
| III. Implementation Structure | 2 |
| Section 3.1 Project Team | 2 |
| Section 3.2 Roles of Project Team Members | 2 |
| Section 3.3 Joint Coordinating Committee | 2 |
| IV. Undertakings of the Counterpart | 3 |
| Section 4.1 Grant of Privileges, Exemptions, Benefits to JICA, the members of JICA missions and the JICA experts | 3 |
| Section 4.2 Provision of Conveniences for the members of JICA missions and the JICA experts | 3 |
| Section 4.3 Provision of Services, Facilities and Local-Cost Bearing for the Technical Cooperation | 3 |
| V. Reporting | 4 |
| Section 5.1 Reporting for Technical Cooperation Project | 4 |
| Section 5.2 Reporting for Technical Cooperation for Development Planning | 4 |
| VI. Monitoring and Evaluation | 4 |
| Section 6.1 Regular Monitoring and Evaluation for Technical Cooperation Project | 4 |
| Section 6.2 Ex-post Evaluations | 4 |
| VII. Ownership of Equipment, Machinery, and Materials | 5 |
| Section 7.1 Equipment, Machinery, and Materials provided by JICA..... | 5 |
| Section 7.2 Equipment, Machinery, and Materials owned by JICA | 5 |
| VIII. Construction of Pilot Facility | 5 |
| Section 8.1 Ownership of Pilot Facility | 5 |
| Section 8.2 Safety Management of Construction | 5 |
| IX. Public Relations | 5 |
| Section 9.1 Promotion of Public Support | 5 |
| X. Environmental and Social Considerations | 6 |
| Section 10.1 Policy | 6 |
| XI. Miscellaneous | 6 |
| Section 11.1 Misconduct | 6 |
| Section 11.2 Mutual Consultation | 6 |



S₁

Basic Principles for Technical Cooperation

I. Introduction

Section 1.1 Introduction

The purpose of the Basic Principles for Technical Cooperation (hereinafter referred to as "the BP") is to set forth the basic principles generally applicable to Technical Cooperation Project and Technical Cooperation for Development Planning implemented jointly by the Japan International Cooperation Agency and the implementing agency of the recipient country (hereinafter referred to as "Technical Cooperation"), which consists of the record of discussions (hereinafter referred to as "the R/D") agreed upon between the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and the implementing agency of the recipient country (hereinafter referred to as "the Counterpart").

Section 1.2 Inconsistency with the R/D

If any contents of the BP is inconsistent with any contents of the R/D, such contents of the R/D will prevail.

II. Definition of Technical Cooperation

Section 2.1 Technical Cooperation

Technical Cooperation supports human resource development, research and development, technology dissemination and the development of institutional frameworks essential for the development of economies and societies in the recipient country.

Section 2.2 Technical Cooperation Project

Technical Cooperation Project refers to a systematic and comprehensive project implementation to attain certain outcomes within certain time period, in which input includes, but not limited to, the dispatch of members of JICA missions and/or JICA experts, acceptance of training participants, and/or provision of equipment from JICA.

Section 2.3 Technical Cooperation for Development Planning

In Technical Cooperation for Development Planning, JICA conducts necessary studies to support the recipient country to formulate policies and master plans, by dispatching members of JICA missions. Based on the results of this cooperation, the recipient country is expected to formulate plans for sector/regional development or rehabilitation/reconstruction by utilizing the results, to implement plans by raising funds from international organizations and others, and/or to carry out the recommended organizational/institutional reforms and other proposed activities.



1

5

III. Implementation Structure

Section 3.1 Project Team

Project team will work together for implementing Technical Cooperation. Its members include, but not limited to, Project Director, Project Manager, personnel from the Counterpart, members of JICA missions, JICA experts, and/or other members to be determined by both parties (hereinafter referred to as "the Project Team"). Details are described in the R/D.

Section 3.2 Roles of Project Team Members

General roles of members of the Project Team are as follows. Roles for other members will be determined by both parties for specific Technical Cooperation.

(1) Project Director

The project director, appointed from the Counterpart, will be responsible for the overall implementation and coordination of Technical Cooperation.

(2) Project Manager

The project manager, appointed from the Counterpart, will manage Technical Cooperation on a regular basis, and be responsible for administrative and technical matters of Technical Cooperation.

(3) Members of JICA Missions

The members of JICA missions will conduct studies regarding Technical Cooperation in cooperation with the Counterpart.

(4) JICA Experts

The JICA experts will give necessary technical guidance, advice and recommendations to the Counterpart on any matters pertaining to the implementation of Technical Cooperation.

Section 3.3 Joint Coordinating Committee

Joint Coordinating Committee (hereinafter referred to as "JCC") will be established in order to manage Technical Cooperation, and its proposed members are listed in the R/D. JCC will be held at least once a year and whenever deems it necessary and plays vital roles for implementing Technical Cooperation as follows.

(1) JCC for Technical Cooperation Project

Main tasks are 1) to review the progress, 2) to revise the overall plan when necessary, 3) to approve an annual work plan, 4) to suggest modifications of the framework (including the Project Design Matrix (hereinafter referred to as "PDM") and the Plan of Operation (hereinafter referred to as "PO") for Technical Cooperation Project), 5) to conduct evaluation of Technical Cooperation Project, and 6) to exchange opinions on major issues that arise during the implementation of Technical Cooperation Project.

(2) JCC for Technical Cooperation for Development Planning

Main tasks are to discuss on the progress and major issues that arise during the implementation of Technical Cooperation for Development Planning.

IV. Undertakings of the Counterpart

Section 4.1 Grant of Privileges, Exemptions, Benefits to JICA, the members of JICA missions and the JICA experts

The Counterpart and the government of the recipient country will take necessary measures to grant JICA, the members of JICA missions and the JICA experts privileges, exemptions and benefits in accordance with international agreements concluded between the government of Japan and the government of the recipient country.

Section 4.2 Provision of Conveniences for the members of JICA missions and the JICA experts

The Counterpart and the government of the recipient country will take necessary measures to provide conveniences listed hereto at its own expense;

- (1) Information as well as support in acquiring suitable furnished accommodation for the JICA experts and their families;
- (2) Information as well as support in obtaining medical service for the members of JICA missions, the JICA experts and their families; and
- (3) Credentials or identification cards as necessary to the members of JICA missions and the JICA experts.

Section 4.3 Provision of Services, Facilities and Local-Cost Bearing for the Technical Cooperation

The Counterpart and the government of the recipient country will take necessary measures to provide services, facilities and local-cost bearing listed hereto at its own expense;

- (1) Services of the Counterpart's personnel;
- (2) Suitable office space for the Project Team with necessary equipment;
- (3) Running expenses necessary for the implementation of Technical Cooperation;
- (4) Expenses necessary for transportation within the recipient country of the equipment provided by JICA for Technical Cooperation Project as well as for the installation, operation and maintenance thereof;
- (5) Supply or replacement of machinery, equipment, instruments, vehicles, tools, spare parts and any other materials necessary for the implementation of Technical Cooperation other than those prepared and provided by JICA;
- (6) Travel allowances for the Project Team for official travel within the recipient country; and
- (7) Available data (including maps and photographs) and information

21

3

related to Technical Cooperation.

V. Reporting

Section 5.1 Reporting for Technical Cooperation Project

The Project Team will prepare the Project Completion Report three (3) months before the completion of Technical Cooperation Project.

Section 5.2 Reporting for Technical Cooperation for Development Planning

The Project Team will prepare and submit the following reports to the Counterpart. Details, such as the language of the reports, will be determined based on mutual consultation.

- (1) Inception Report at the commencement of the work period in the recipient country
- (2) Interim Report at the middle of the work period in the recipient country
- (3) Draft Final Report at the end of the work period in the recipient country
- (4) Final Report within one (1) month after the receipt of the comments on the Draft Final Report

VI. Monitoring and Evaluation

Section 6.1 Regular Monitoring and Evaluation for Technical Cooperation Project

The Project Team will jointly and regularly monitor the progress of Technical Cooperation Project through the monitoring sheets based on PDM and PO every six (6) months, while JCC will conduct overall evaluations of Technical Cooperation Project.

Section 6.2 Ex-post Evaluations

JICA will conduct the following ex-post evaluations and surveys to verify sustainability and impact of Technical Cooperation and draw lessons. The Counterpart will make best efforts to provide necessary support for them.

- (1) Ex-post evaluation three (3) years after the completion of Technical Cooperation, in principle
- (2) Follow-up surveys, as necessary

VII. Ownership of Equipment, Machinery, and Materials

Section 7.1 Equipment, Machinery, and Materials provided by JICA

The equipment, machinery and materials provided by JICA will become the property of the Counterpart or competent authorities of the recipient country upon being delivered to the Counterpart or the authorities.

Section 7.2 Equipment, Machinery, and Materials owned by JICA

The equipment, machinery and materials prepared by JICA for the performance of duties of the members of JICA missions and the JICA experts will remain the property of JICA unless a separate arrangement is agreed between JICA and the Counterpart or competent authorities of the recipient country.

VIII. Construction of Pilot Facility

Section 8.1 Ownership of Pilot Facility

When a pilot facility is constructed in Technical Cooperation, based on a separate arrangement to be agreed between the relevant parties, JICA will provide necessary services for constructing the pilot facility for Technical Cooperation throughout the implementation period. Upon the completion of the construction, the pilot facility will become a property of the Counterpart or competent authorities of the recipient country. The Counterpart or the authorities will ensure proper and effective operation and maintenance of the pilot facility.

Section 8.2 Safety Management of Construction

JICA and the Counterpart will assure safety management of the construction in accordance with 'the Guidance for the Management of Safety for Construction Works in Japanese ODA Projects'.

IX. Public Relations

Section 9.1 Promotion of Public Support

For the purpose of promoting support for Technical Cooperation, JICA and the Counterpart will take appropriate measures to make Technical Cooperation widely known to the people of Japan and the recipient country.



S,

X. Environmental and Social Considerations

Section 10.1 Policy

JICA and the Counterpart abide by 'JICA Guidelines for Environmental and Social Considerations (April, 2010)' in order to ensure that appropriate considerations will be made for the environmental and social impacts of Technical Cooperation.

XI. Miscellaneous

Section 11.1 Misconduct

All related personnel and organizations will keep the highest ethics and prevent any corrupt or fraudulent practices in the implementation of Technical Cooperation.

If JICA or the Counterpart receives information related to suspected corrupt or fraudulent practices in the implementation of Technical Cooperation, JICA and the Counterpart will cooperate to take appropriate measures against such practices and provide the other party with such information as the other party may reasonably request, including information related to any concerned personnel of the contractor, consultant, government and/or public organizations.

JICA and the Counterpart will not, unfairly or unfavorably treat the person and/or organization which provided the information related to suspected corrupt or fraudulent practices in the implementation of Technical Cooperation.

Section 11.2 Mutual Consultation

JICA and the Counterpart will consult each other whenever any issues arise in the course of implementation of Technical Cooperation.



**List of Proposed Members of Joint Coordinating Committee
For the Project for Market-Driven Enhancement of Vegetables Value
Chain in the Philippines**

1. Composition

- (1) Chairperson: Undersecretary for Operations
- (2) Co-Chairperson: Undersecretary for Consumer Affairs
- (3) Philippines side:
 - 1) Assistant Secretary for Operations
 - 2) Director, Agribusiness and Marketing Assistance Service
 - 3) Director, Field Operations Service
 - 4) Director, Project Development Service
 - 5) Director, High Value Crops Development Program
 - 6) Director, Agricultural Training Institute
 - 7) Deputy Director, Agribusiness and Marketing Assistance Service
 - 8) Chief, Special Project Coordination and Management Division
 - 9) Chairperson, Philippine Council for Agriculture and Fisheries (PCAF) Sub-committee on Fruits and Vegetables, or
Regional or Provincial Committee on Fruits and Vegetables
 - * To be decided before the first JCC.
 - 10) Members of the National Implementation Team
 - 11) Members of the Regional Implementation Teams
 - 12) Other persons that the Philippines side might consider, if necessary
- (4) Japanese side:
 - 1) JICA Experts
 - 2) Representatives of JICA Philippines Office
 - 3) Representatives of JICA Headquarter
 - 4) Other persons that Japanese side might consider, if necessary

2. Observer

- (1) Representatives from the Embassy of Japan
- (2) Other persons that Chairperson might consider, if necessary

S



TO CR of JICA ●● OFFICE

Project Monitoring Sheet

Project Title : _____Version of the Sheet: Ver.●● (Term: Month, Year - Month, Year) _____

Name: _____

Title: Project Director _____

Name: _____

Title: Chief Advisor _____

Submission Date: _____

I. Summary

1 Progress

1-1 Progress of Inputs

1-2 Progress of Activities

1-3 Achievement of Output

1-4 Achievement of the Project Purpose

1-5 Changes of Risks and Actions for Mitigation

1-6 Progress of Actions undertaken by JICA

1-7 Progress of Actions undertaken by Gov. of ●●

1-8 Progress of Environmental and Social Considerations (if applicable)

1-9 Progress of Considerations on Gender/Peace Building/Poverty Reduction, disability, disease infection, social system, human wellbeing, human right, and gender equality (if applicable)

1-10 Other remarkable/considerable issues related/affect to the project (such as other JICA's projects, activities of counterparts, other donors, private sectors, NGOs etc.)

2 Delay of Work Schedule and/or Problems (if any)

2-1 Detail

2-2 Cause

2-3 Action to be taken

2-4 Roles of Responsible Persons/Organization (JICA, Gov. of●●,etc.)

3 Modification of the Project Implementation Plan

3-1 PO

3-2 Other modifications on detailed implementation plan

(Remarks: The amendment of R/D, Project Description, and PDM (title of the project, duration, project site(s), target group(s), implementation structure, overall goal, project purpose, outputs, activities, input , and change of Environmental category) should be authorized by JICA HDQs. If the project team deems it necessary to modify any part of R/D,Project Description, and PDM, the team may propose the draft.)

4 Current Activities of Gov. of xx to Secure Project Sustainability after its Completion

II. Project Monitoring Sheet I & II *as Attached*



27

RECORD OF DISCUSSIONS
FOR
PROJECT FOR
MARKET-DRIVEN ENHANCEMENT OF
VEGETABLE VALUE CHAIN IN THE PHILIPPINES

AGREED UPON BETWEEN
DEPARTMENT OF FINANCE
AND
DEPARTMENT OF AGRICULTURE
OF
THE REPUBLIC OF THE PHILIPPINES

AND
JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY

Dated October 04, 2021



21

Based on the minutes of meetings on Basic Planning Survey for Project for Market-Driven Enhancement of Vegetable Value Chain in the Philippines (hereinafter referred to as "the Project") signed on 18 September 2020 between the Department of Agriculture of the Republic of the Philippines (hereinafter referred to as "the DA") and the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA"), JICA held a series of discussions with the DA and relevant organizations to develop a basic plan of the Project.

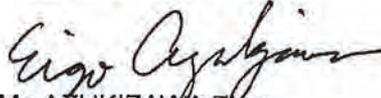
The purpose of this Record of Discussions (hereinafter referred to as "the R/D") is to establish a mutual agreement for its implementation by both parties and to agree on the basic plan of the Project as described in the following Annexes, which will be implemented within the framework of the Agreement on Technical Cooperation signed on 4 April, 2006 (hereinafter referred to as "the Agreement") and the Note Verbale exchanged on 09 October 2020 and 27 October 2020 between the Government of Japan and the Government of the Republic of the Philippines.

The DA will be responsible for the implementation of the Project in cooperation with JICA, coordinate with other relevant organizations and ensure that the self-reliant operation of the Project is sustained during and after the implementation period in order to contribute toward social and economic development of the Republic of the Philippines.

Both parties also agreed that the Project will be implemented in accordance with the "Basic Principles for Technical Cooperation" published in December 2016 (hereinafter referred to as "the BP"), unless other arrangements are agreed in the R/D.

The R/D is delivered at Metro Manila as of the day and year first above written. The R/D may be amended by subsequent minutes of meetings between both parties, except the plan of operation to be modified in monitoring sheets. The minutes of meetings will be signed by authorized persons of each side who may be different from the signatories of the R/D.

For
JAPAN INTERNATIONAL
COOPERATION AGENCY

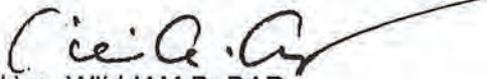

Mr. AZUKIZAWA Eigo
Chief Representative
JICA Philippines Office

For
DEPARTMENT OF FINANCE


Hon. CARLOS G. DOMINGUEZ
Secretary of Finance



For
DEPARTMENT OF AGRICULTURE


Hon. WILLIAM D. DAR
Secretary of Agriculture

DEPARTMENT OF AGRICULTURE
in replying pls cite this code :
For Signature: 8-08-21-0876
Received : 09/30/2021 01:22 PM

51

- Annex 1. Main Points Discussed
- Annex 2. Project Design Matrix (PDM)
- Annex 3. Plan of Operation (PO)
- Annex 4. Project Implementation Structure
- Annex 5. Basic Principles for Technical Cooperation
- Annex 6. JCC Members
- Annex 7. Monitoring Sheet



Main Points Discussed

1. Project Framework

- 1) Both parties confirmed that there is no change in the project description described in the Minutes of Meeting for Basic Planning Survey on the Project signed on September 18, 2020.
- 2) Both parties will determine the detailed plan (content of implementation phase) based on the result of planning phase and revise the R/D by the 10th month from signing of R/D. Plan of Operation (Annex 4) will be adjusted in accordance with the timing of commencement of the Project.

2. Environmental and Social Considerations

With regard to the Section 10.1 of the Basic Principles for Technical Cooperation issued by JICA in December 2016, the Project is likely to have minimal adverse impact on the environment and society under the 'JICA Guidelines for Environmental and Social Considerations (April 2010)'.

3. Roles of Agencies

Expected roles of agencies who signed R/D are as follows:

- 1) Department of Finance: Oversight Agency mandated to ensure that financial resources of the government, including technical assistance grant, are generated and managed judiciously in a manner supportive of development objectives
- 2) Department of Agriculture: to perform the roles of the "Implementing Agency" as stated in this R/D and its Annexes

5

AD

| Project for Market-Driven Enhancement of Vegetable Value Chain in the Philippines (MV2C-TCP) Department of Agriculture, Agribusiness and Marketing Assistance Service (DA-AMAS) Food Value Chain (FVC) stakeholders (Farmers / Farmer's groups, Private sectors and relevant Government agencies) | | | |
|--|--|--|--|
| Project Title: Implementing Agency: Target Group: Period of Project: Project Site: | | [To be decided in Planning phase] [To be decided in Planning phase] | |
| Overall Goal | Indicator | verification | Important Assumption |
| Profitable vegetable value chain is expanded | [To be reviewed in Planning phase] <ul style="list-style-type: none"> Percentage (%) increased in the value of vegetables produced Percentage increased in the profitability of vegetables value chain Number of farmers participated in the Inclusive Business Model | [To be decided in Planning phase] | [To be decided in Planning phase] |
| Project Purpose | Indicator | verification | Important Assumption |
| Inclusive Business Model which can increase farm income is established. | [To be reviewed in Planning phase] <ul style="list-style-type: none"> Roadmap for modernizing vegetable value chain is approved by DA. Profitability in the targeted FVC implementing Inclusive Business Model (profitability = [price increase]*[volume sold]) XX farmers participate in Inclusive Business Model. Average income of farmers participated in Inclusive Business Model increase. | [To be decided in Planning phase] | [To be decided in Planning phase] |
| Outputs | Indicator | verification | Important Assumption |
| <Planning Phase> 1. Draft Enhanced Vegetable Value Chain Roadmap is developed and agreed upon by FVC stakeholders, and outline of the Project is set. <Implementation Phase> | <Planning Phase> <ul style="list-style-type: none"> Draft Enhanced Vegetable Value Chain Roadmap is developed FVC stakeholder's Platform is formed | [To be decided in Planning phase] | [To be reviewed in Planning phase] <ul style="list-style-type: none"> Severe natural disaster such as drought and flood does not occur (COVID-19 situation doesn't affect to the project) |

Annex 2
Project Design Matrix (DRAFT as of 18 September, 2020)

| | | |
|--|--|---|
| <p>2. Inclusive Business Model suited for target FVC are developed through capacity enhancement of FVC stakeholders.</p> <p>3. Inclusive Business Model is reviewed, updated and promoted among other FVC stakeholders.</p> | <ul style="list-style-type: none"> Plan of pilot activities are approved by FVC stakeholder's Platform. <p><Implementation Phase> [To be reviewed in Planning phase] Agreed as tentative indicators, will be finalized after completing the planning phase</p> <p>Output2</p> <ul style="list-style-type: none"> Number of participating farm clusters linked with value chain Number of ICT based platforms (both for production side and market linkage side) developed and implemented <p>Output3</p> <ul style="list-style-type: none"> Developed manuals and training modules of the developed systems for replication/wider adoption | <ul style="list-style-type: none"> Knowledge and technology transferred through project will not drain due to staff reallocation |
| <p>Activities</p> <p><Planning Phase></p> <p>1-1. Review of existing vegetable value chain analysis and roadmaps</p> <p>1-1-1. Cluster FVC into major category</p> <p>1-1-2. Identify stakeholders for each FVC</p> <p>1-1-3. Identify challenges for each FVC stakeholders</p> <p>1-2. Conduct market survey to identify target FVC</p> <p>1-3. Formulate FVC stakeholder's platform</p> <p>1-4. Draft Enhanced Vegetable Value Chain Roadmap covering short, medium and long term measures</p> <p>1-5. Plan of Pilot Activities to develop Inclusive Business model</p> | | |

Ver.0

5

4/10

Annex 2
Project Design Matrix (DRAFT as of 18 September, 2020)

| | | | |
|--|--|--|--------------|
| <p>1-5-1. Identify challenges and potential actions for each clustered FVC</p> <p>1-5-2. Identify target FVC and associated plot activities out of 1-5-1 from the viewpoint of replicability, effectiveness and efficiency</p> <p>1-5-3. Formulate monitoring framework of plot activity within FVC stakeholder's platform</p> <p>1-5-4. Development of assessment tool for Inclusive Business Model.</p> <p>1-6. Enhance knowledge through training program in Japan</p> <p>1-7. Technical survey to confirm feasibility of Smart Food Chain (SFC) to target FVC</p> <p><Implementation Phase ></p> <p>2. Development of Inclusive Business model TBD based on result of planning phase</p> <p>3. Promotion of Inclusive Business model TBD based on result of planning phase</p> | | | <p>Ver.0</p> |
|--|--|--|--------------|



5

af

| | | | |
|--|---|---|---|
| | <p>Inputs</p> <p>The Japanese Side</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Dispatch of consultant team <Planning phase> <ul style="list-style-type: none"> - Chief Adviser/Value Chain - Production technique/Cooperative management - Marketing/Training <p><Implementation Phase> [To be decided in Planning phase]</p> <ol style="list-style-type: none"> 2. Training program in Japan 3. Provision of Equipment necessary for technology transfer and application 4. Local expenses for the project activities including expenses for training / workshop/seminar, which are not covered by Philippine government | <p>The Philippine Side</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Assignment of appropriate counterparts <ul style="list-style-type: none"> 1) Project Director 2) Project Manager 3) Counterpart personnel 2. Office space and Office refurbishment cost. <p>Personnel cost including travel allowances.</p> <ol style="list-style-type: none"> 3. Utilities (Electricity and Water, etc) 4. Budget for daily activities and local training (including personal expense and travel expenses for assigned counterparts) | <p>Precondition</p> <ul style="list-style-type: none"> • Philippine government's policies and plans on agriculture are not changed drastically. |
|--|---|---|---|

Ver.0



5

CR

Tentative Plan of Operation

Version 0

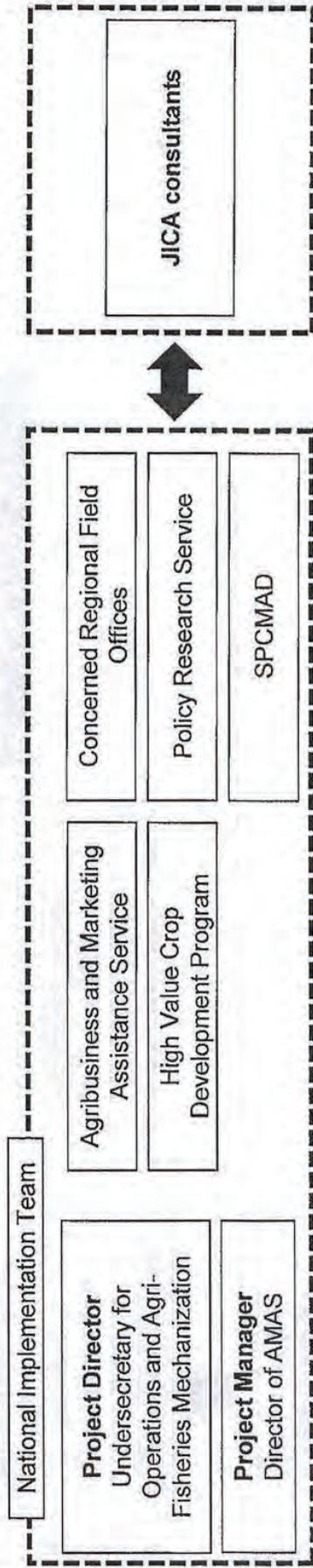
Project Title: Project for Market-Driven Enhancement of Vegetable Value Chain in the Philippines (MV2C-TCP) Dated: 18 September, 2020

| | 2021 | | | | 2022 | | | | 2023 | | | | 2024 | | | | 2025 | | | | 2026 | | | |
|---|------|--------|---|----|------|----|---|----|------|----|---|----|------|----|---|----|------|----|---|----|------|----|--|--|
| | Plan | Actual | I | II | III | IV | | |
| Inputs | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Consultants | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Chief Adviser/Value Chain | Plan | Actual | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Production technique/Cooperative management | Plan | Actual | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Marketing/Training | Plan | Actual | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Consultant for implementation phase TBD in plannign phase | Plan | Actual | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | Plan | Actual | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Equipment | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Other equipment as necessary TBD | Plan | Actual | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Training in Japan | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Training program in Japan | Plan | Actual | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | Plan | Actual | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| In-country/Third country Training | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | Plan | Actual | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | Plan | Actual | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Activities | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Sub-Activities | Plan | Actual | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | Plan | Actual | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Output1. Draft Enhanced Vegetable Value Chain Roadmap is developed and agreed upon by FVC stakeholders, and outline of the Project is set. | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1-1. Review of existing vegetable value chain analysis and roadmaps | Plan | Actual | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | Plan | Actual | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1-1-1. Cluster FVC into major category | Plan | Actual | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | Plan | Actual | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1-1-2. Identify stakeholders for each FVC | Plan | Actual | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | Plan | Actual | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1-1-3. Identify challenges for each FVC stakeholders | Plan | Actual | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | Plan | Actual | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1-2. Conduct market survey to identify target FVC | Plan | Actual | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | Plan | Actual | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1-3. Formulate FVC stakeholder's platform | Plan | Actual | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | Plan | Actual | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1-4. Draft Enhanced Vegetable Value Chain Roadmap covering short, medium and long term measures | Plan | Actual | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | Plan | Actual | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1-5. Plan of Pilot Activities to develop Inclusive | Plan | Actual | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | Plan | Actual | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

5

CPD

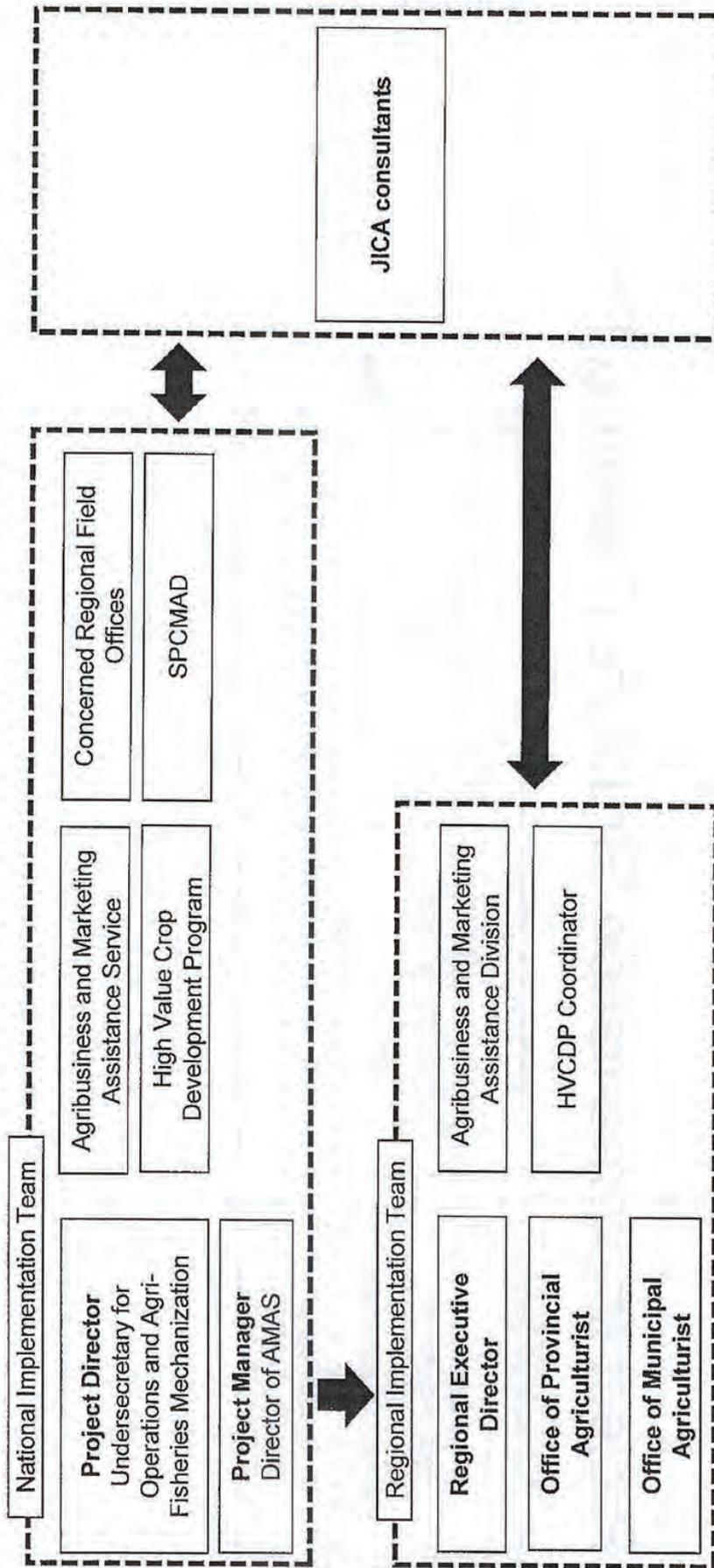
Project Implementation Structure (Planning Phase)



CRD

5

Project Implementation Structure (Implementation Phase)



5

CAF

**BASIC PRINCIPLES
FOR
TECHNICAL COOPERATION**

December, 2016

JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY (JICA)



Basic Principles for Technical Cooperation
Table of Contents

| | |
|---|---|
| I. Introduction | 1 |
| Section 1.1 Introduction | 1 |
| Section 1.2 Inconsistency with the R/D..... | 1 |
| II. Definition of Technical Cooperation | 1 |
| Section 2.1 Technical Cooperation | 1 |
| Section 2.2 Technical Cooperation Project..... | 1 |
| Section 2.3 Technical Cooperation for Development Planning | 1 |
| III. Implementation Structure | 2 |
| Section 3.1 Project Team | 2 |
| Section 3.2 Roles of Project Team Members | 2 |
| Section 3.3 Joint Coordinating Committee | 2 |
| IV. Undertakings of the Counterpart | 3 |
| Section 4.1 Grant of Privileges, Exemptions, Benefits to JICA, the members of JICA missions and the JICA experts | 3 |
| Section 4.2 Provision of Conveniences for the members of JICA missions and the JICA experts | 3 |
| Section 4.3 Provision of Services, Facilities and Local-Cost Bearing for the Technical Cooperation | 3 |
| V. Reporting | 4 |
| Section 5.1 Reporting for Technical Cooperation Project | 4 |
| Section 5.2 Reporting for Technical Cooperation for Development Planning | 4 |
| VI. Monitoring and Evaluation | 4 |
| Section 6.1 Regular Monitoring and Evaluation for Technical Cooperation Project..... | 4 |
| Section 6.2 Ex-post Evaluations | 4 |
| VII. Ownership of Equipment, Machinery, and Materials | 5 |
| Section 7.1 Equipment, Machinery, and Materials provided by JICA..... | 5 |
| Section 7.2 Equipment, Machinery, and Materials owned by JICA..... | 5 |
| VIII. Construction of Pilot Facility | 5 |
| Section 8.1 Ownership of Pilot Facility..... | 5 |
| Section 8.2 Safety Management of Construction | 5 |
| IX. Public Relations | 5 |
| Section 9.1 Promotion of Public Support | 5 |
| X. Environmental and Social Considerations | 6 |
| Section 10.1 Policy..... | 6 |
| XI. Miscellaneous | 6 |
| Section 11.1 Misconduct..... | 6 |
| Section 11.2 Mutual Consultation | 6 |

6

2

6/12

Basic Principles for Technical Cooperation

I. Introduction

Section 1.1 Introduction

The purpose of the Basic Principles for Technical Cooperation (hereinafter referred to as "the BP") is to set forth the basic principles generally applicable to Technical Cooperation Project and Technical Cooperation for Development Planning implemented jointly by the Japan International Cooperation Agency and the implementing agency of the recipient country (hereinafter referred to as "Technical Cooperation"), which consists of the record of discussions (hereinafter referred to as "the R/D") agreed upon between the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and the implementing agency of the recipient country (hereinafter referred to as "the Counterpart").

Section 1.2 Inconsistency with the R/D

If any contents of the BP is inconsistent with any contents of the R/D, such contents of the R/D will prevail.

II. Definition of Technical Cooperation

Section 2.1 Technical Cooperation

Technical Cooperation supports human resource development, research and development, technology dissemination and the development of institutional frameworks essential for the development of economies and societies in the recipient country.

Section 2.2 Technical Cooperation Project

Technical Cooperation Project refers to a systematic and comprehensive project implementation to attain certain outcomes within certain time period, in which input includes, but not limited to, the dispatch of members of JICA missions and/or JICA experts, acceptance of training participants, and/or provision of equipment from JICA.

Section 2.3 Technical Cooperation for Development Planning

In Technical Cooperation for Development Planning, JICA conducts necessary studies to support the recipient country to formulate policies and master plans, by dispatching members of JICA missions. Based on the results of this cooperation, the recipient country is expected to formulate plans for sector/regional development or rehabilitation/reconstruction by utilizing the results, to implement plans by raising funds from international organizations and others, and/or to carry out the recommended organizational/institutional reforms and other proposed activities.

III. Implementation Structure

Section 3.1 Project Team

Project team will work together for implementing Technical Cooperation. Its members include, but not limited to, Project Director, Project Manager, personnel from the Counterpart, members of JICA missions, JICA experts, and/or other members to be determined by both parties (hereinafter referred to as "the Project Team"). Details are described in the R/D.

Section 3.2 Roles of Project Team Members

General roles of members of the Project Team are as follows. Roles for other members will be determined by both parties for specific Technical Cooperation.

(1) Project Director

The project director, appointed from the Counterpart, will be responsible for the overall implementation and coordination of Technical Cooperation.

(2) Project Manager

The project manager, appointed from the Counterpart, will manage Technical Cooperation on a regular basis, and be responsible for administrative and technical matters of Technical Cooperation.

(3) Members of JICA Missions

The members of JICA missions will conduct studies regarding Technical Cooperation in cooperation with the Counterpart.

(4) JICA Experts

The JICA experts will give necessary technical guidance, advice and recommendations to the Counterpart on any matters pertaining to the implementation of Technical Cooperation.

Section 3.3 Joint Coordinating Committee

Joint Coordinating Committee (hereinafter referred to as "JCC") will be established in order to manage Technical Cooperation, and its proposed members are listed in the R/D. JCC will be held at least once a year and whenever deems it necessary and plays vital roles for implementing Technical Cooperation as follows.

(1) JCC for Technical Cooperation Project

Main tasks are 1) to review the progress, 2) to revise the overall plan when necessary, 3) to approve an annual work plan, 4) to suggest modifications of the framework (including the Project Design Matrix (hereinafter referred to as "PDM") and the Plan of Operation (hereinafter referred to as "PO") for Technical Cooperation Project), 5) to conduct evaluation of Technical Cooperation Project, and 6) to exchange opinions on major issues that arise during the implementation of Technical Cooperation Project.

(2) JCC for Technical Cooperation for Development Planning

Main tasks are to discuss on the progress and major issues that arise during the implementation of Technical Cooperation for Development Planning.

IV. Undertakings of the Counterpart

Section 4.1 Grant of Privileges, Exemptions, Benefits to JICA, the members of JICA missions and the JICA experts

The Counterpart and the government of the recipient country will take necessary measures to grant JICA, the members of JICA missions and the JICA experts privileges, exemptions and benefits in accordance with international agreements concluded between the government of Japan and the government of the recipient country.

Section 4.2 Provision of Conveniences for the members of JICA missions and the JICA experts

The Counterpart and the government of the recipient country will take necessary measures to provide conveniences listed hereto at its own expense;

- (1) Information as well as support in acquiring suitable furnished accommodation for the JICA experts and their families;
- (2) Information as well as support in obtaining medical service for the members of JICA missions, the JICA experts and their families; and
- (3) Credentials or identification cards as necessary to the members of JICA missions and the JICA experts.

Section 4.3 Provision of Services, Facilities and Local-Cost Bearing for the Technical Cooperation

The Counterpart and the government of the recipient country will take necessary measures to provide services, facilities and local-cost bearing listed hereto at its own expense;

- (1) Services of the Counterpart's personnel;
- (2) Suitable office space for the Project Team with necessary equipment;
- (3) Running expenses necessary for the implementation of Technical Cooperation;
- (4) Expenses necessary for transportation within the recipient country of the equipment provided by JICA for Technical Cooperation Project as well as for the installation, operation and maintenance thereof;
- (5) Supply or replacement of machinery, equipment, instruments, vehicles, tools, spare parts and any other materials necessary for the implementation of Technical Cooperation other than those prepared and provided by JICA;
- (6) Travel allowances for the Project Team for official travel within the recipient country; and
- (7) Available data (including maps and photographs) and information

related to Technical Cooperation.

V. Reporting

Section 5.1 Reporting for Technical Cooperation Project

The Project Team will prepare the Project Completion Report three (3) months before the completion of Technical Cooperation Project.

Section 5.2 Reporting for Technical Cooperation for Development Planning

The Project Team will prepare and submit the following reports to the Counterpart. Details, such as the language of the reports, will be determined based on mutual consultation.

- (1) Inception Report at the commencement of the work period in the recipient country
- (2) Interim Report at the middle of the work period in the recipient country
- (3) Draft Final Report at the end of the work period in the recipient country
- (4) Final Report within one (1) month after the receipt of the comments on the Draft Final Report

VI. Monitoring and Evaluation

Section 6.1 Regular Monitoring and Evaluation for Technical Cooperation Project

The Project Team will jointly and regularly monitor the progress of Technical Cooperation Project through the monitoring sheets based on PDM and PO every six (6) months, while JCC will conduct overall evaluations of Technical Cooperation Project.

Section 6.2 Ex-post Evaluations

JICA will conduct the following ex-post evaluations and surveys to verify sustainability and impact of Technical Cooperation and draw lessons. The Counterpart will make best efforts to provide necessary support for them.

- (1) Ex-post evaluation three (3) years after the completion of Technical Cooperation, in principle
- (2) Follow-up surveys, as necessary

VII. Ownership of Equipment, Machinery, and Materials

Section 7.1 Equipment, Machinery, and Materials provided by JICA

The equipment, machinery and materials provided by JICA will become the property of the Counterpart or competent authorities of the recipient country upon being delivered to the Counterpart or the authorities.

Section 7.2 Equipment, Machinery, and Materials owned by JICA

The equipment, machinery and materials prepared by JICA for the performance of duties of the members of JICA missions and the JICA experts will remain the property of JICA unless a separate arrangement is agreed between JICA and the Counterpart or competent authorities of the recipient country.

VIII. Construction of Pilot Facility

Section 8.1 Ownership of Pilot Facility

When a pilot facility is constructed in Technical Cooperation, based on a separate arrangement to be agreed between the relevant parties, JICA will provide necessary services for constructing the pilot facility for Technical Cooperation throughout the implementation period. Upon the completion of the construction, the pilot facility will become a property of the Counterpart or competent authorities of the recipient country. The Counterpart or the authorities will ensure proper and effective operation and maintenance of the pilot facility.

Section 8.2 Safety Management of Construction

JICA and the Counterpart will assure safety management of the construction in accordance with 'the Guidance for the Management of Safety for Construction Works in Japanese ODA Projects'.

IX. Public Relations

Section 9.1 Promotion of Public Support

For the purpose of promoting support for Technical Cooperation, JICA and the Counterpart will take appropriate measures to make Technical Cooperation widely known to the people of Japan and the recipient country.

X. Environmental and Social Considerations

Section 10.1 Policy

JICA and the Counterpart abide by 'JICA Guidelines for Environmental and Social Considerations (April, 2010)' in order to ensure that appropriate considerations will be made for the environmental and social impacts of Technical Cooperation.

XI. Miscellaneous

Section 11.1 Misconduct

All related personnel and organizations will keep the highest ethics and prevent any corrupt or fraudulent practices in the implementation of Technical Cooperation.

If JICA or the Counterpart receives information related to suspected corrupt or fraudulent practices in the implementation of Technical Cooperation, JICA and the Counterpart will cooperate to take appropriate measures against such practices and provide the other party with such information as the other party may reasonably request, including information related to any concerned personnel of the contractor, consultant, government and/or public organizations.

JICA and the Counterpart will not, unfairly or unfavorably treat the person and/or organization which provided the information related to suspected corrupt or fraudulent practices in the implementation of Technical Cooperation.

Section 11.2 Mutual Consultation

JICA and the Counterpart will consult each other whenever any issues arise in the course of implementation of Technical Cooperation.

List of Proposed Members of Joint Coordination Committee for
Project for Market-Driven Enhancement of Vegetables Value Chain
in the Philippines

- (1) Project Team
 - 1) Project Director
Undersecretary for Operations and Agri-Fisheries Mechanization
 - 2) Assistant Secretary for Agribusiness and Marketing
 - 3) Project Manager
Director of Agribusiness and Marketing Assistance Service (AMAS)
 - 4) JICA Consultants
 - 5) Members of National Implementation Team
Representatives from AMAS, Policy Research Service (PRS), High Value Crop Development Program (HVCDP), concerned Regional Field Office (RFO), Special Projects Coordination and Management Assistance Division (SPCMAD)
 - 6) Members of Regional Implementation Team
Regional Executive Directors of respective regional office of DA, Representatives from Agribusiness and Marketing Assistance Service Division (AMAD), HVCDP coordinator, Provincial Agriculture Office, Municipal Agriculture Office
 - 7) Others (upon agreed by the DA and JICA)
- (2) Other members from Philippines side
 - 1) DA officers from relevant department, organizations
- (3) Other members from Japanese side
 - 1) Representatives of JICA Philippines Office
 - 2) Officers from JICA Headquarters
 - 3) Representatives from the Embassy of Japan



TO CR of JICA ●● OFFICE

Project Monitoring Sheet

Project Title : _____

Version of the Sheet: Ver.●● (Term: Month, Year - Month, Year) _____

Name: _____

Title: Project Director _____

Name: _____

Title: Chief Advisor _____

Submission Date: _____

I. Summary

1 Progress

1-1 Progress of Inputs

1-2 Progress of Activities

1-3 Achievement of Output

1-4 Achievement of the Project Purpose

1-5 Changes of Risks and Actions for Mitigation

1-6 Progress of Actions undertaken by JICA

1-7 Progress of Actions undertaken by Gov. of ●●

1-8 Progress of Environmental and Social Considerations (if applicable)

1-9 Progress of Considerations on Gender/Peace Building/Poverty Reduction (if applicable)

1-10 Other remarkable/considerable issues related/affect to the project (such as other JICA's projects, activities of counterparts, other donors, private sectors, NGOs etc.)

2 Delay of Work Schedule and/or Problems (if any)

2-1 Detail

2-2 Cause

2-3 Action to be taken

2-4 Roles of Responsible Persons/Organization (JICA, Gov. of●●,etc.)

3 Modification of the Project Implementation Plan

3-1 PO

3-2 Other modifications on detailed implementation plan

(Remarks: The amendment of R/D and PDM (title of the project, duration, project site(s), target group(s), implementation structure, overall goal, project purpose, outputs, activities,

2

cm

and input) should be authorized by JICA HDQs. If the project team deems it necessary to modify any part of R/D and PDM, the team may propose the draft.)

4 Current Activities of Gov. of xx to Secure Project Sustainability after its Completion

II. Project Monitoring Sheet I & II as Attached



Project Monitoring Sheet II (Revision of Plan of Operation)

| Project Titles | 2011 | | 2012 | | 2013 | | 2014 | | 2015 | | 2016 | | 2017 | | 2018 | | 2019 | | 2020 | | Remarks | Issue | Solution |
|-----------------------------------|---------------------------------------|--------|------|--------|------|--------|------|--------|------|--------|------|--------|------|--------|------|--------|------|--------|------|--------|---------|-------|----------|
| | Plan | Actual | Plan | Actual | Plan | Actual | Plan | Actual | Plan | Actual | Plan | Actual | Plan | Actual | Plan | Actual | Plan | Actual | Plan | Actual | | | |
| Inputs | Equipment | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Equipment | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Training in Japan | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| In-country/Third country Training | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Activities | Sub-Activities | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | Output 1: | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 1.1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 1.2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | Output 2: | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 2.1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 2.2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | Output 3: | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 3.1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 3.2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Output 4: | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4.1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4.2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Duration / Phasing | Plan | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | Actual | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| Monitoring Plan | Monitoring | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | Joint Coordinating Committee | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | Set-up the Detailed Plan of Operation | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | Submission of Monitoring Sheet | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | Monitoring Mission from Japan | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | Joint Monitoring | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | Post Monitoring | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | Reports/Documents | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | Project Completion Report | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | Public Relations | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

